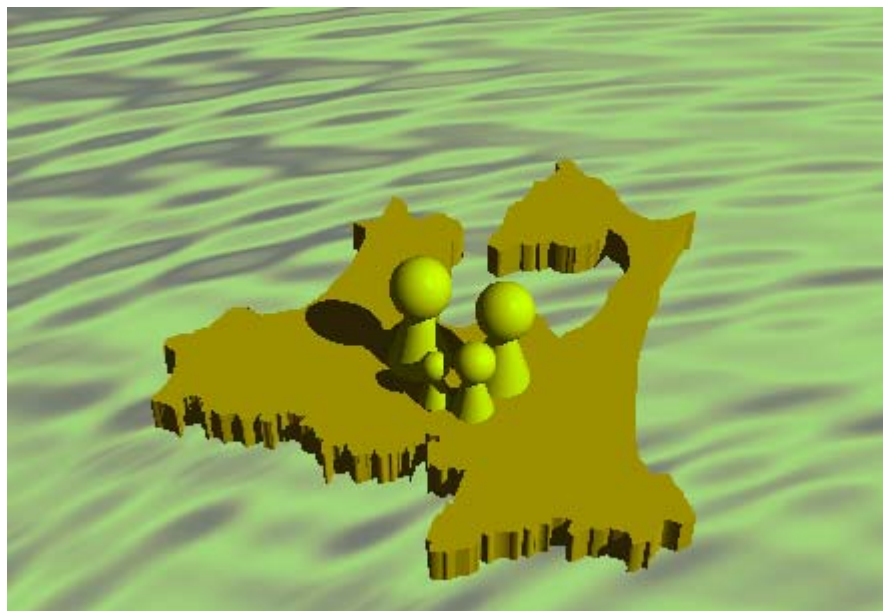


生涯学習・社会教育に関する調査研究

家庭の教育力に関する調査報告書



平成14年3月

青森県総合社会教育センター

Aomori Prefectural Community Education Center

<http://www/edu-c.pref.aomori.jp>

目 次

第 1 章 調査の概要	3
1 実施計画	3
(1) 名称	3
(2) 調査の必要性和目的	3
2 調査の方法及び回収結果	4
(1) 調査実施期間	4
(2) 調査方法	4
(3) 回収結果及び回収率等	4
3 回答者の属性に関する集計結果	5
第 2 章 調査結果と分析	8
1 家庭の教育力について	8
2 家庭の教育力を充実させる支援について	26
3 家庭教育の情報について	30
4 家庭教育の相談について	36
5 家庭教育の学習機会について	38
6 自由記述について	42
第 3 章 考 察	44
子どもにとってもっとも重要な教育項目	44
親にとってもっとも重要な学習項目	45
家庭の教育力を充実させる支援について	46
家庭教育の情報について	47
家庭教育の情報の内容について	48
家庭教育に関する相談先	48
家庭教育の学習機会について	48
研究委員会を終えて	50
資料編 集計データ	52
調査票	69
生涯学習・社会教育に関する調査研究委員会 委員名簿	77

第1章 調査の概要



1 実施計画

(1) 名称

生涯学習・社会教育に関する調査研究
- 家庭の教育力に関する調査研究 -

(2) 調査の必要性和目的

(必要性)

今日の社会において、少子化や核家族化、子育てに関する価値観の多様化など、家庭を取りまく環境はめまぐるしく変化している。さらに、過保護や過干渉、育児不安の広がりやしつけへの自信喪失など、今日の家庭教育における問題は傍観できない状況になっていることは周知のとおりである。

平成12年度「教育改革国民会議中間報告」の中で、「教育という川の流れの、最初の水源の清冽な一滴となり得るのは、家庭教育である」として、「人間性豊かな日本人を育成する」ため、第一に「教育の原点は家庭であることを自覚する」ことを挙げ、家庭教育は、すべての教育の出発点であることが改めて強く指摘されている。

この報告を踏まえて、平成13年1月25日に文部科学省が打ち出した「21世紀教育新生プラン」の中に家庭の教育力の再生のための施策を盛り込むとともに、「社会教育法」も改正され、家庭教育の向上のための社会教育行政における体制の整備等が明記された。

家庭の教育力として、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーなどの基礎を子どもたちに育むためにも、親の学習機会や活動、親が悩みや不安を相談するための機能が緊急に拡充・充実されなければならない時にきている。その意味からも、今こそ、家庭の中では勿論のこと、社会の構成員として、一人一人がそれぞれの使命、役割を認識し、より豊かで効果的な家庭の教育力の再生に努力することが重要であり、その意味からも社会教育に課せられた家庭教育への任は重い。また、家庭の教育力は、大きな社会情勢の流れの中でありながら、地域的な影響も敏感に受けるものであることから、全国的な傾向とは別に、本県の特色や、県民の意識を反映できる調査を行う必要があるものと考えらる。

(目的)

家庭の教育力を充実するために、県民が家庭教育に関する学習内容や学習活動等に対して、どのような要求課題を持っているかを明らかにし、市町村教育委員会などの各学習機会提供機関の基礎資料として提供するものである。

2 調査の方法及び回収結果

(1) 調査実施期間

平成13年8月14日(火)
～8月31日(金)

(2) 調査方法

郵送調査票

標本抽出法

2段階無作為抽出法

(1段) 県内6地区(教育事務所管内)

から24の市町村を抽出

(2段) 人口比に応じて配分した人数

を選挙人名簿から無作為抽出

調査対象

青森県内に在住する20歳以上の男女

3,000人

(3) 回収結果及び回収率等

郵送数	3,000人
回収数	587人
回収率	19.5%
有効回答数	577人
有効回答数率	19.2%

調査方法および回収結果について

無作為抽出した20歳以上の県民3,000人に調査票を郵送した。回答結果は587件で、配布数に対して19.5%の回収率であった。

そのうちの有効回答は577件で19.2%であった。回収率が低かったのは、夏休み後半にあたる8月後半の回収期間が影響したか、テーマについて関心が低かったせい、今後の検討を要する。

回答者の属性について

有効回答を寄せた調査対象者は、無作為抽出による青森県内に在住する20歳以上の男女577名である。

対象者の性別は男性46.1%、女性53.9%で

あった。これは平成13年の県人口、男性47.6%、女性52.4%とほぼ一致する。年代別では、20代、30代からの回答数は少なかった。そこで20-30代を一括してまとめた上で、年代による考え方の傾向を探った。また70代以上の回答者も少なかったので、60代以上をひとまとめとして扱った。

なお、20代、30代の各データは資料編(P.52～)に記載している。

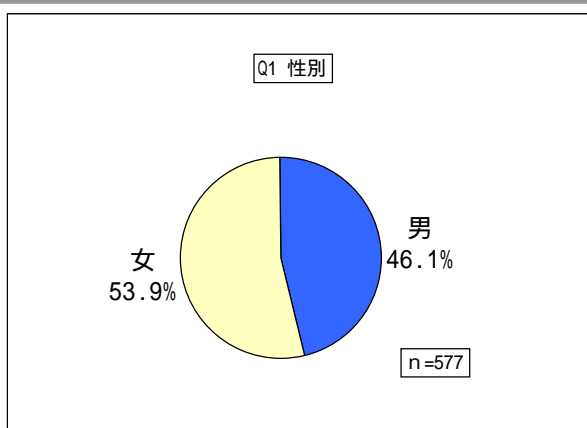
回答者の居住地域は、P.5に示したとおりであり、おおよそ県の人口比に近い回答比率であった。

抽出市町村名及び抽出数

市町村名	抽出数(人)
青森市	605
弘前市	361
八戸市	493
黒石市	80
五所川原市	100
十和田市	129
三沢市	86
むつ市	101
東津軽郡	64
・平内町	54
・三厩村	10
西津軽郡	134
・鱒ヶ沢町	97
・柏村	37
中津軽郡	37
・岩木町	37
南津軽郡	195
・浪岡町	148
・常盤村	47
北津軽郡	126
・板柳町	108
・市浦村	18
上北郡	229
・横浜町	43
・下田町	100
・六ヶ所村	86
下北郡	77
・大間町	42
・東通村	35
三戸郡	183
・三戸町	81
・名川町	58
・福地村	44
合計	3,000

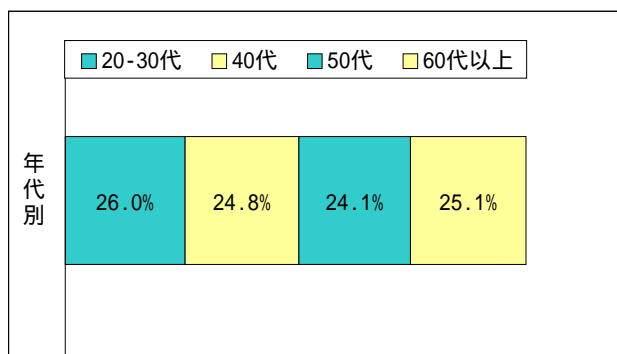
3 回答者の属性に関する集計結果

(1) 性別



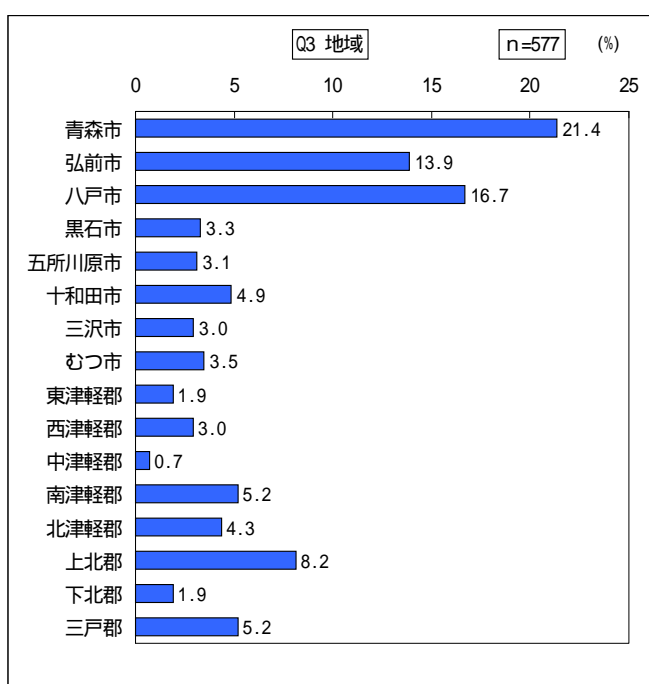
性別	人数	割合(%)
男	266	46.1
女	311	53.9
合計	577	100.0

(2) 年齢



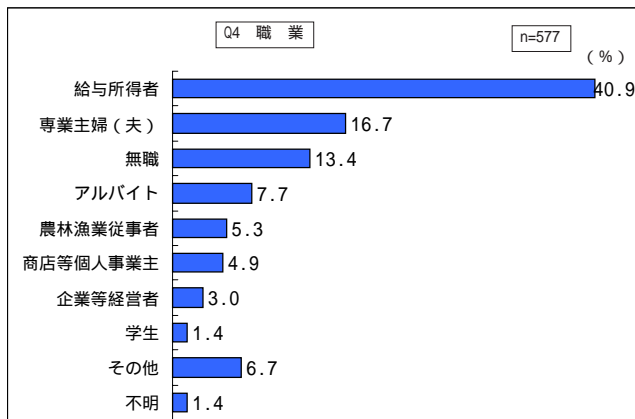
年齢	人数	割合(%)
20-30代	150	26.0
40代	143	24.8
50代	139	24.1
50代	139	24.1
60代以上	145	25.1
合計	577	100.0

(3) 居住地



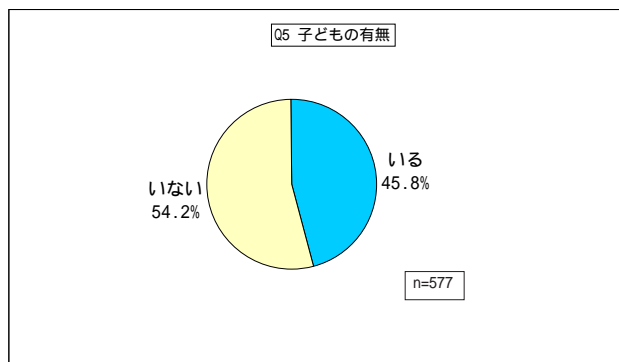
居住地	人数	割合(%)
青森市	123	21.4
弘前市	80	13.9
八戸市	96	16.7
黒石市	19	3.3
五所川原市	18	3.1
十和田市	28	4.9
三沢市	17	3.0
むつ市	20	3.5
東津軽郡	11	1.9
西津軽郡	17	3.0
中津軽郡	4	0.7
南津軽郡	30	5.2
北津軽郡	25	4.3
上北郡	47	8.2
下北郡	11	1.9
三戸郡	30	5.2
不明	1	0.2
合計	577	100.0

(4) 職業



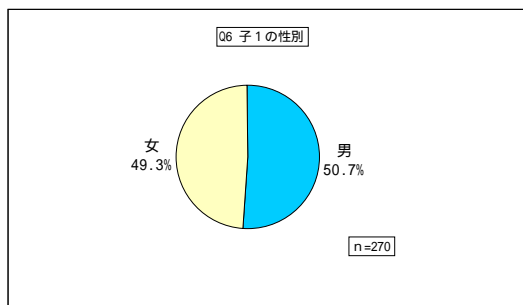
職業	人数	割合 (%)
農林漁業従事者	30	5.3
商店等個人事業主	28	4.9
企業等経営者	17	3.0
給与所得者	233	40.9
専業主婦(夫)	95	16.7
アルバイト	44	7.7
学生	8	1.4
無職	76	13.4
その他	38	6.7
不明	8	1.4
合計	577	100.0

(5) 子どもの有無

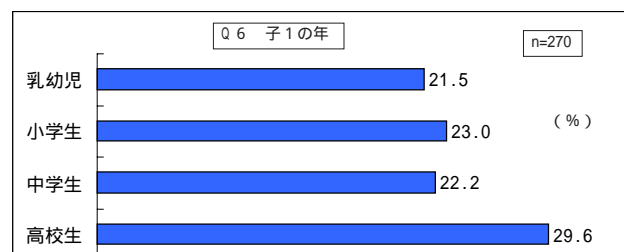


子ども	人数	割合 (%)
いる	264	45.8
いない	312	54.2
不明	1	0.2
合計	577	100.0

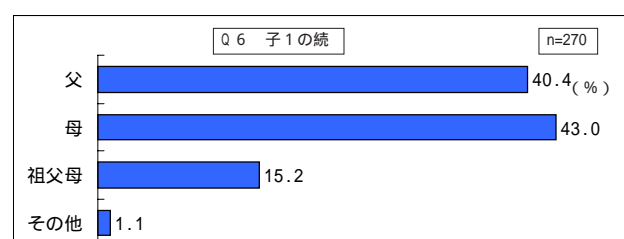
(5) 子ども (第一子) の属性



性別	人数	割合 (%)
男	137	50.7
女	133	49.3
合計	270	100.0

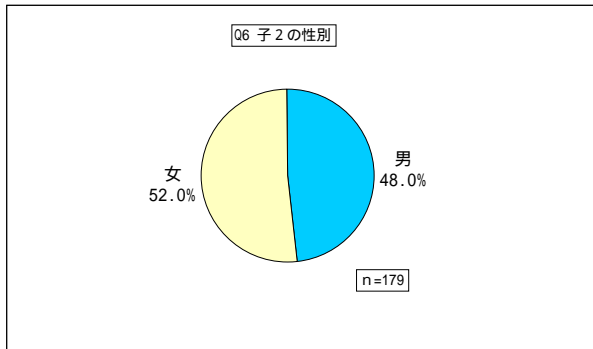


年代	人数	割合 (%)
乳幼児	58	21.5
小学生	62	23.0
中学生	60	22.2
高校生	80	29.6
不明	10	3.7
合計	270	100.0

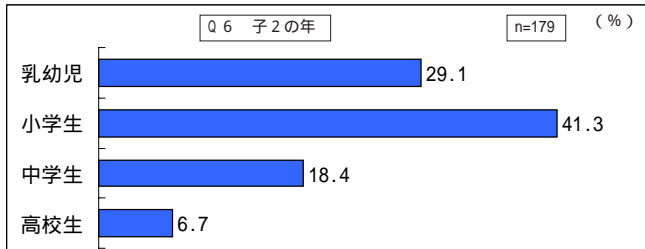


続柄	人数	割合 (%)
父	109	40.4
母	116	43.0
祖父母	41	15.2
その他	3	1.1
不明	1	0.4
合計	270	100.0

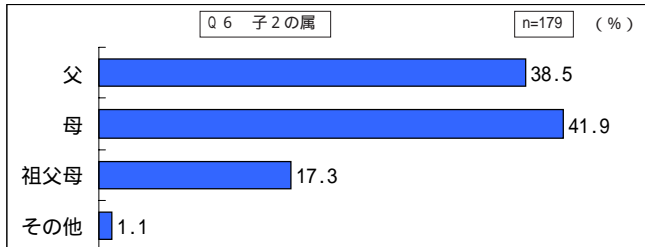
(5) 子ども (第二子) の属性



性別	人数	割合 (%)
男	86	48.0
女	93	52.0
合計	179	100.0

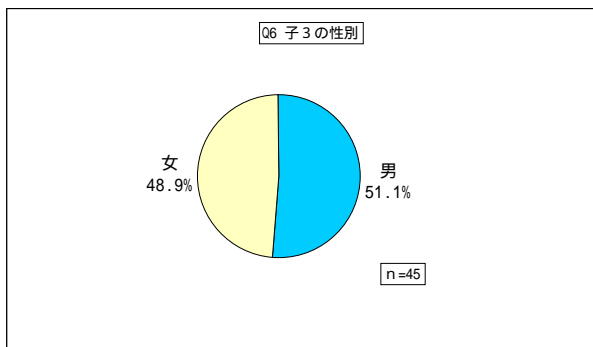


年代	人数	割合 (%)
乳幼児	52	29.1
小学生	74	41.3
中学生	33	18.4
高校生	12	6.7
不明	8	4.5
合計	179	100.0

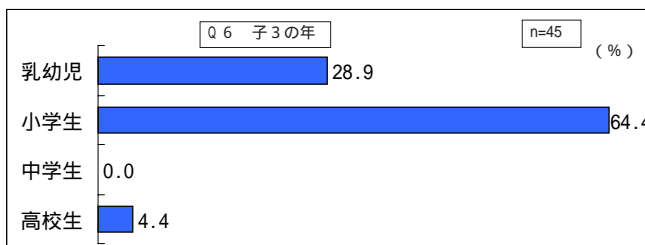


続柄	人数	割合 (%)
父	69	38.5
母	75	41.9
祖父母	31	17.3
その他	2	1.1
不明	2	1.1
合計	179	100.0

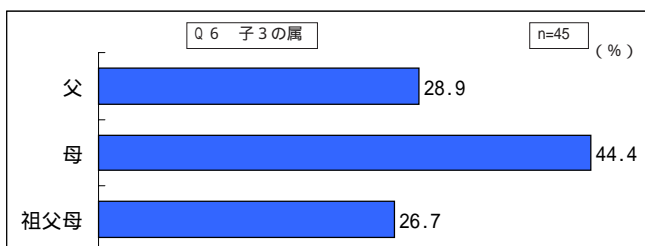
(5) 子ども (第三子) の属性



性別	人数	割合 (%)
男	23	51.1
女	22	48.9
合計	45	100.0



年代	人数	割合 (%)
乳幼児	13	28.9
小学生	29	64.4
中学生	0	0.0
高校生	2	4.4
不明	1	2.2
合計	45	100.0



続柄	人数	割合 (%)
父	13	28.9
母	20	44.4
祖父母	12	26.7
合計	45	100.0

第2章 調査結果と分析

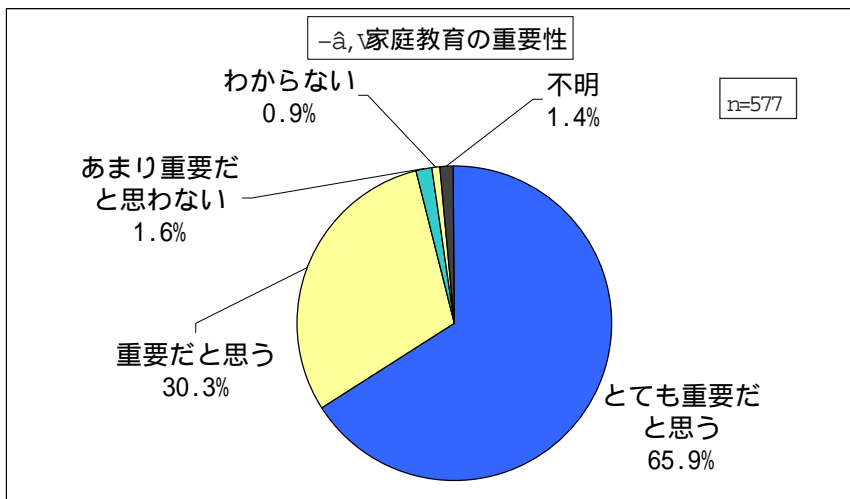


1 家庭の教育力について

問7 家庭教育は重要か (単数回答)

家庭教育について 9割以上が重要だと思っている

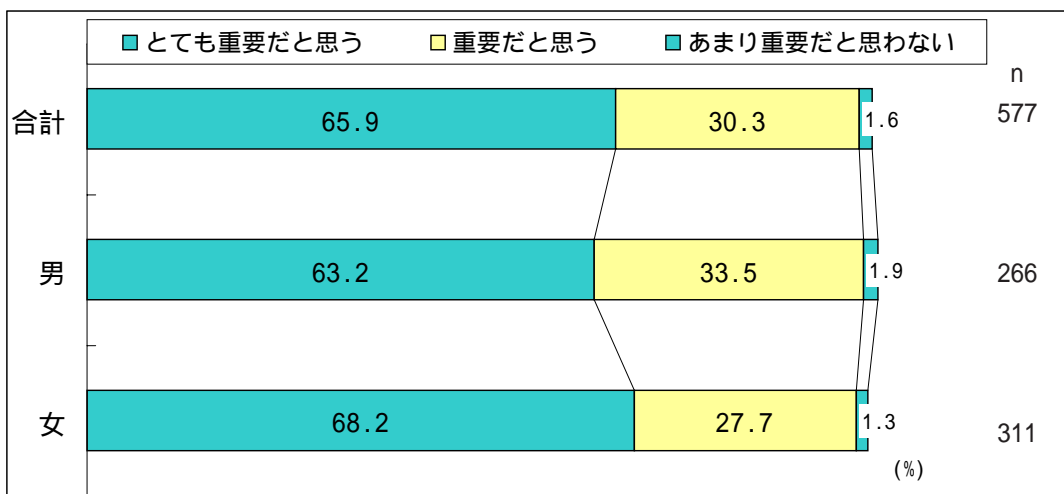
全体



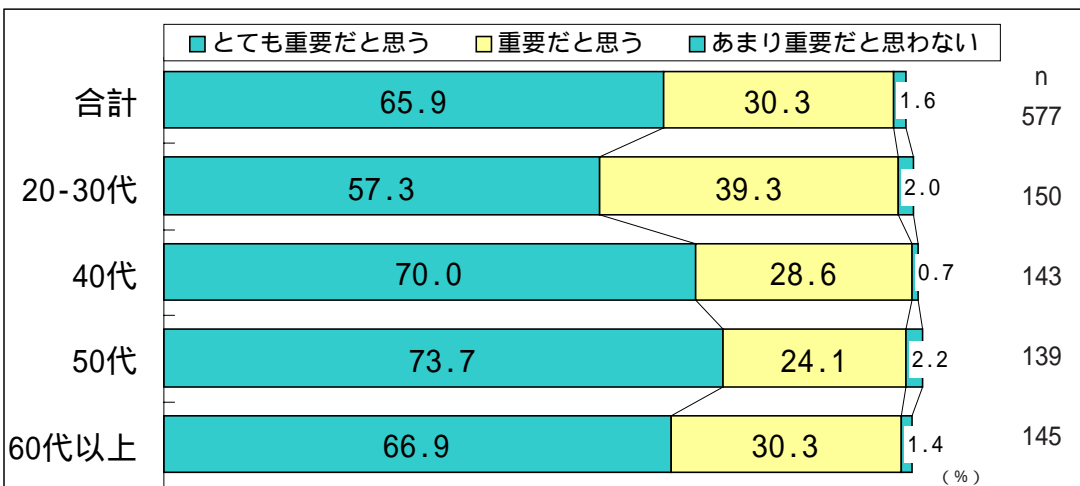
家庭教育の重要性
家庭教育について、「とても重要だと思う」「重要だと思う」を合わせると全体の96.2%になる。

性別、年代別、地域別、職業別、子ども有無別に関係なく家庭教育は重要と考えている。

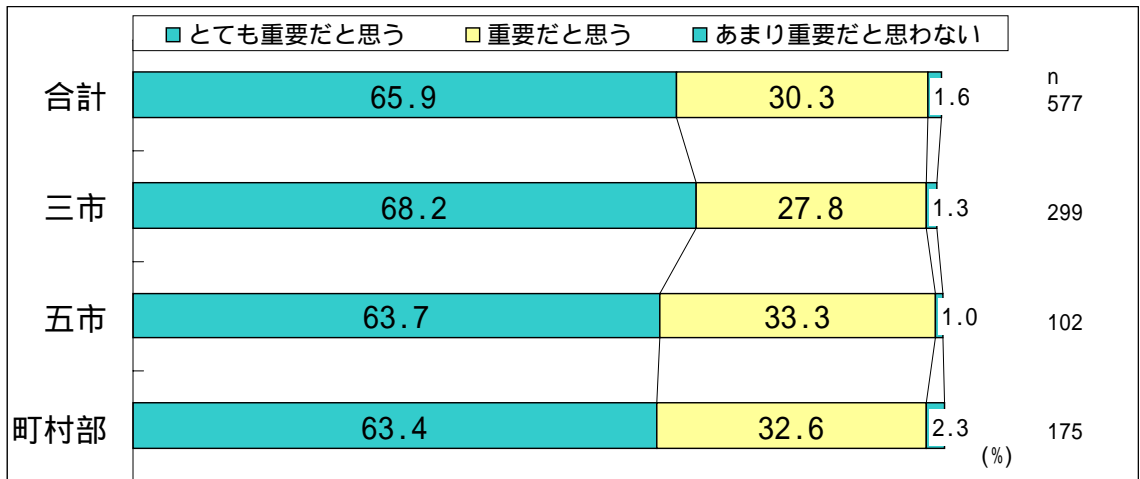
性別



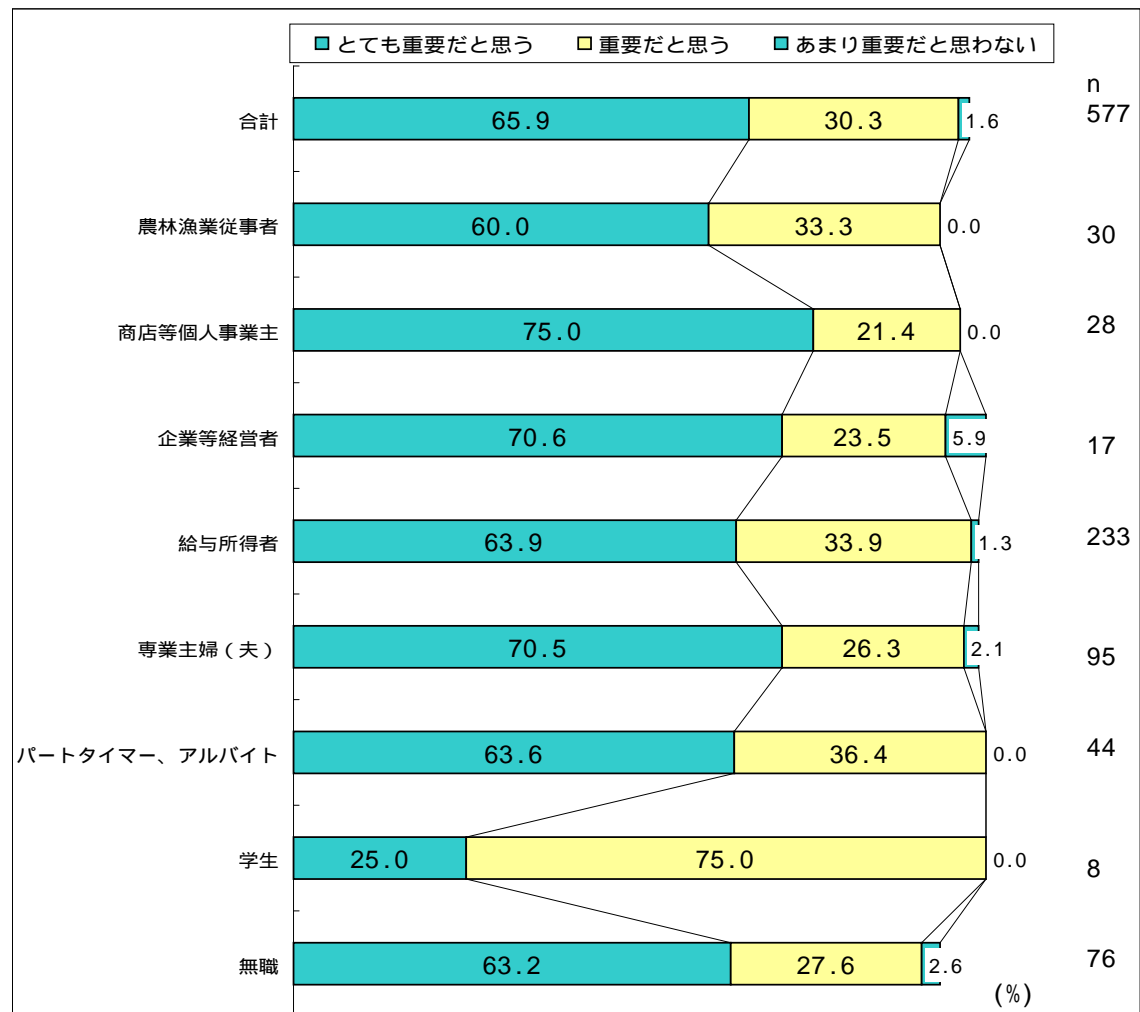
年代別



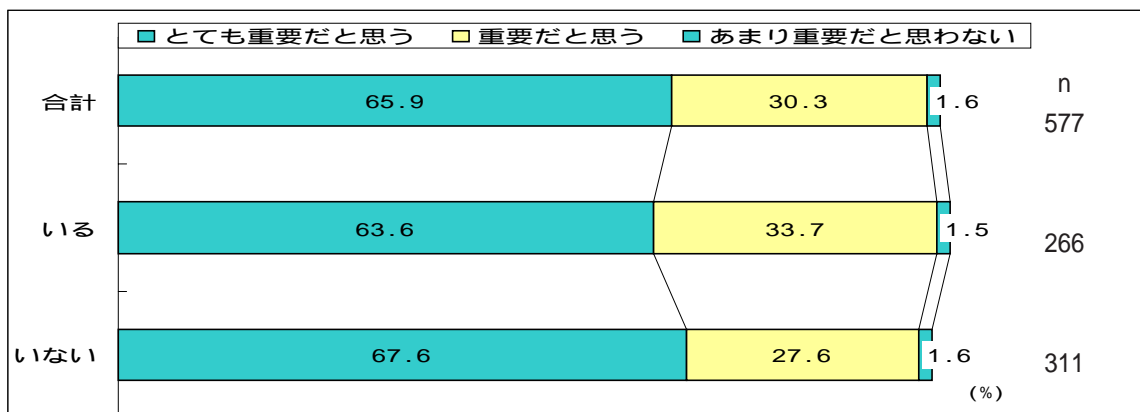
地域別



職業別



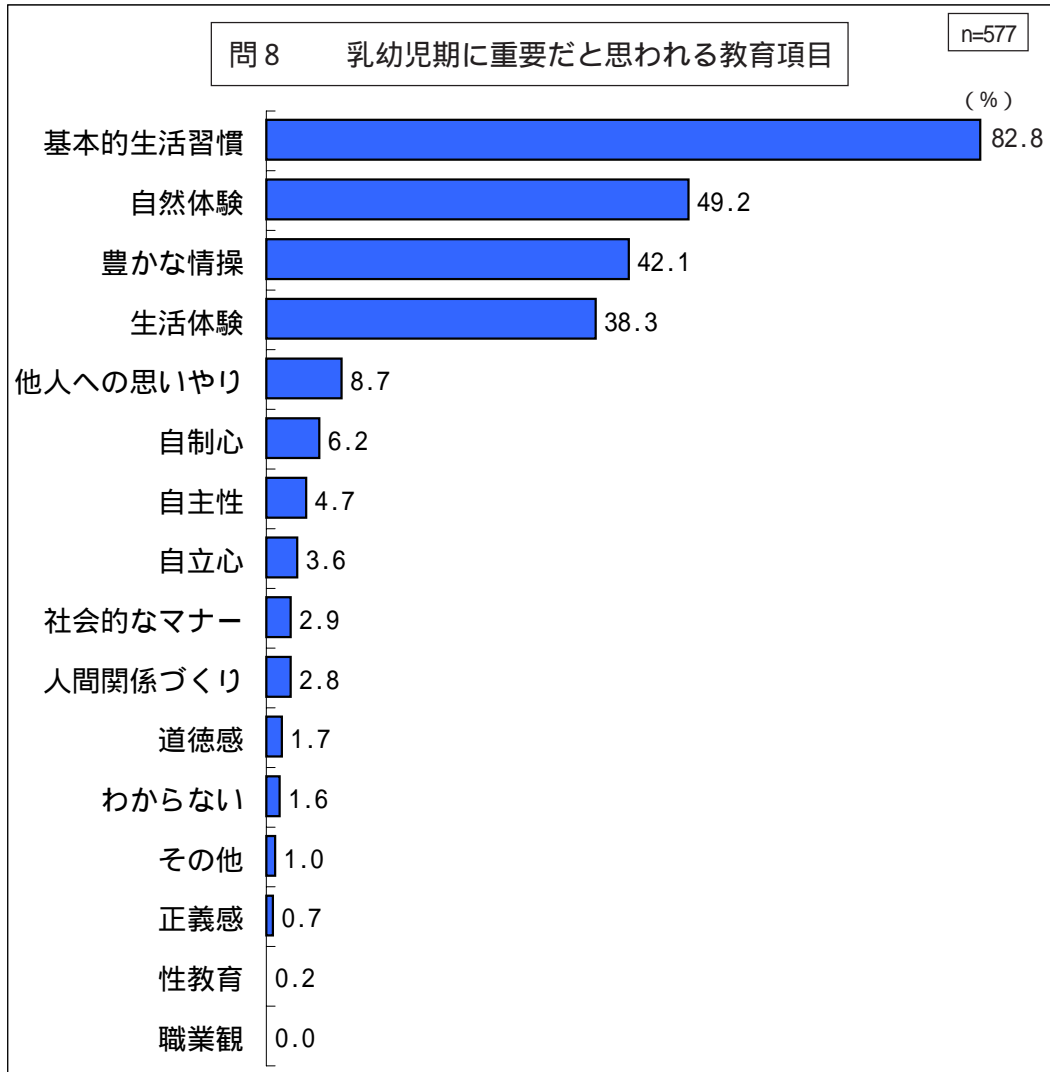
子どもの有無別



問8 乳幼児期に重要だと思われる家庭教育の項目（複数回答）

乳幼児期に重要だと思われる家庭教育の項目は
 基本的な生活習慣 自然体験 豊かな情操

全体



「基本的な生活習慣」は乳幼児期にもっとも重要だと思われる教育項目

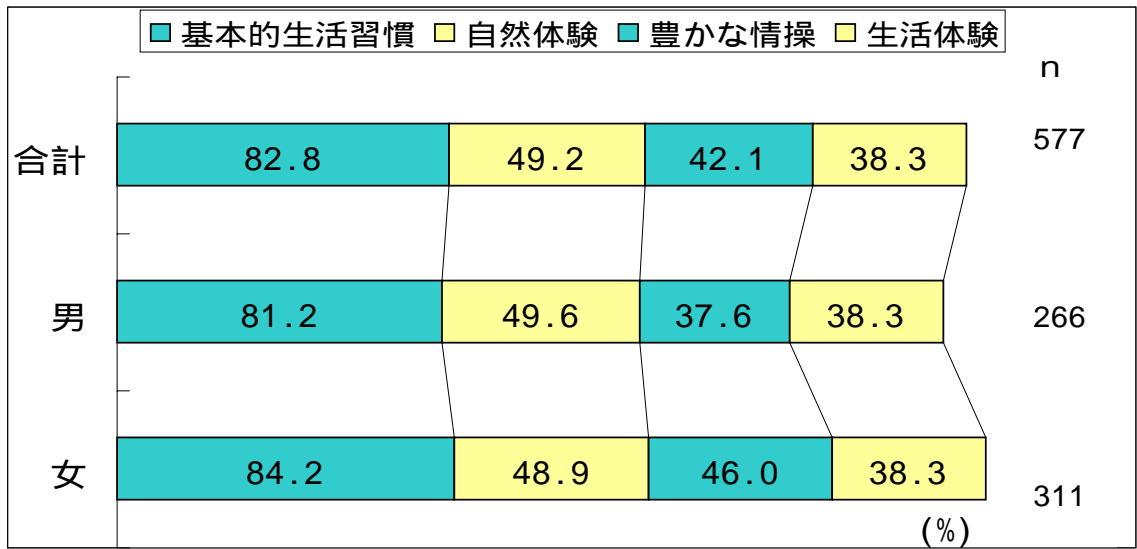
乳幼児期に重要だと思われる家庭教育の項目の上位3位は、「基本的な生活習慣」「自然体験」「豊かな情操」であった。性別、子どもの有無別にかかわらず同じ結果となっている。

「豊かな情操」については女性46.0%、男性37.6%で女性が多く、若干の男女差がみられる。

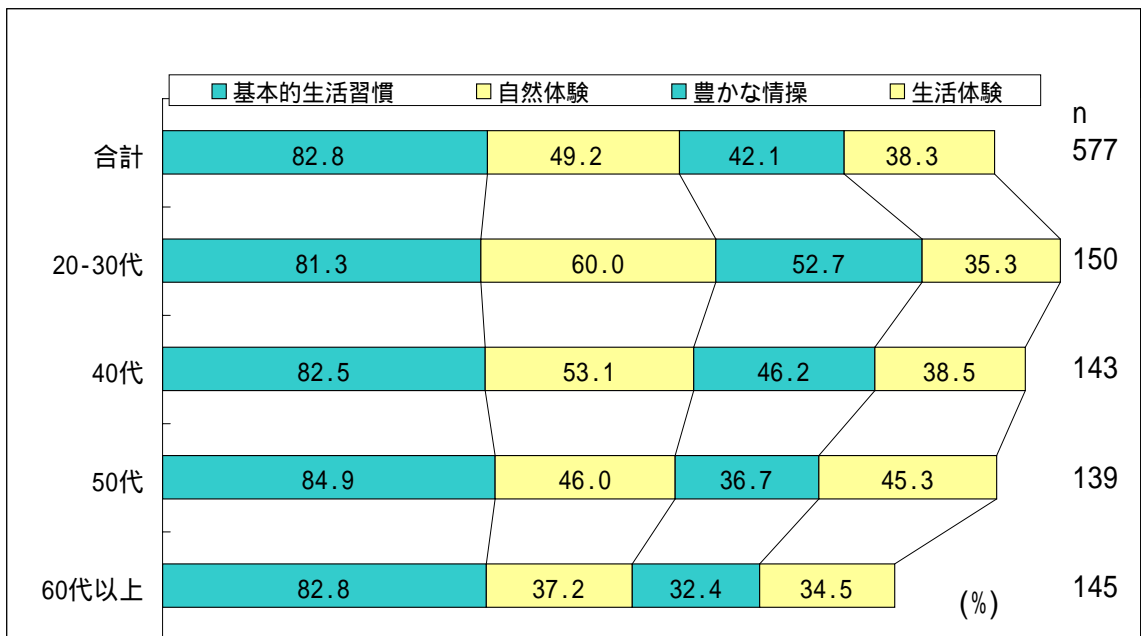
年代別では「自然体験」「豊かな情操」「生活体験」の3項目とも年齢が上がるにつれて少なくなっている。

子どもの有無別では、子どものいる人の方が「豊かな情操」の重要性について感じている割合が多い。子どものいない人は、子育てが終わった高齢者の割合が多いことから（P.30参照）年代別で60代以上に見られる特徴と同じような傾向があるものと思われる。「生活体験」の重要性については、子どものいない人の割合が8.3ポイント多い。

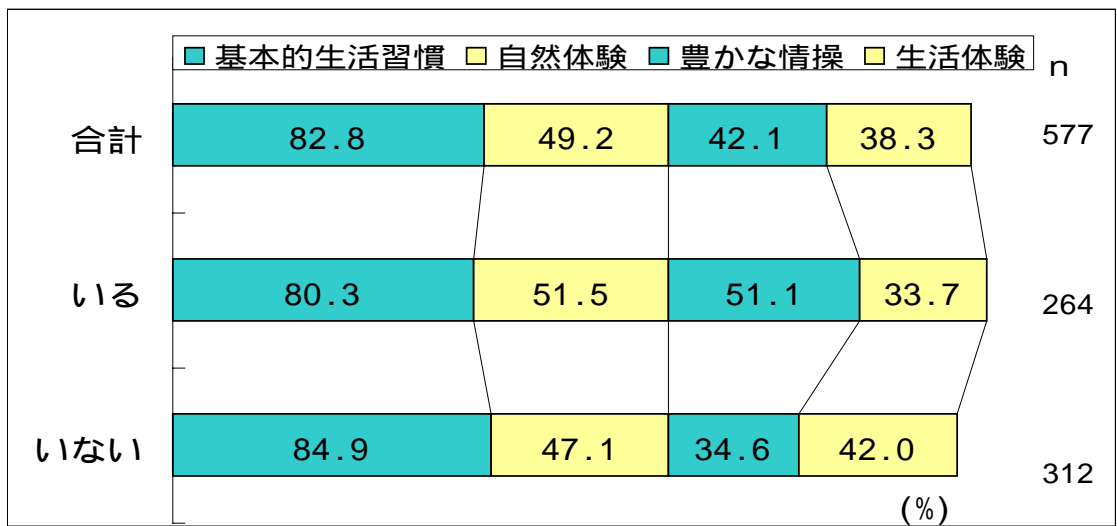
性別



年代別

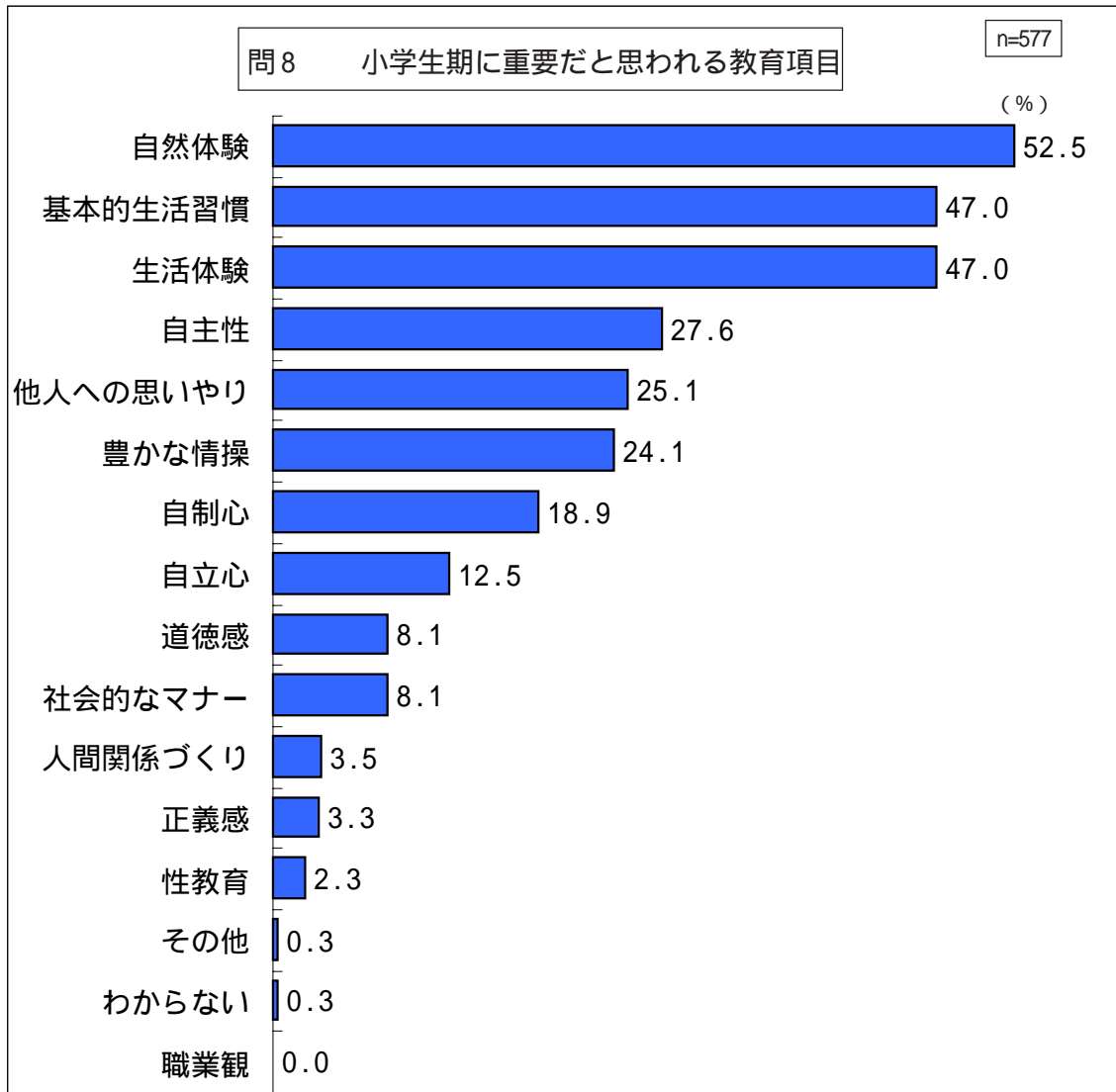


子どもの有無別



小学生期に重要だと思われる家庭教育の項目は
 自然体験 基本的な生活習慣 生活体験

全体



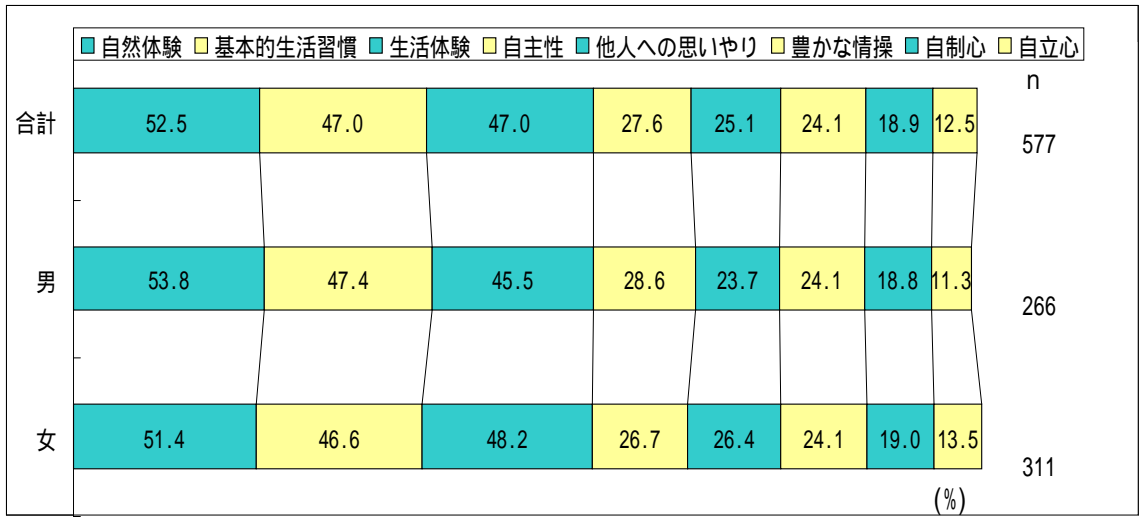
「自然体験」は小学生期にもっとも重要だと思われる教育項目

小学生期に重要だと思われる家庭教育の項目の上位3位は、「自然体験」「基本的な生活習慣」「生活体験」であった。男女別、年代別、子どもの有無別にかかわらず「自然体験」が第1位となっており、小学生期における教育項目では「自然体験」を最も重要視している。

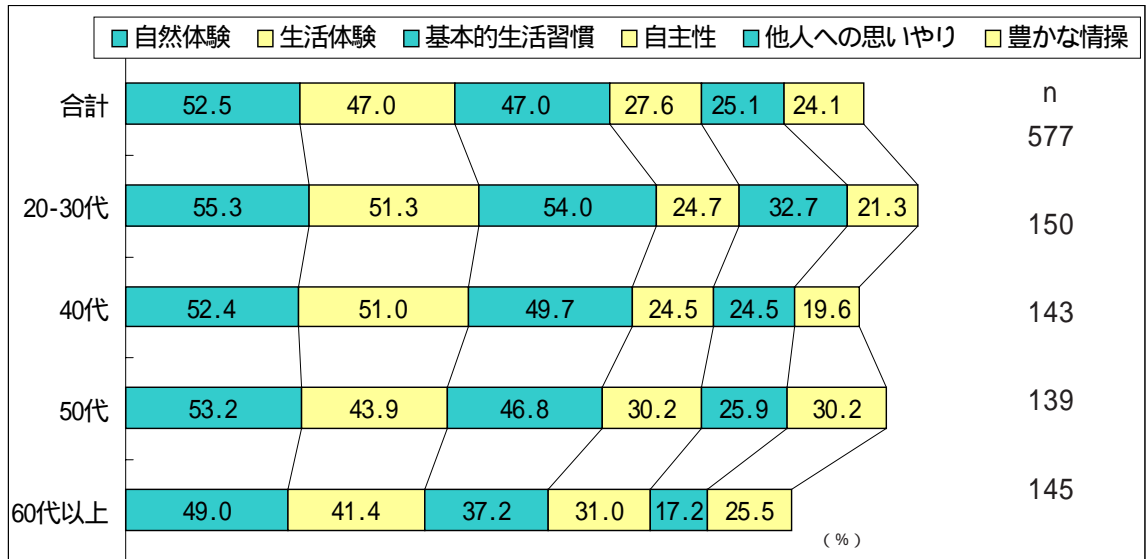
また小学生期においては、「自主性」「他人への思いやり」「自制心」「自立心」の項目が、乳幼児期に比較して増えている。

子どもの有無別でみると、子どもがいる人の方が上位の3項目とも多くなっている。

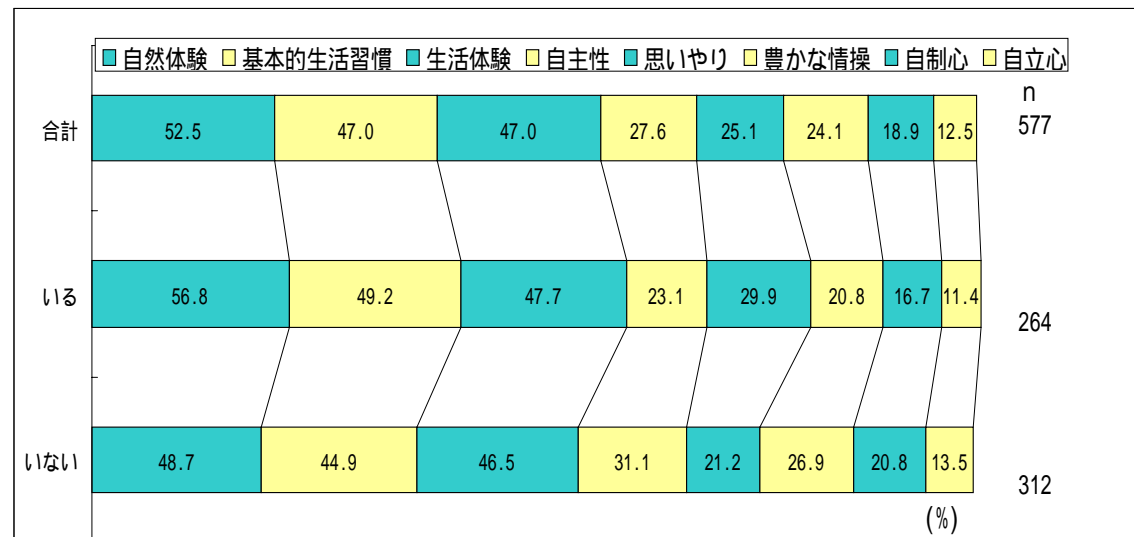
性別



年代別

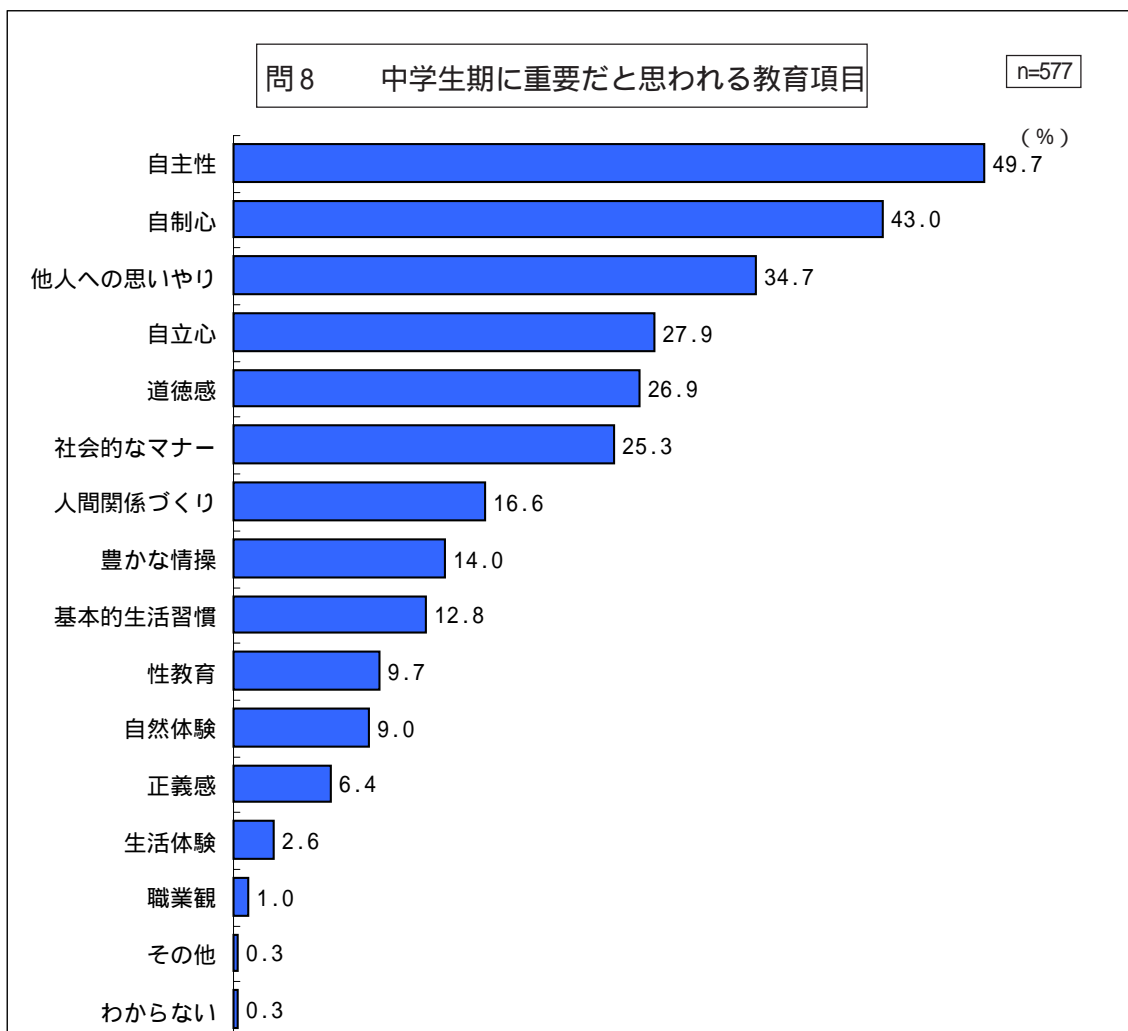


子どもの有無別



中学生期に重要だと思われる家庭教育の項目は 自主性 自制心 他人への思いやり

全体



「自主性」は中学生期にもっとも重要だと思われる教育項目

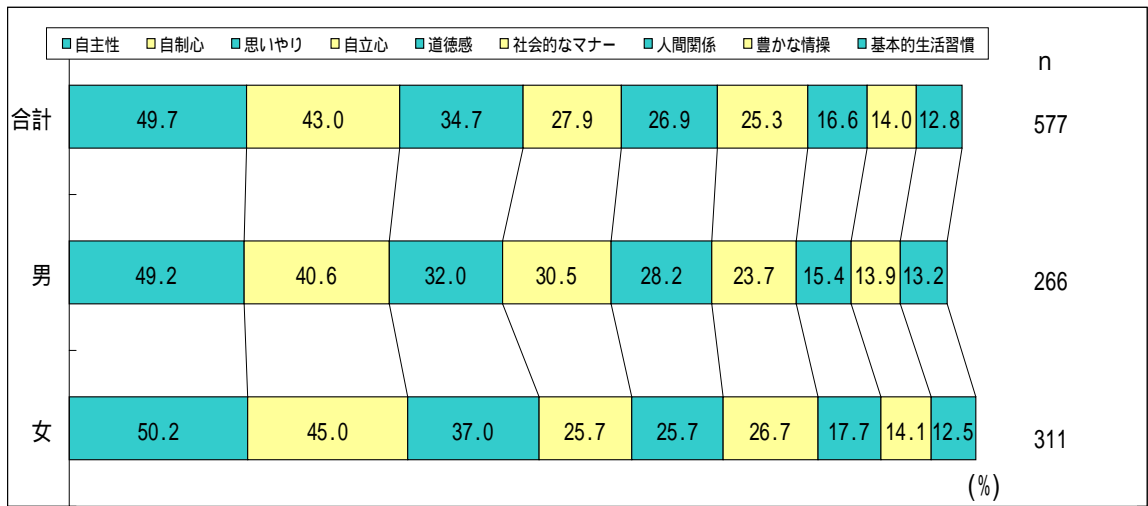
中学生期に重要だと思われる家庭教育の項目の上位3位は、「自主性」「自制心」「他人への思いやり」であった。小学校期に高かった「自然体験」「基本的生活習慣」「生活体験」は9位以下となり、重要とされる教育項目は大きく変化している。

上位の3項目について年代別で見

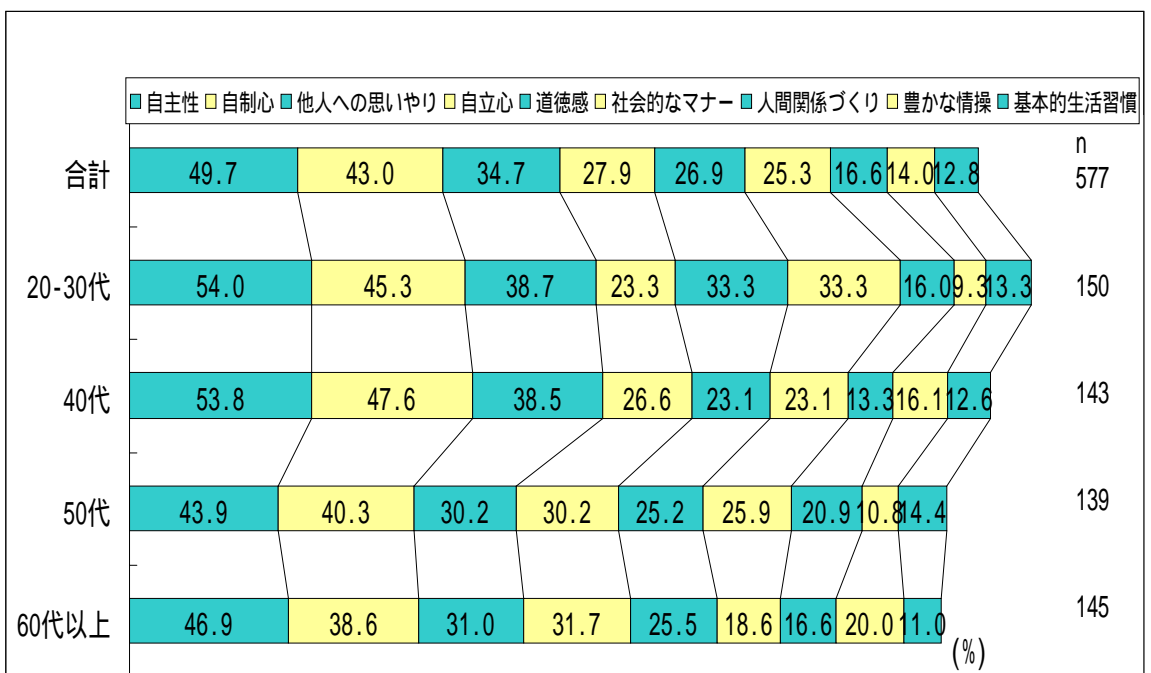
ると50代、60代に比べて、20-30代、40代が比較的高い割合を示しており、40代を境に若干の意識の差が見られた。

子どもの有無別においては大きな差は見られなかった。

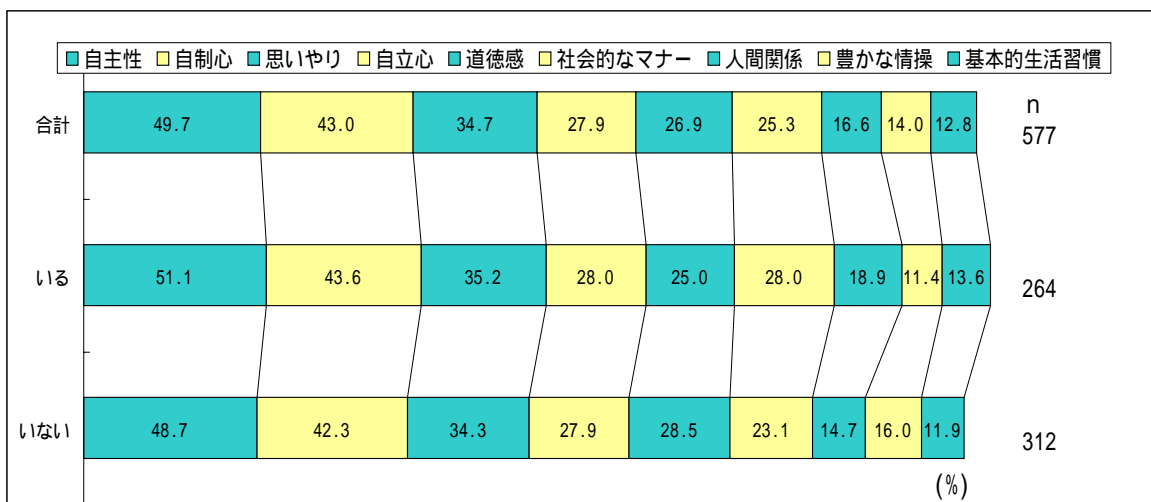
性別



年代別

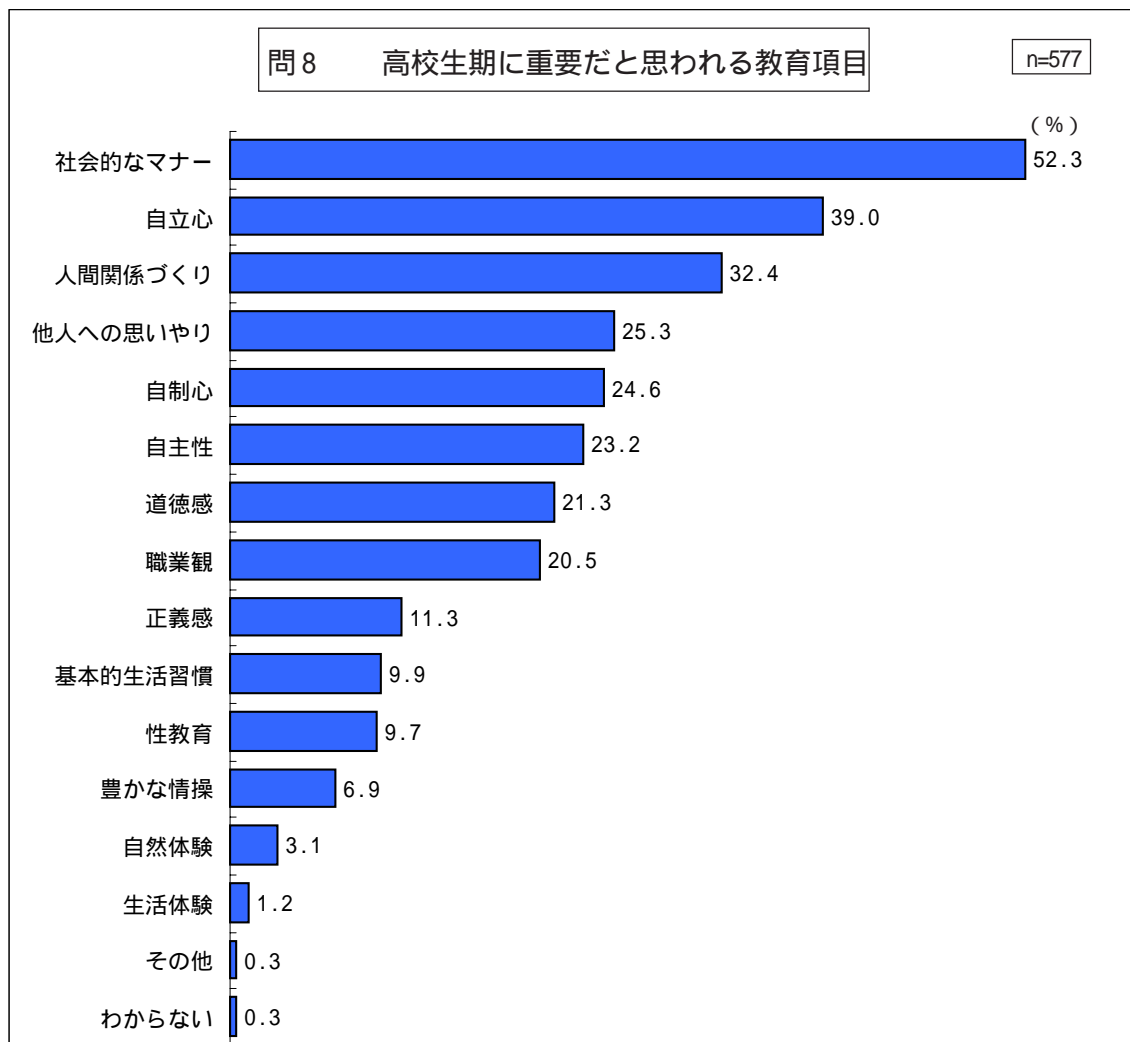


子どもの有無別



高校生期に重要だと思われる家庭教育の項目は 社会的なマナー 自立心 人間関係づくり

全
体



「社会的マナー」は高校生期にもっとも重要だと思われる教育項目

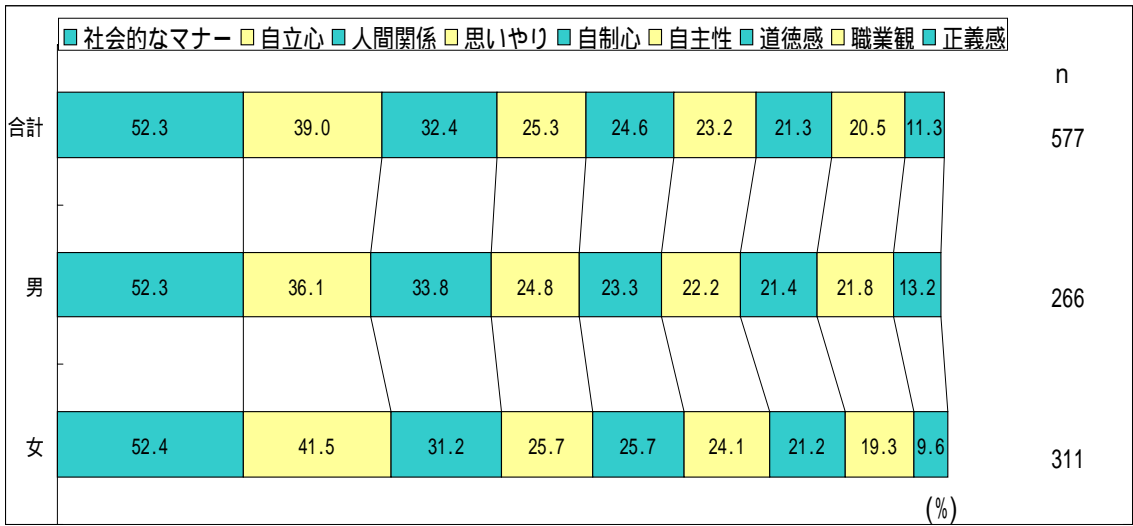
高校生期に重要な家庭教育の項目の
上位3位は、「社会的なマナー」
「自立心」「人間関係づくり」で
あった。

性別でみると、2位の「自立心」に
おいて女性の方が5ポイントほど多

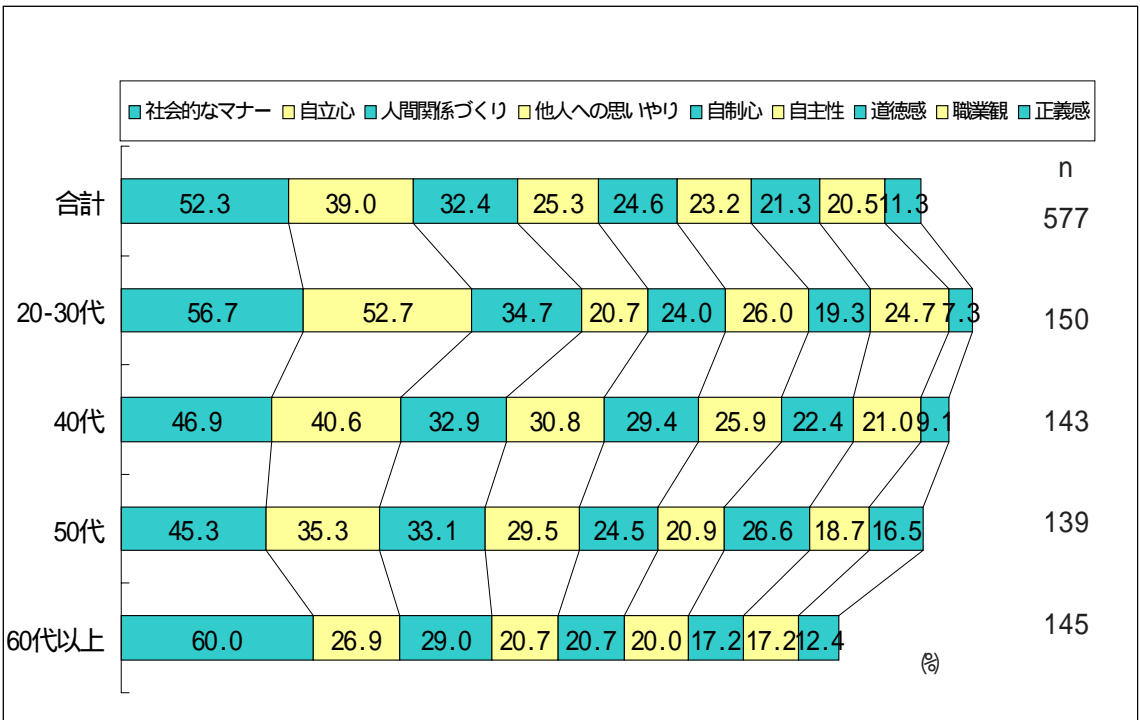
い。

年代別で見れば「社会的なマナー」
についての教育が重要であると60代
以上の人60%が考えている。この
ことから、高校生の社会的なマナーに
関して問題意識をもっている様子があ
らう。

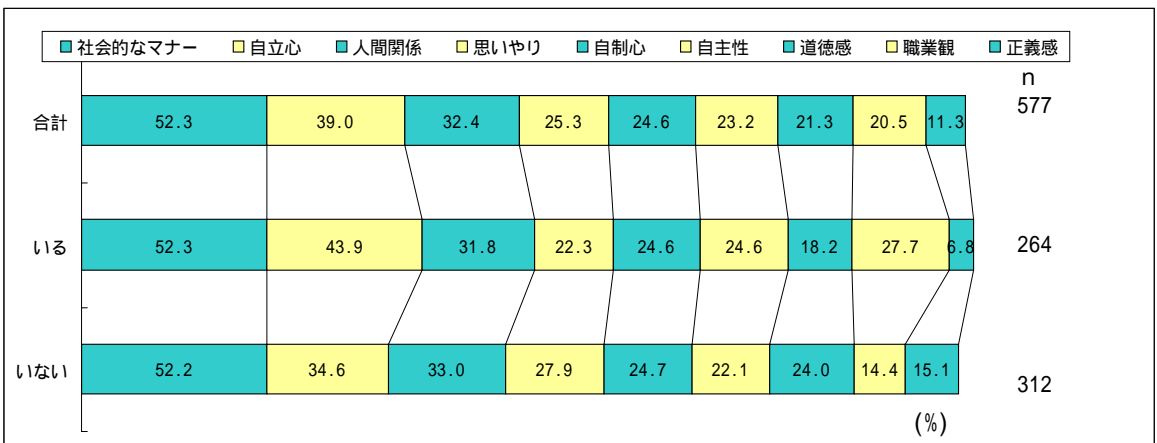
性別



年代別



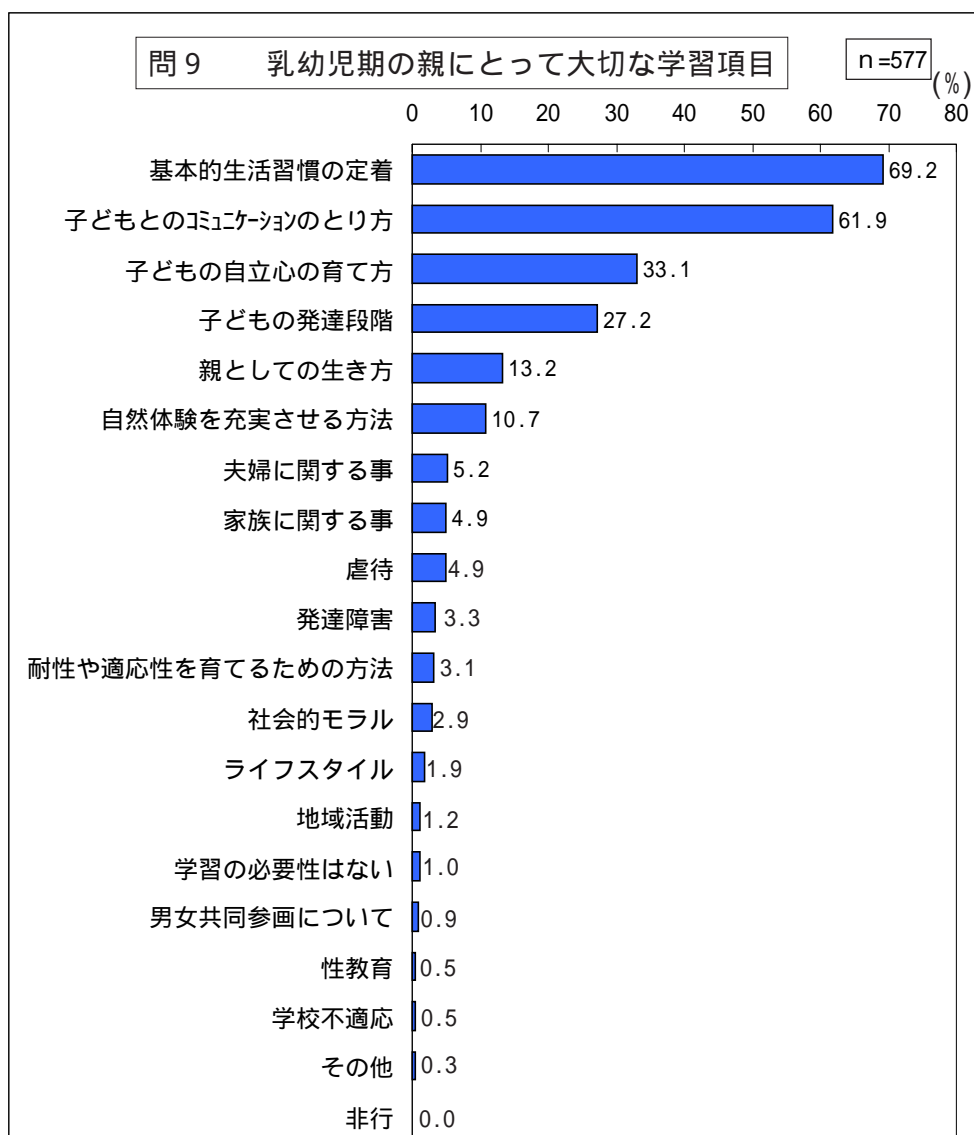
子どもの有無別



問9 乳幼児の子どもを持つ親にとって大切な学習項目（複数回答）

乳幼児期の子どもを持つ親にとって大切な学習項目は
基本的な生活習慣 **コミュニケーション** **自立心**

全体



乳幼児期の子どもを持つ親は「基本的な生活習慣」についての学習が大切

乳幼児期の子どもをもつ親にとって大切な学習項目の上位5位は、「基本的な生活習慣の定着」「子どもとのコミュニケーションのとり方」「子どもの自立心の育て方」「子どもの発達段階」

「親としての生き方」であった。

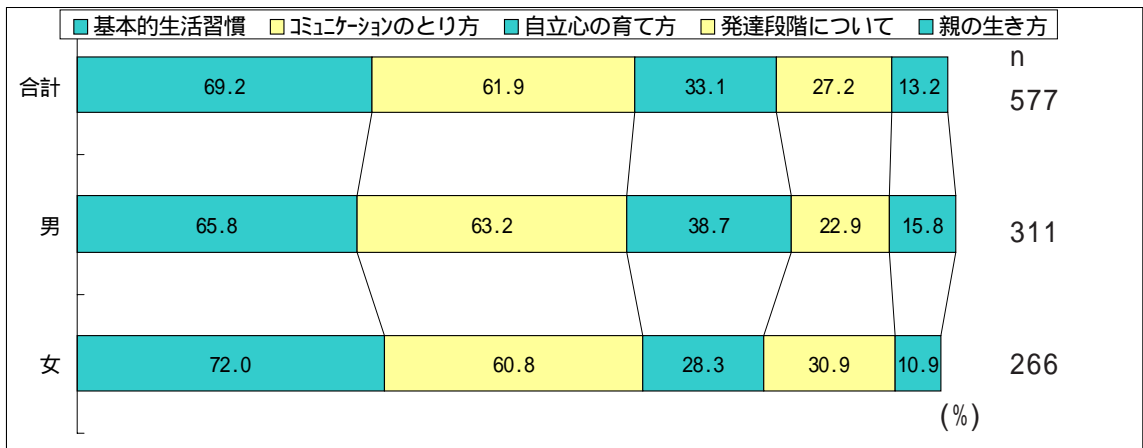
性別では、女性が「発達段階について」の学習項目が多かったのに対して、男性は「自立心の育て方」が多くなっ

ている。

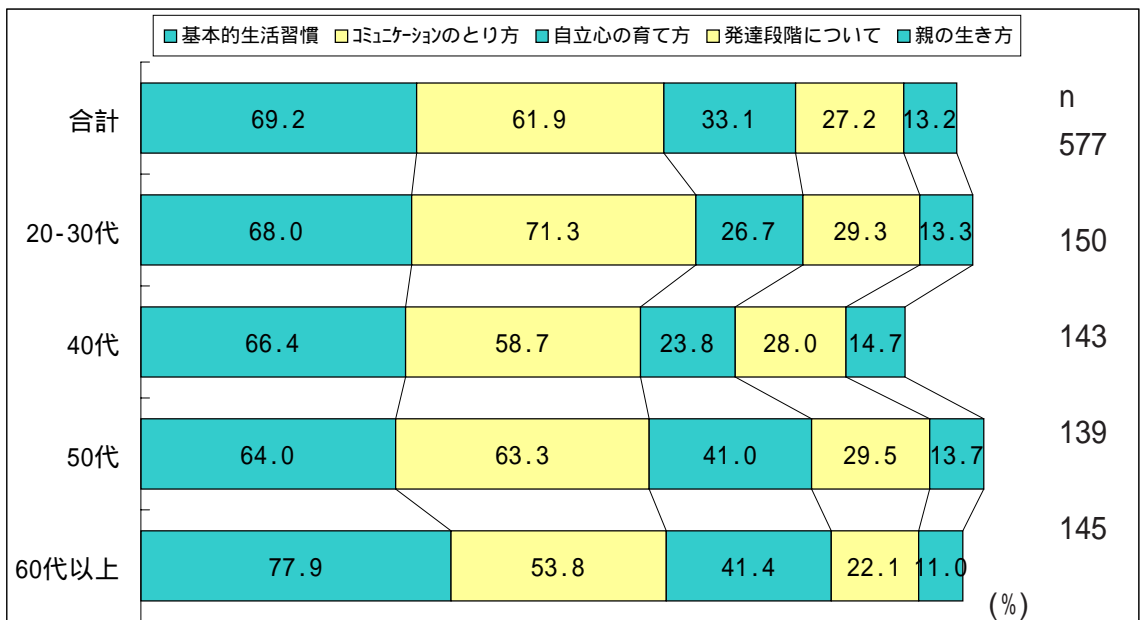
年代別でみると、20-30代では「コミュニケーション」が最も多かったのに対し、60代以上では「基本的な生活習慣」が多かった。また、「自立心の育て方」は、20-40代までは20%台であるのに対して、50代以上は40%台となっており差が目立った。

子どもの有無別でみると、「発達段階について」は、子どものいない人の方が7ポイント少なかった。

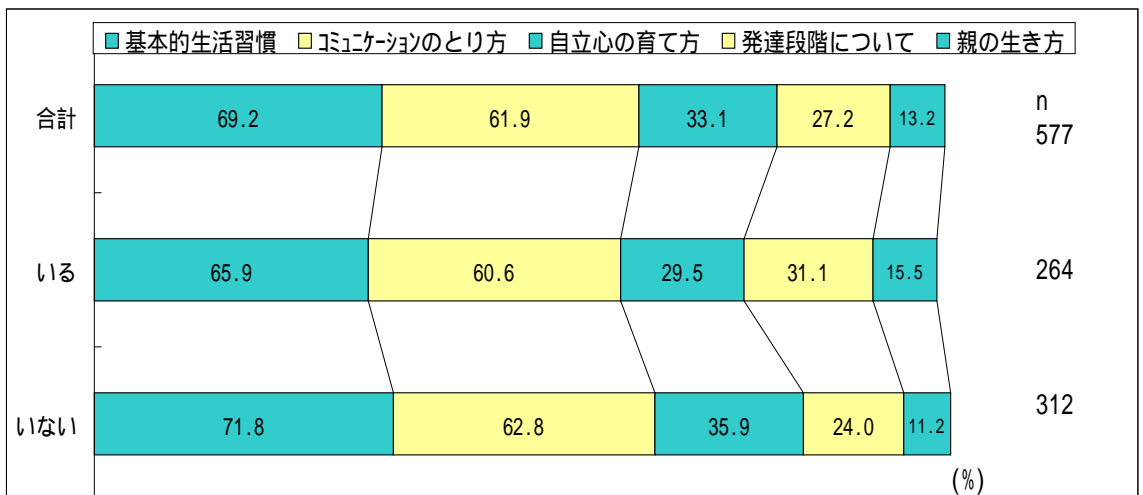
性別



年代別



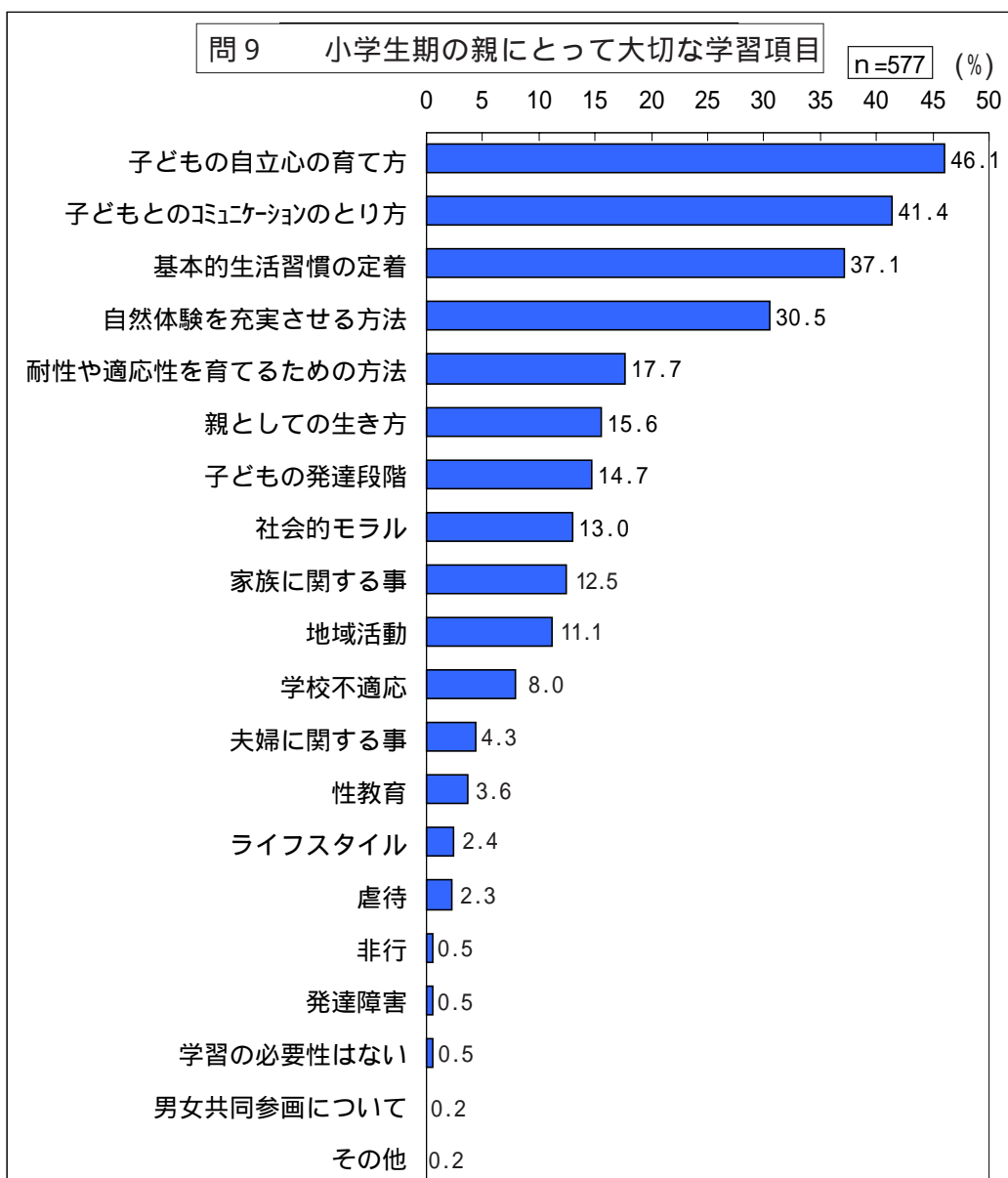
子どもの有無別



問9 小学生期の子どもを持つ親にとって大切な学習項目（複数回答）

小学生期の子どもを持つ親にとって大切な学習項目は
自立心 コミュニケーション 基本的な生活習慣

全体



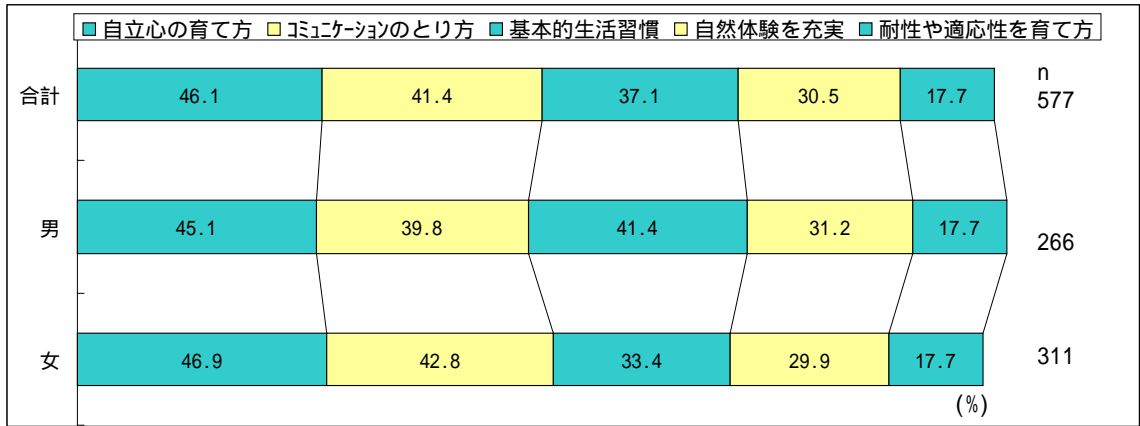
小学生期の子どもを持つ親は「子どもの自立心の育て方」の学習が大切

小学生期の子をもつ親にとって必要な学習項目の上位5位は、「子どもの自立心の育て方」「子どもとのコミュニケーションのとり方」「基本的な生活習慣の定着」「自然体験を充実させる方法」「耐性や適応性を育てるための方法」であった。

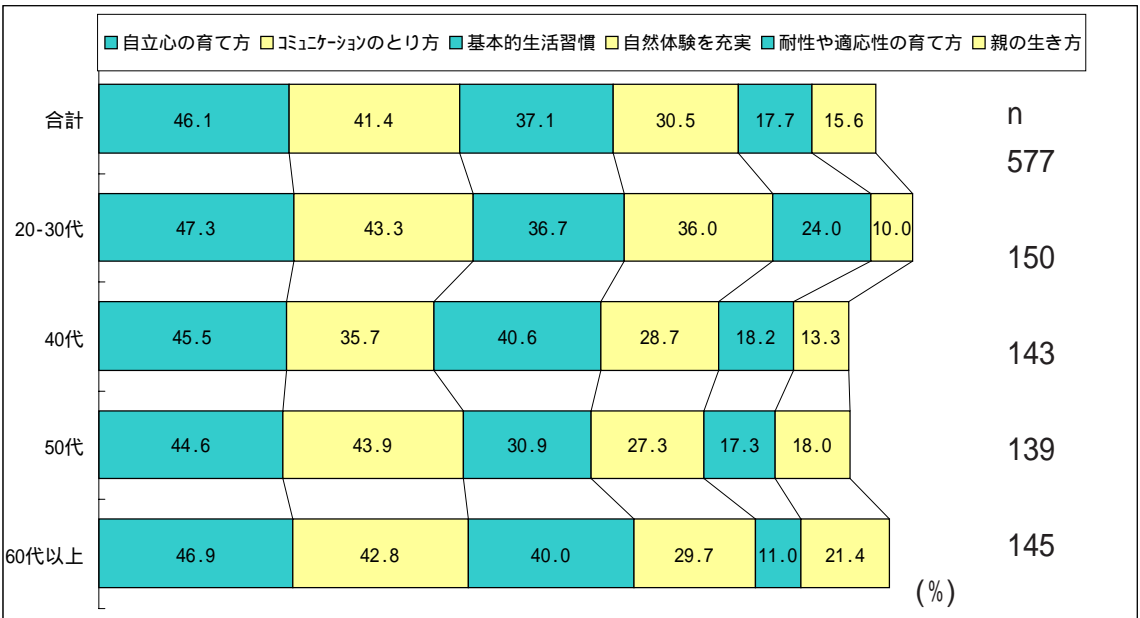
性別では、「基本的な生活習慣」について男性の方が多く、「子どもとのコミュニケーションのとり方」については女性の方が多い。

子どもの有無別では「自然体験を充実させる方法」について、子どものいる人が34.1%なのに対して、子どものいない人は27.6%であった。

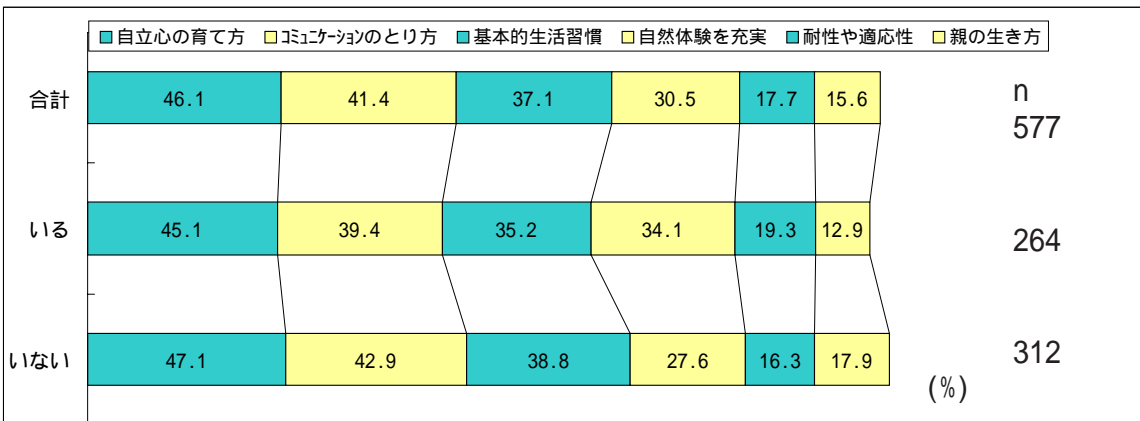
性別



年代別

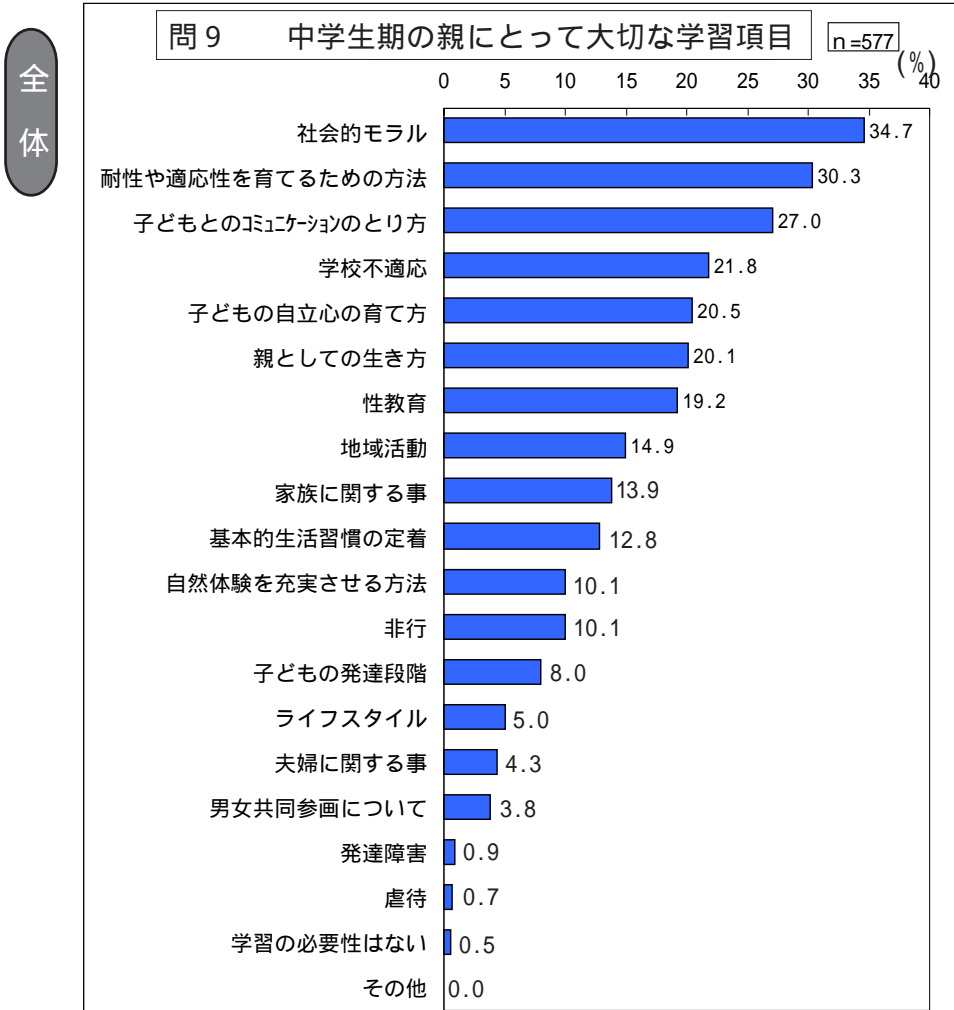


子どもの有無別



問9 中学生の子どもを持つ親にとって大切な学習項目（複数回答）

中学生期の子どもを持つ親にとって大切な学習項目は
社会的モラル 耐性や適応性 コミュニケーション



中学生期の子どもを持つ親は「社会的モラル」の学習が大切

中学生期の子どもをもつ親にとって必要な学習項目の上位5位は、「社会的モラル」「耐性や適応性を育てるための方法」「子どもとのコミュニケーションのとり方」「学校不適応」「子どもの自立心の育て方」であった。

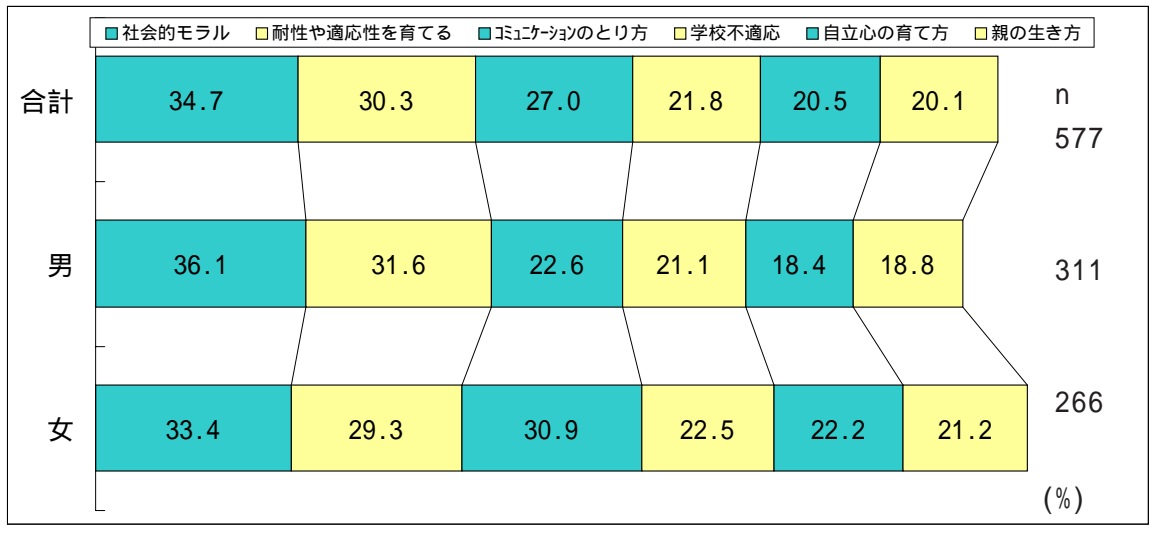
性別でみると、女性の方が「子どもとのコミュニケーションのとり方」を多く選択している。

年代別では「子どもとのコミュニ

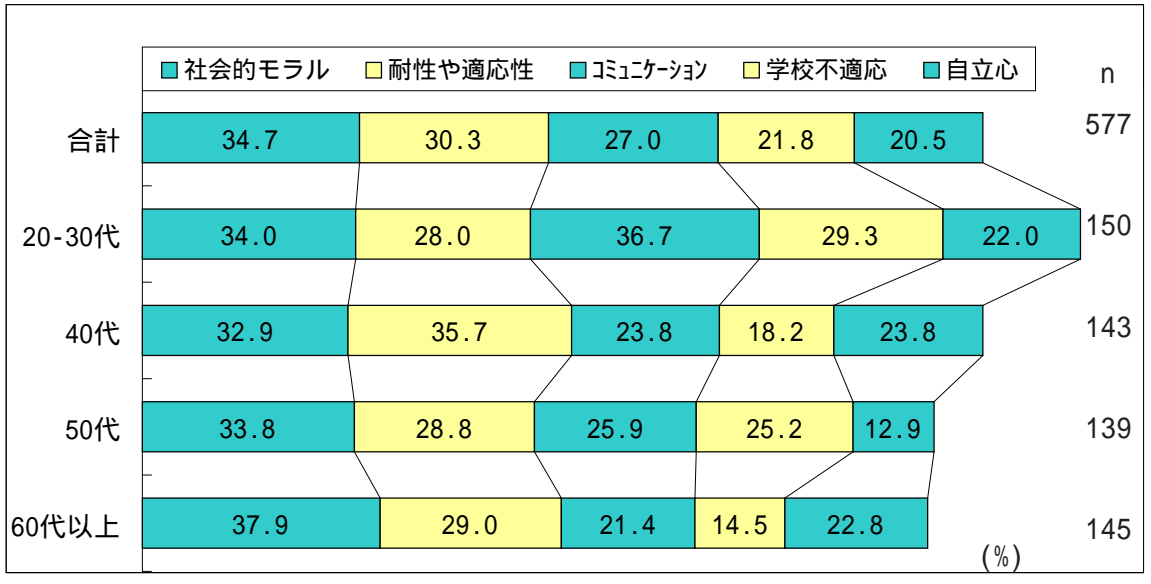
ケーションのとり方」についての割合が20-30代では36.7%と、他の年代よりその傾向は高くなっている。40代では23.8%となり、10ポイント以上低くなる。4位の「学校不適応」についても、20-30代と40代の世代間に大きな差がみられた。

子どもの有無別では「社会的モラル」と答えたのは、子どものいない人の方が多かった。

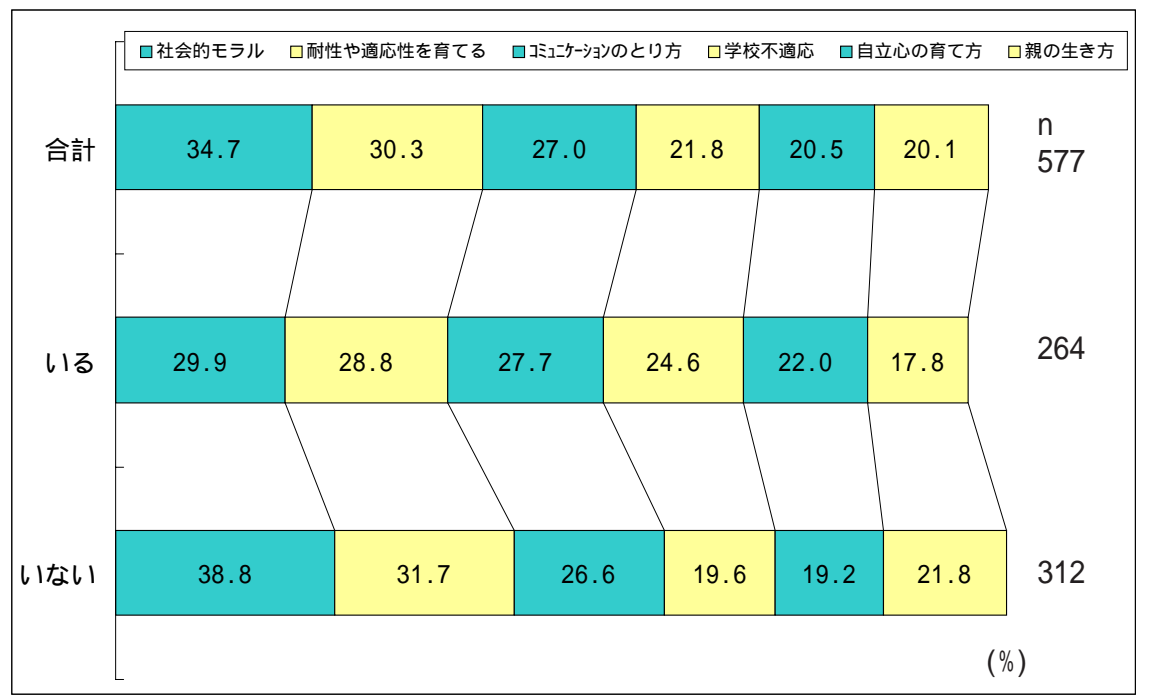
性別



年代別

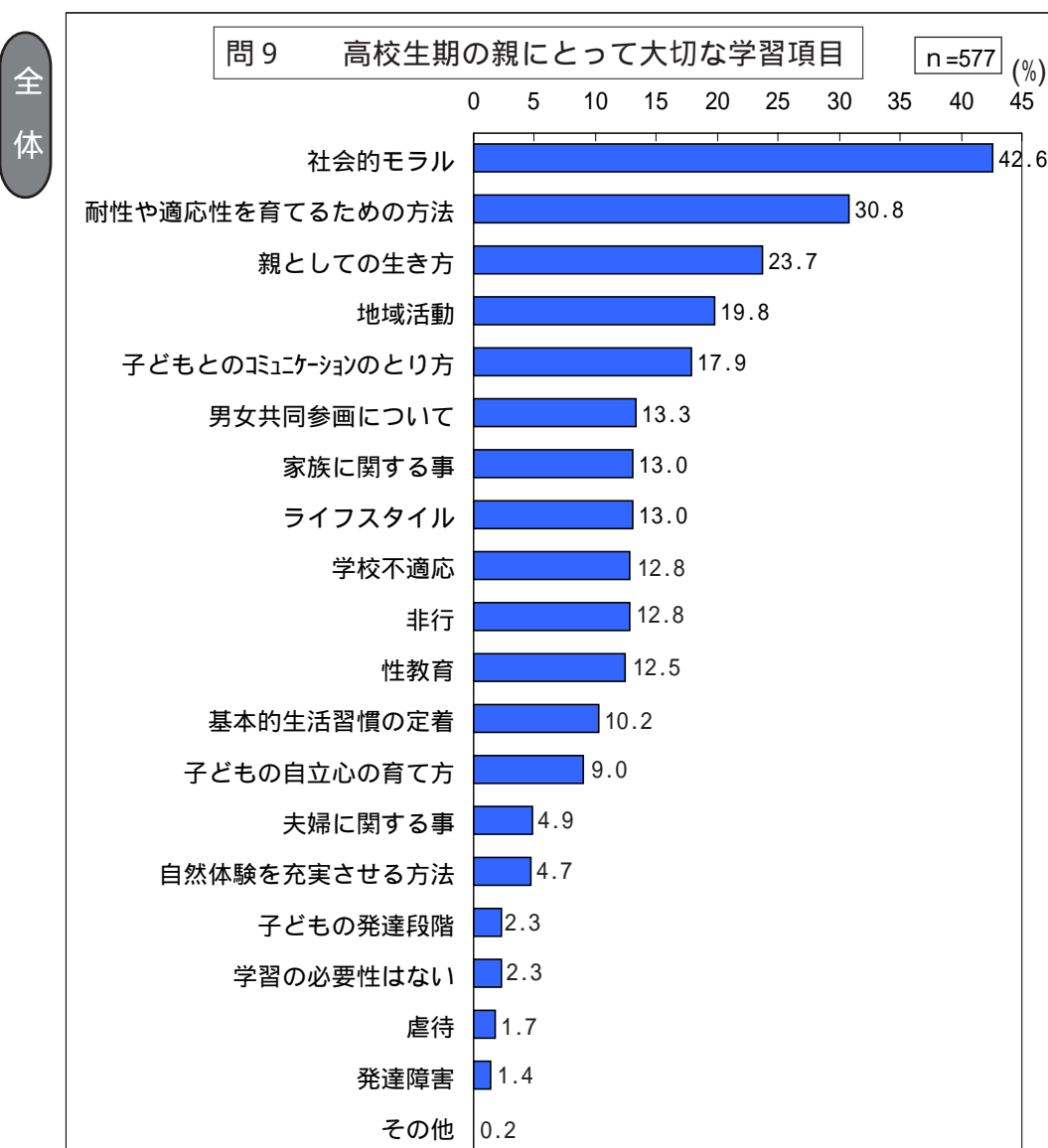


子どもの有無別



問9 高校生の子どもを持つ親にとって大切な学習項目（複数回答）

高校生期の子どもを持つ親にとって大切な学習項目は
社会的モラル 耐性や適応性 親の生き方



高校生期の子どもを持つ親は「社会的モラル」についての学習が大切

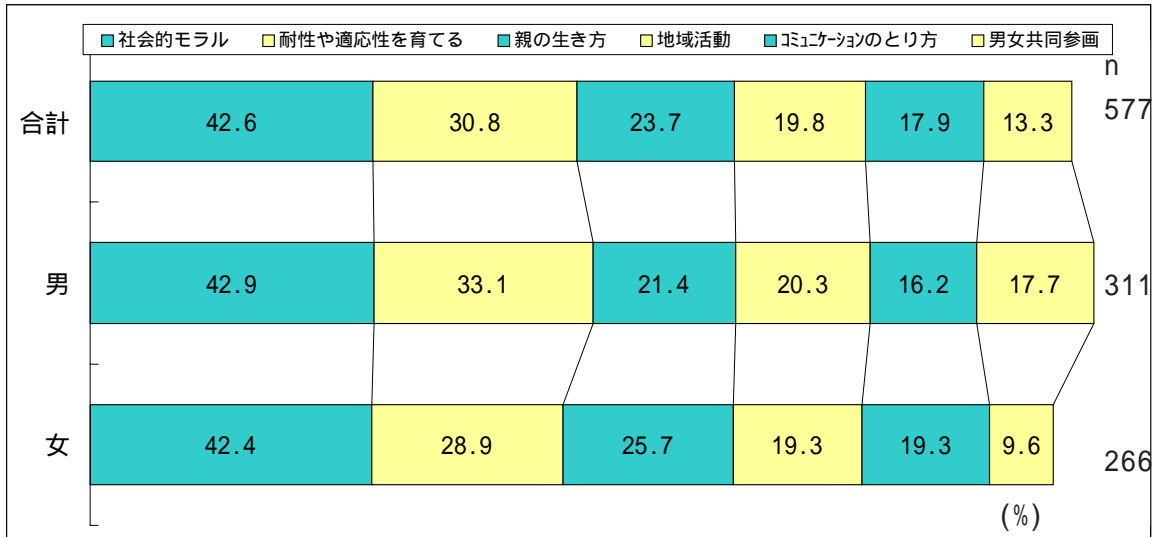
高校生期の子どもをもつ親にとって必要な学習項目の上位5位は、「社会的モラル」「耐性や適応性を育てるための方法」「親としての生き方」「地域活動」「子どもとのコミュニケーションのとり方」であった。

性別では、「耐性や適応性を育てるための方法」については男性が4.2ポイント多く、「親としての生き方」については女性が4.3ポイント多い。

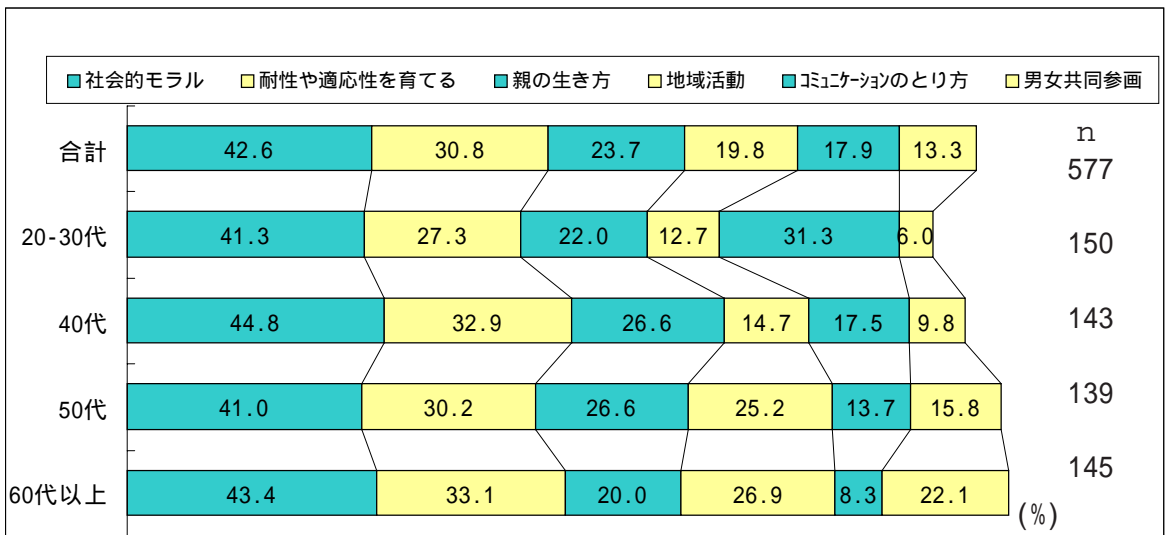
年代別に比較すると「耐性や適応性を育てるための方法」について20 - 30代が27.3%で最も少なくなっている。

子どもの有無別では、その差はあまり大きくはないが、「社会的モラル」「耐性や適応性を育てるための方法」について子どものいない人の方がやや多く、「親としての生き方」については子どものいる人の方がやや多い。

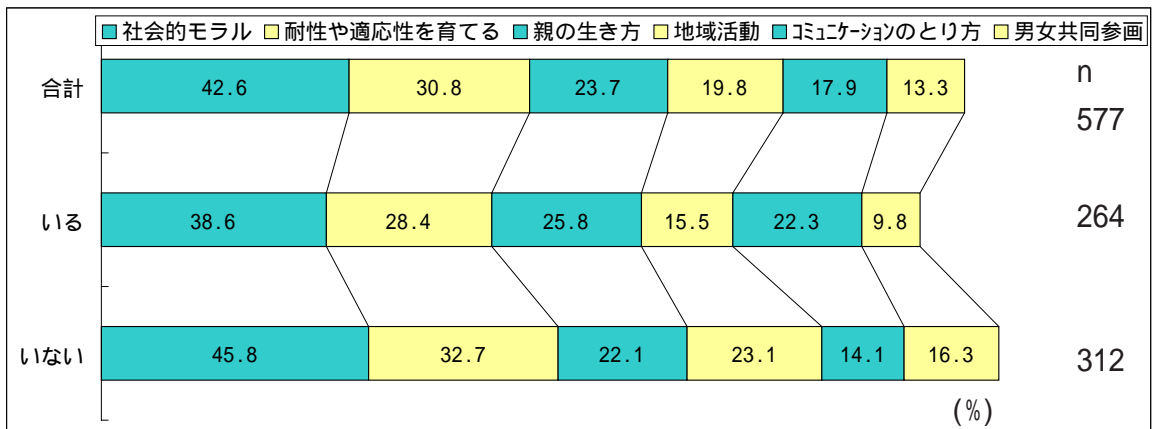
性別



年代別



子どもの有無別

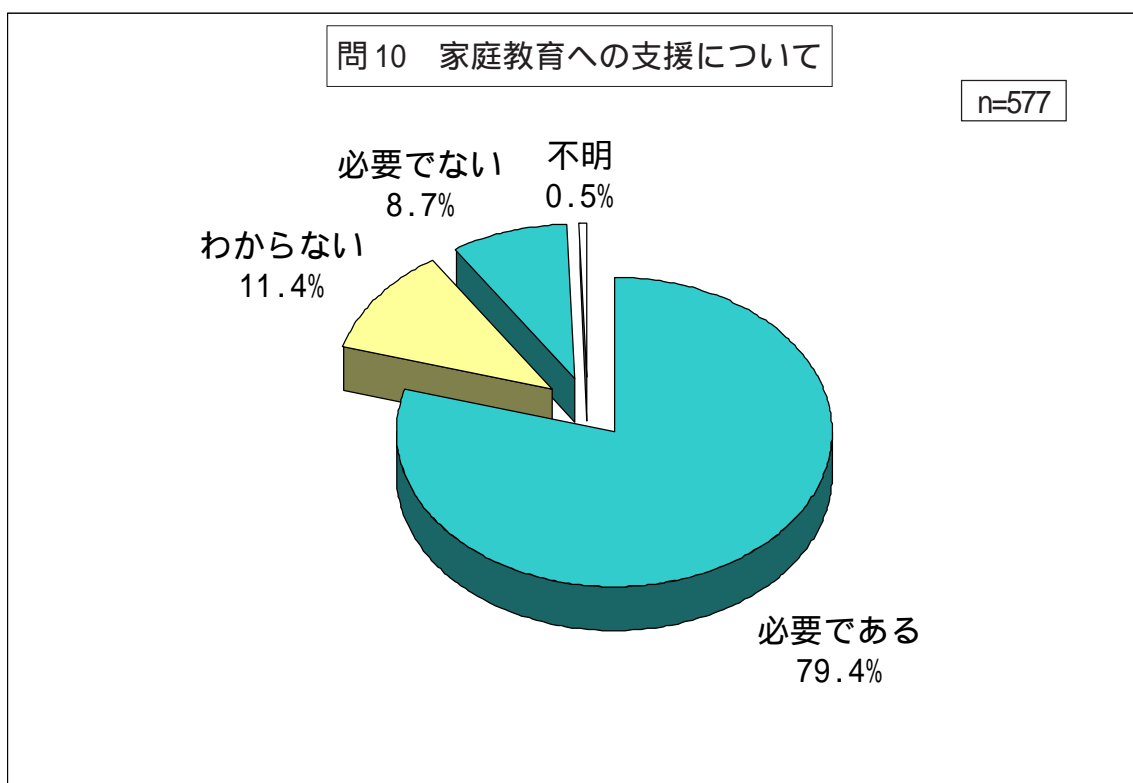


2 家庭の教育力を充実させる支援について

問10 家庭教育への支援は必要か（単数回答）

約8割が家庭教育への支援を必要と思っている

全体



家庭教育への支援は必要

全体の79.4%が家庭教育への支援は必要であると考えている。11.4%が「わからない」、8.7%が「必要でない」と考えている。

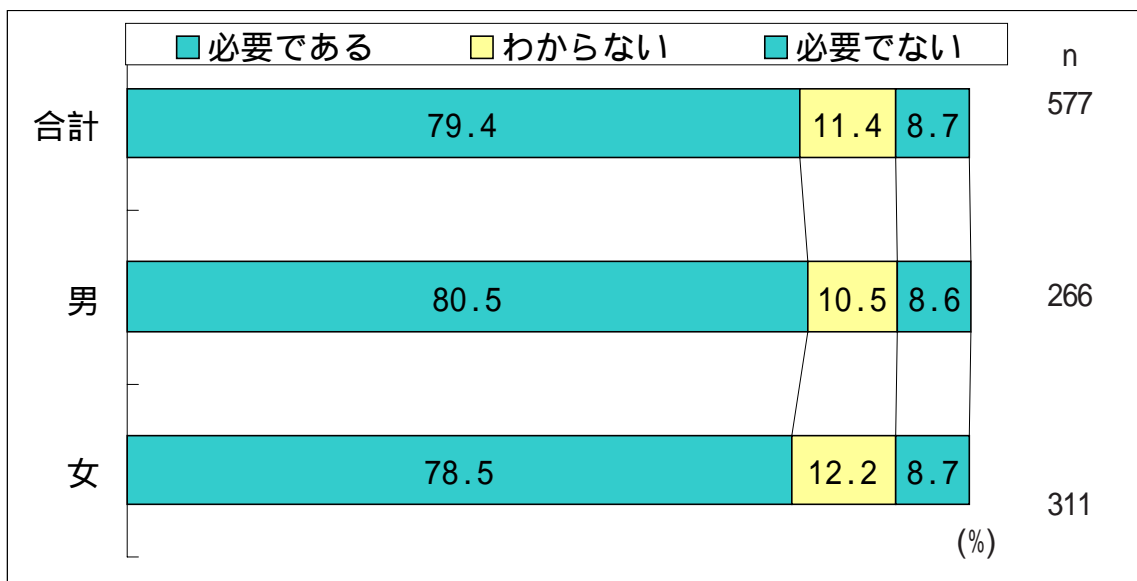
年代別では、50代において「必要である」が82.0%、「必要でない」が11.5%で、ともに他の年代に比較して多かった。50代では子育てを終えた世代の回答であり（P.30参照）経験に基づく判断がなされているようで興味深い結果である。

子どもの有無別では、子どもがいると答えた人で、家庭教育への支援の必要性に「わからない」と回答した人が13.3%あった。

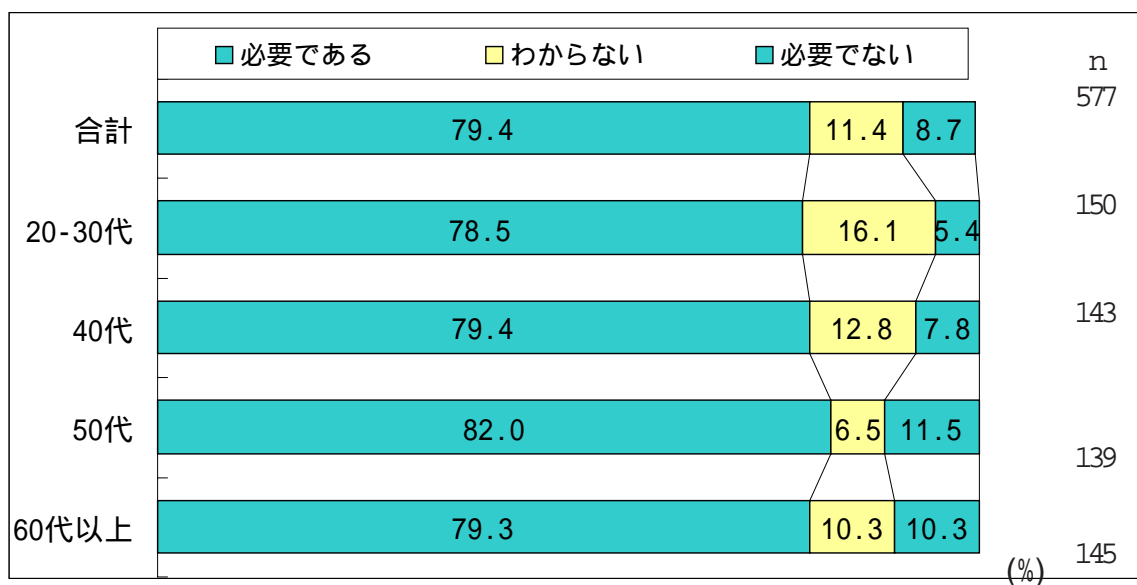
「家庭教育への支援」は全体の約8割が必要であると考えている。これまで公的機関が家庭教育に触れるということはタブー視されてきたが、このアンケート結果では回答者の大多数が、家庭教育への支援を期待していることが読み取れる。

今後は家庭教育の充実のために、公的な支援も推し進めることが必要である。

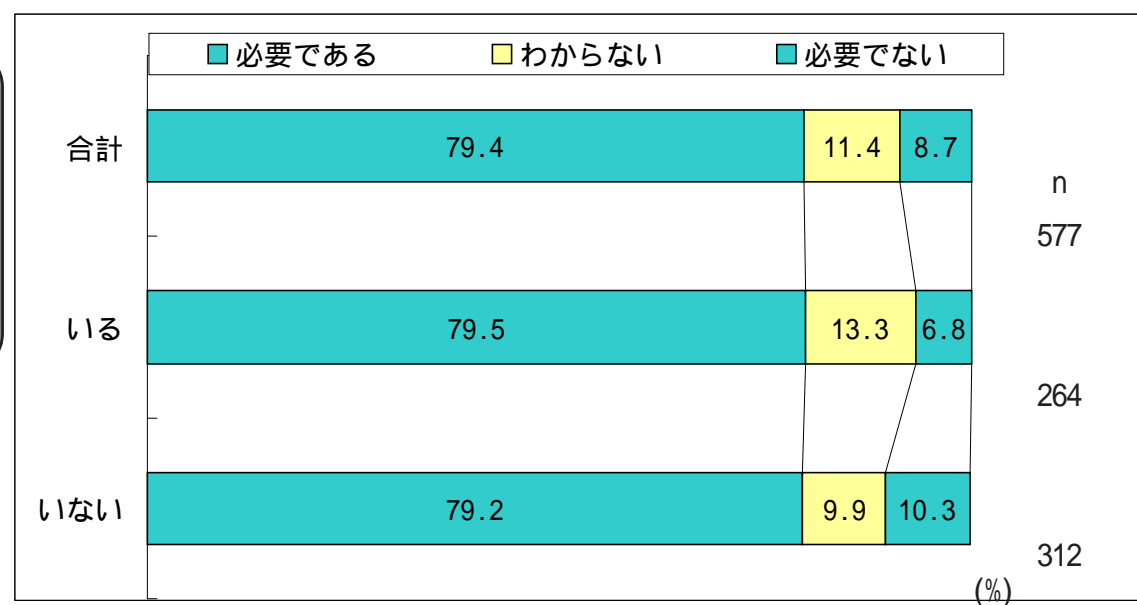
性別



年代別



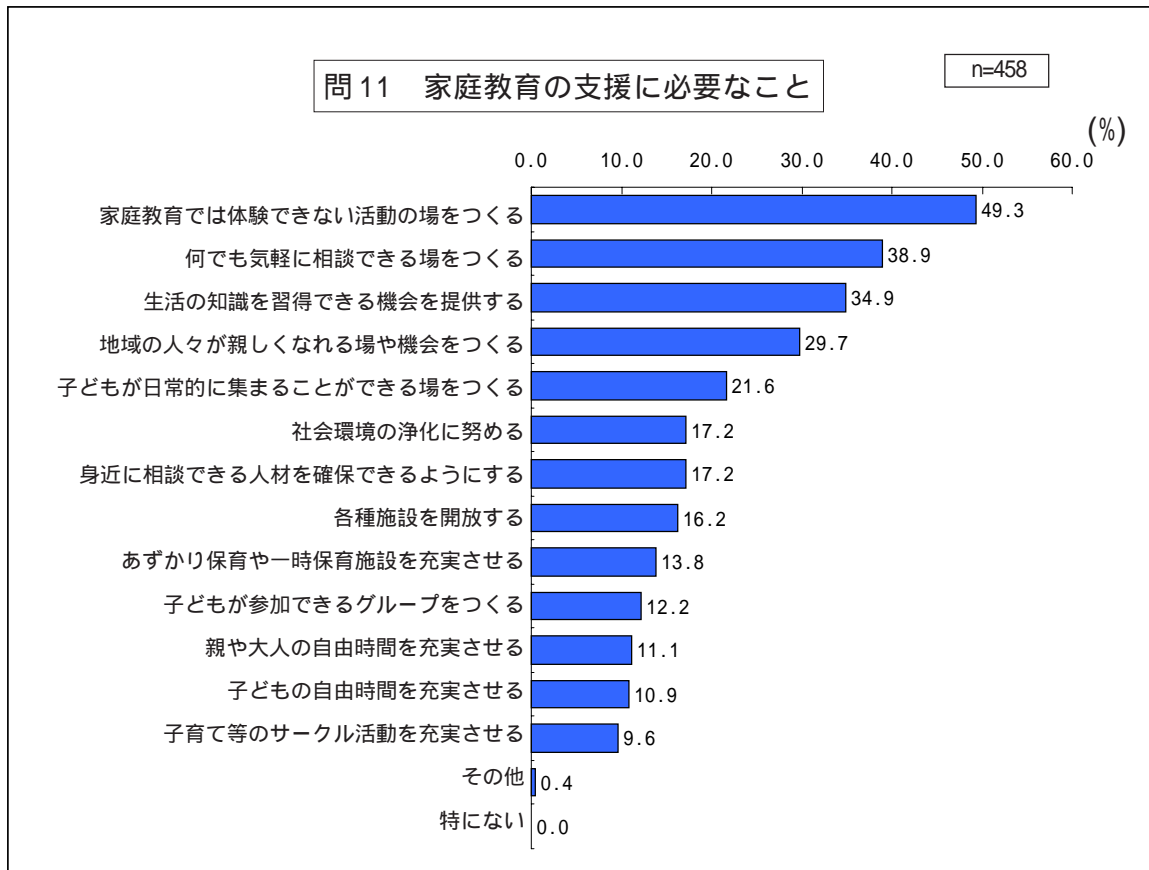
子どもの有無別



問 11 家庭教育の支援に必要なこと（複数回答）

家庭教育の支援に必要なことは
 「家庭教育では体験できない活動の場をつくる」
 「何でも気軽に相談できる場をつくる」
 「生活の知識を習得できる機会を提供する」

全
体



「家庭教育では体験できない活動の場」をつくることを望んでいる

家庭教育への支援が必要だとする
 458人(79.4%) (P.26、P.61 参照)
 が選んだ支援項目の上位3位は、

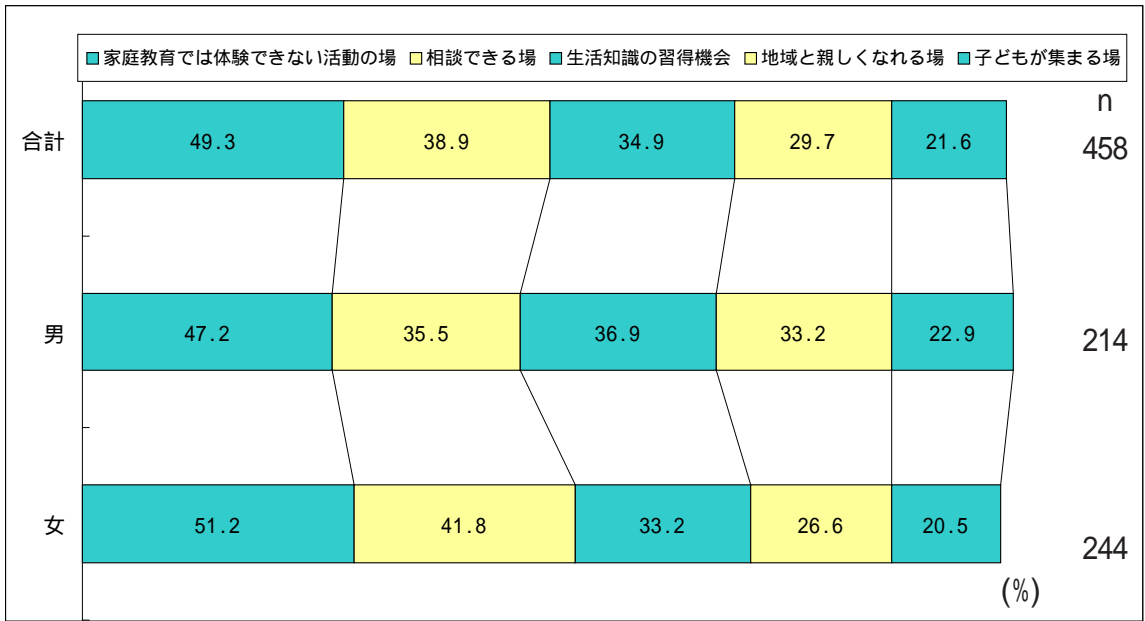
「家庭教育では体験できない活動の場をつくる」 「何でも気軽に相談できる場をつくる」 「生活の知識を習得できる機会を提供する」であった。

性別では、「何でも気軽に相談できる場をつくる」について、男性が35.5%に対して女性は41.8%であり、女性の方がいくらか多く相談の場を求めているようである。

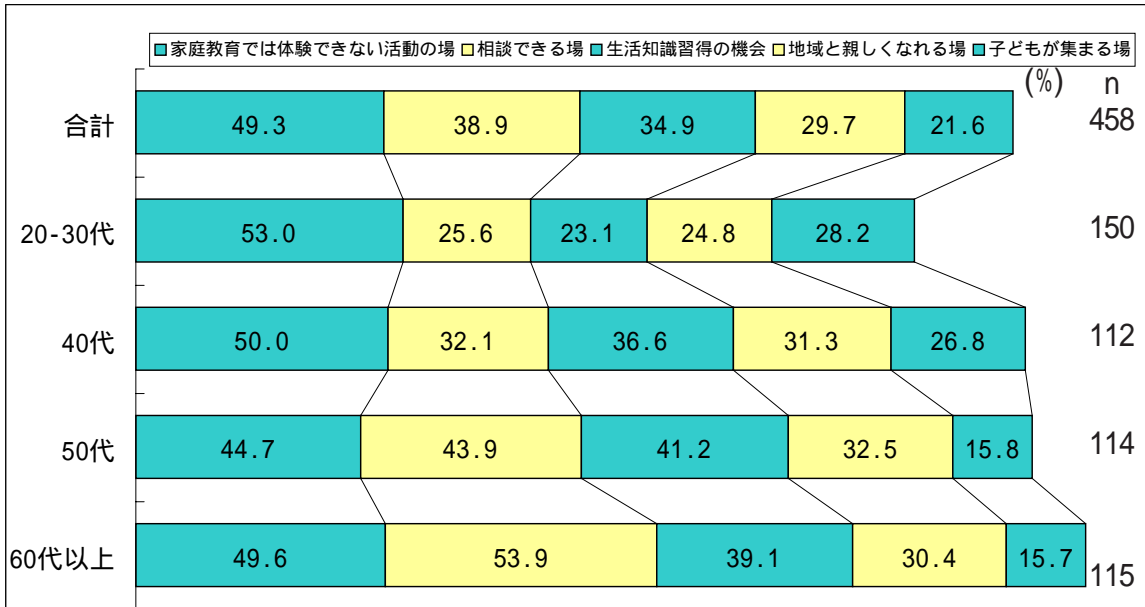
年代別の特徴として、20-30代では、「何でも気軽に相談できる場をつくる」25.6%と、「生活の知識を習得できる機会を提供する」23.1%が、他の年代に比べてかなり少なくなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人は「家庭教育では体験できない活動の場をつくる」を望む人が一番多く、子どものいない人は「何でも気軽に相談できる場をつくる」を必要とすると答えた人が一番多い。

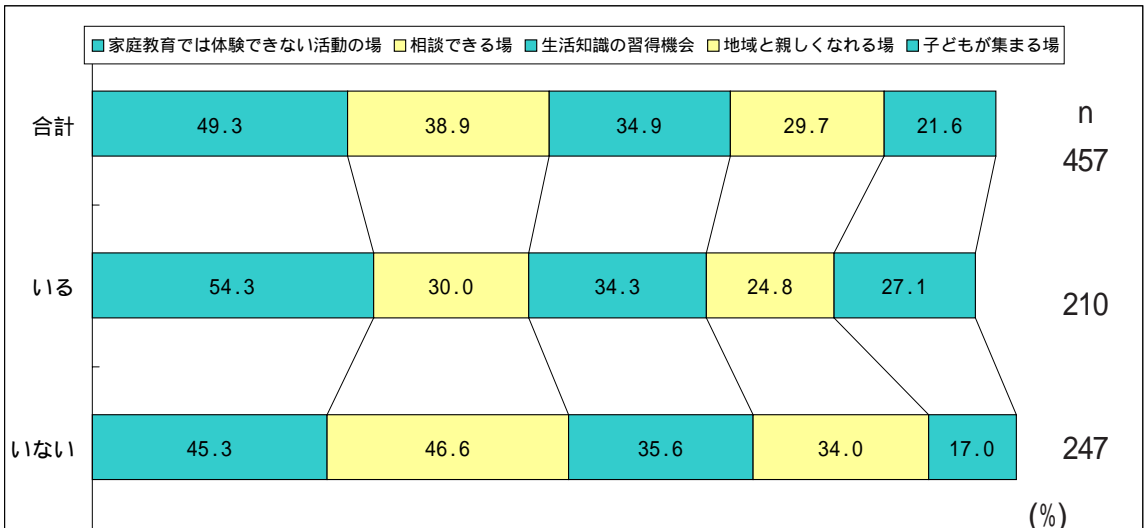
性別



年代別



子どもの有無別

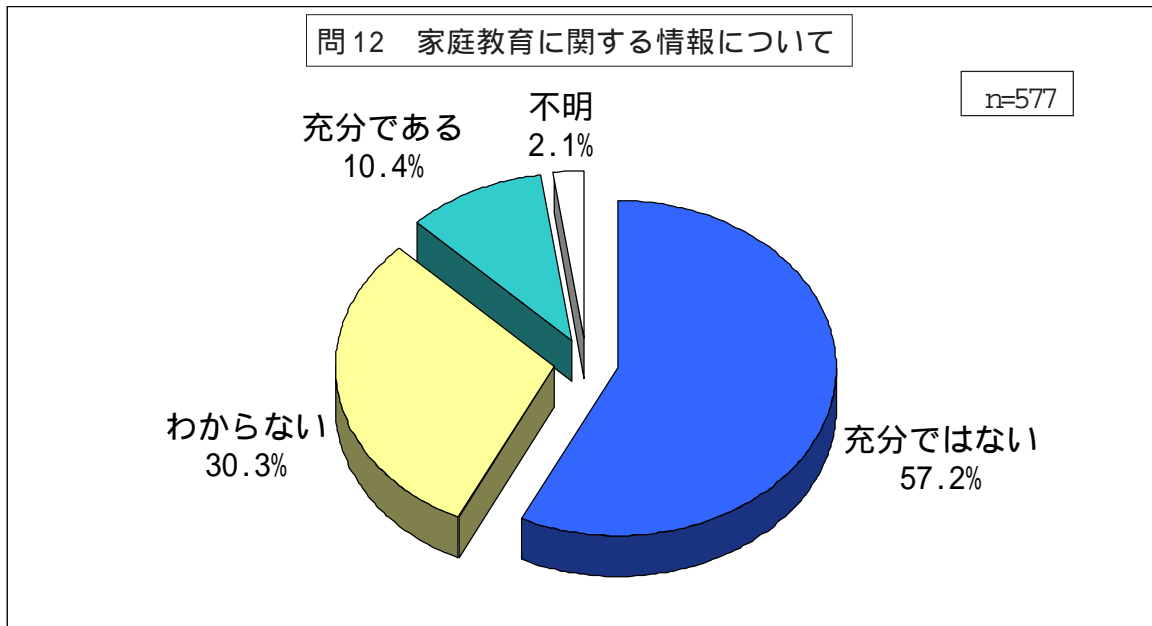


3 家庭教育の情報について

問12 家庭教育に関する情報は充分か（単数回答）

家庭教育に関する情報は
「充分である」10.4%
「充分ではない」57.2%

全体



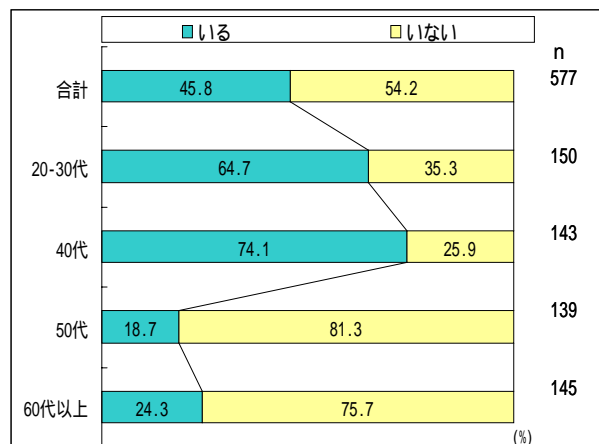
情報は充分であると思っているのは1割にすぎない

家庭教育に関する情報は「充分である」と答えたのは10.4%、「充分ではない」は過半数の57.2%であった。

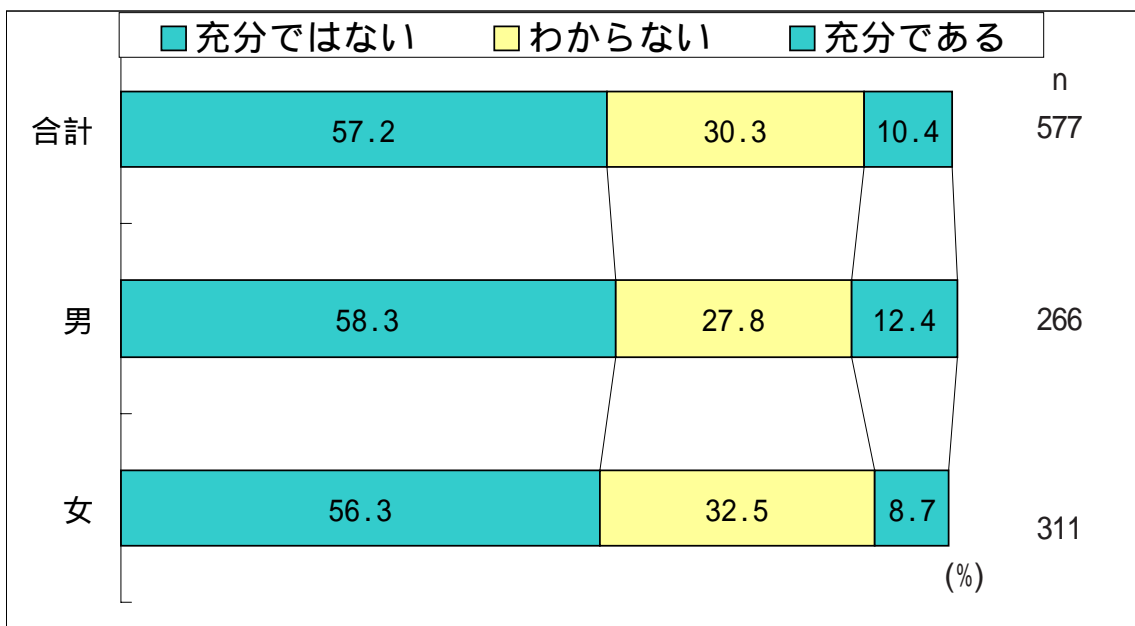
年代別でみると、「充分ではない」「充分である」の両方とも60代以上が最も多く、「わからない」と答えたのは最も少なかった。その他の世代は似通っており、半数以上が充分ではないと答えている。60代以上の人の75.7%は子どもがいない家庭であり、自分が子どもを育てた時のことを基にして回答したので「わからない」が少なくなったと思われる。20-30代、40代は現在子育て中であることが右の表よりわかる。

また、子どもの有無別での差はほとんどなく、約6割が「充分でない」、約1割の人が「充分である」と答えている。

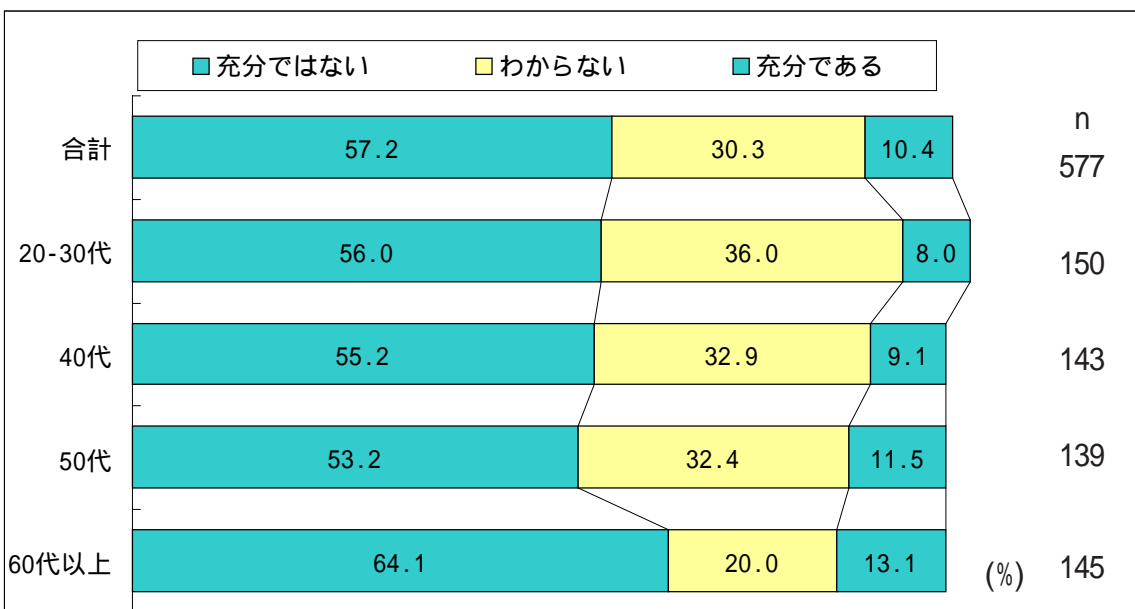
・子どもの有無と年代との関係



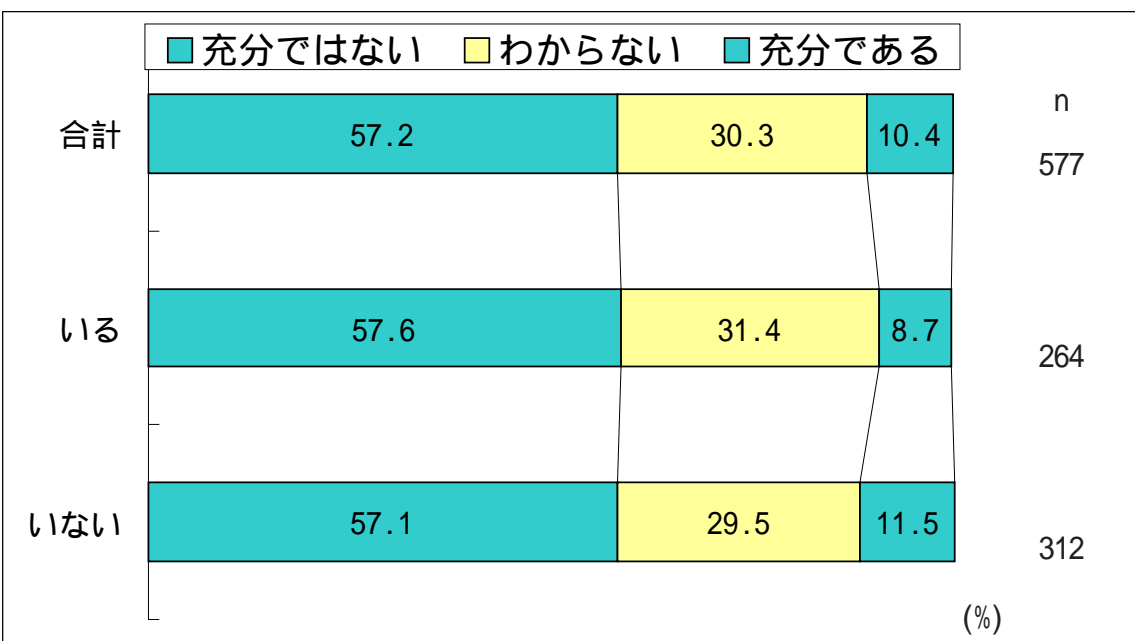
性別



年代別

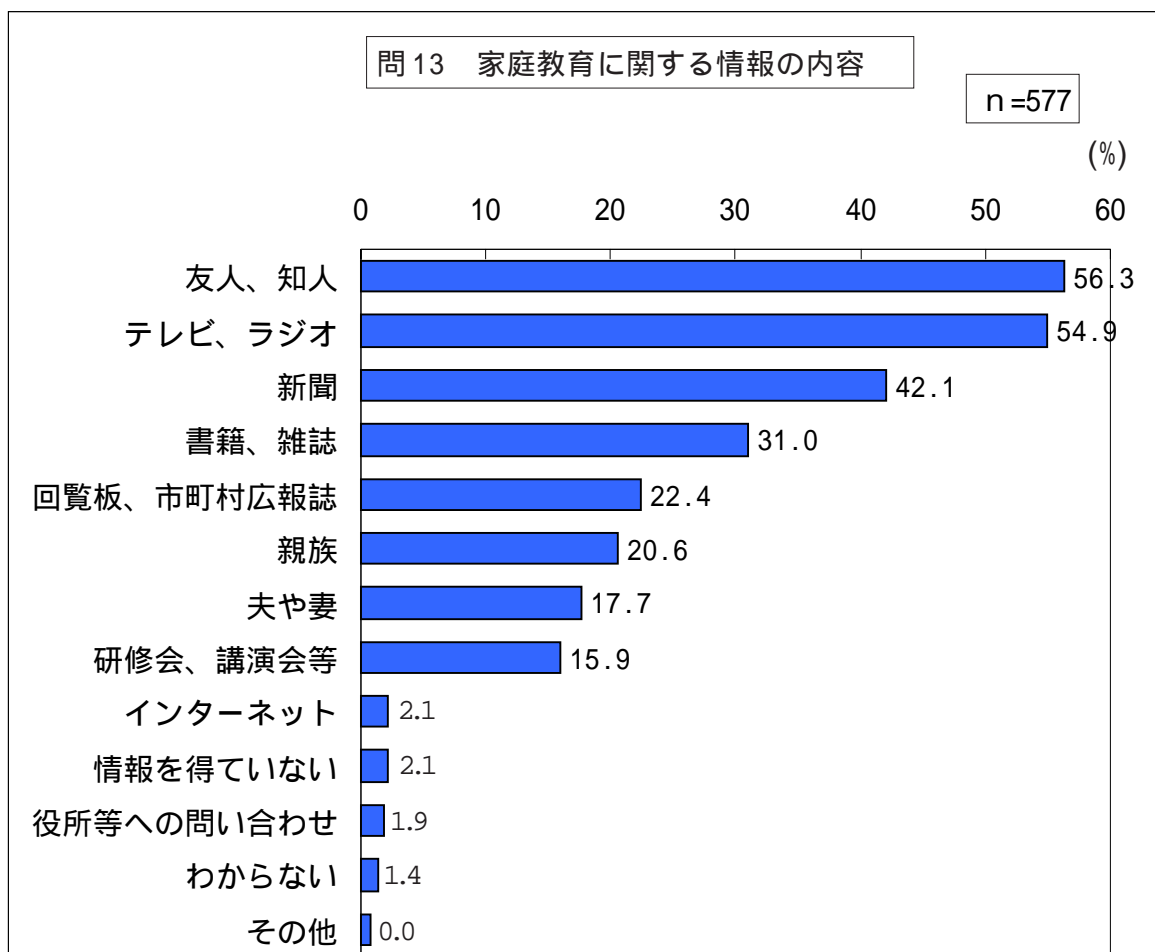


子どもの有無別



問 13 家庭教育に関する情報の入手先（複数回答）

親が得ている家庭教育に関する情報の入手先
「友人、知人」 「テレビ、ラジオ」 「新聞」



情報は「友人、知人」や「テレビ、ラジオ」からが多い

家庭教育に関する情報の入手先の上位5位は、「友人、知人」「テレビ、ラジオ」「新聞」「書籍、雑誌」「回覧板、市町村広報誌」であった。

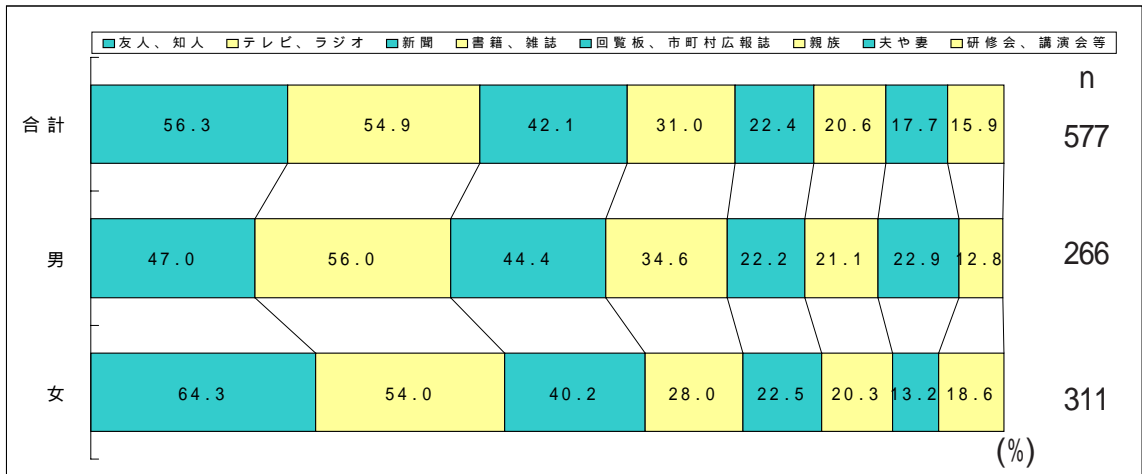
性別で見ると、「友人、知人」と答えたのは女性が多く、「テレビ、ラジオ」「新聞」「書籍、雑誌」などを選んだのは男性の方が多かった。

年代別で見ると、20 - 30代の情報の入手先が特徴的で「友人、知人」

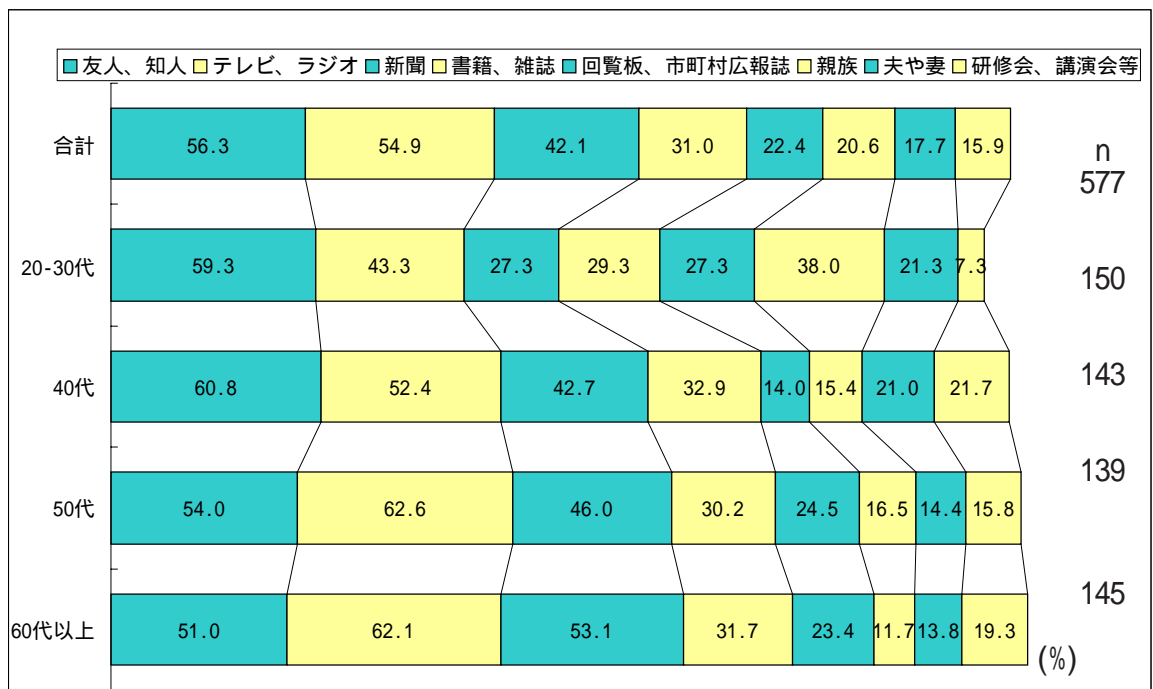
「親族」「夫や妻」などが多く、「テレビ、ラジオ」「新聞」「書籍、雑誌」などの情報先が他の年代に比べて少なくなっている。高齢になるほど、「テレビ、ラジオ」「新聞」からの情報が少なくなっている。

子どもの有無別で見ると、子どものいる人の方が「テレビ、ラジオ」「新聞」「書籍、雑誌」などからの情報が比較的少ないという結果になった。

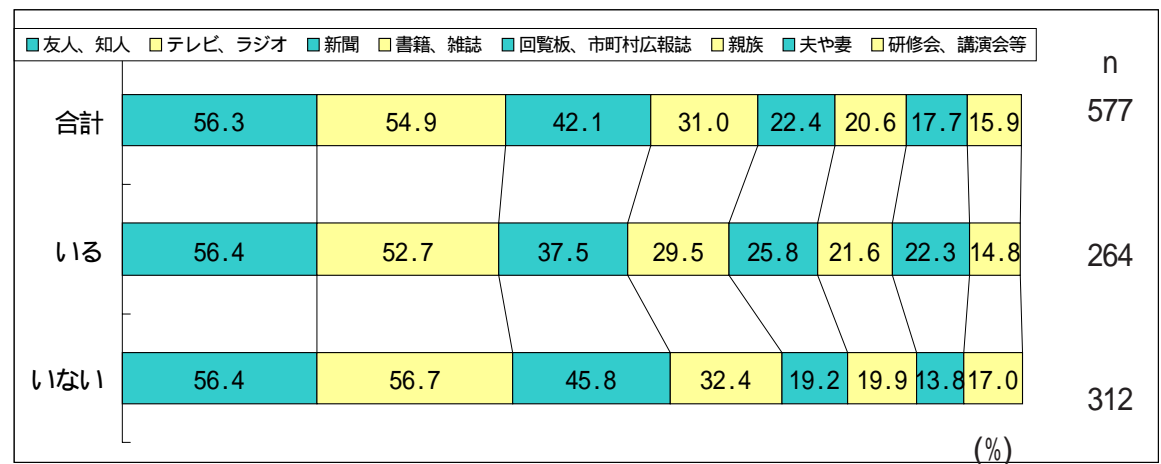
性別



年代別



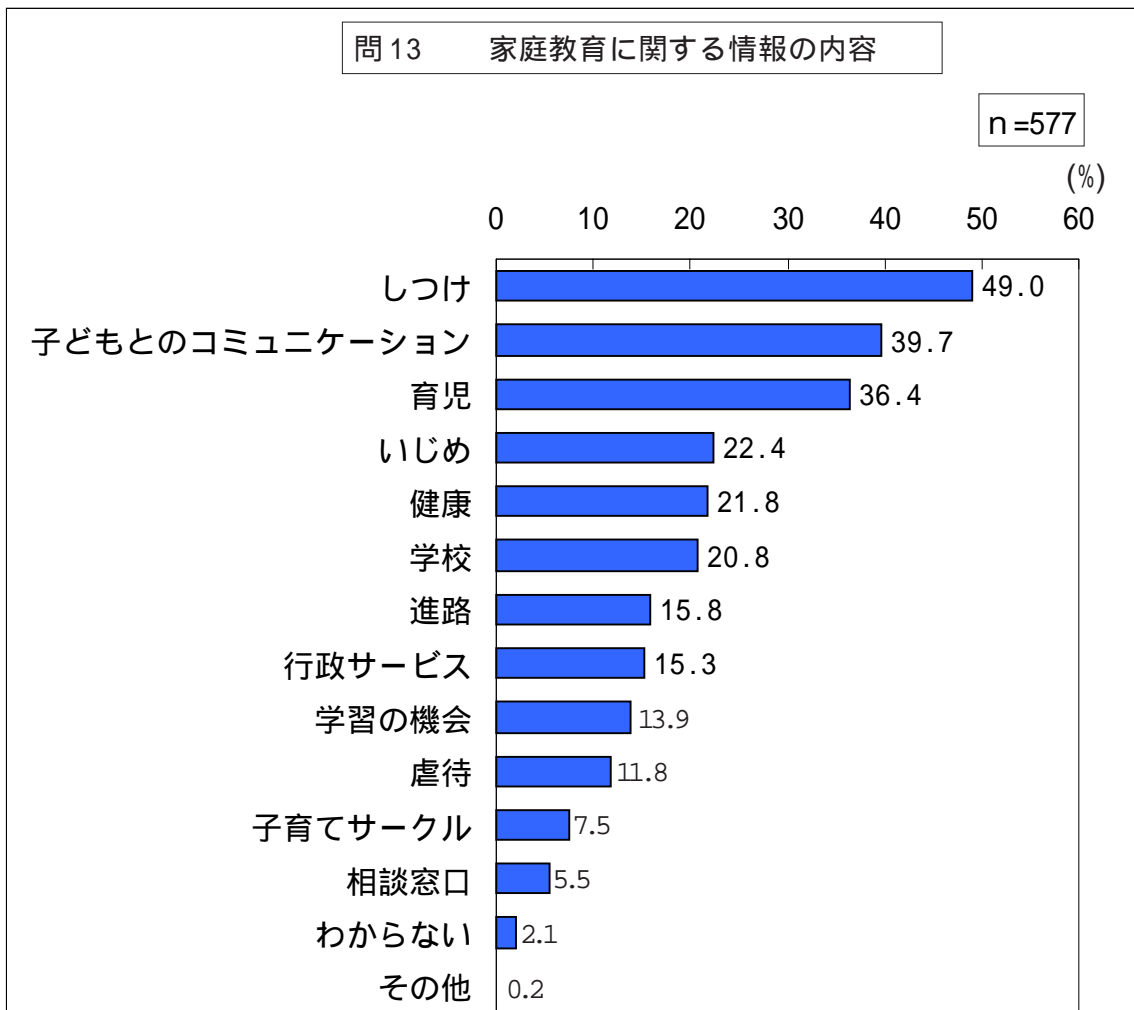
子どもの有無別



問 13 家庭教育に関する情報の内容（複数回答）

親が得ている家庭教育に関する情報の内容は
 「しつけ」 「子どもとのコミュニケーション」 「育児」

全
体



情報の内容は「しつけ」と「子どもとのコミュニケーション」が多い

家庭教育に関する情報の内容の上位3位は、「しつけ」「子どもとのコミュニケーション」「育児」であった。情報の内容としては比較的一般的な内容である。

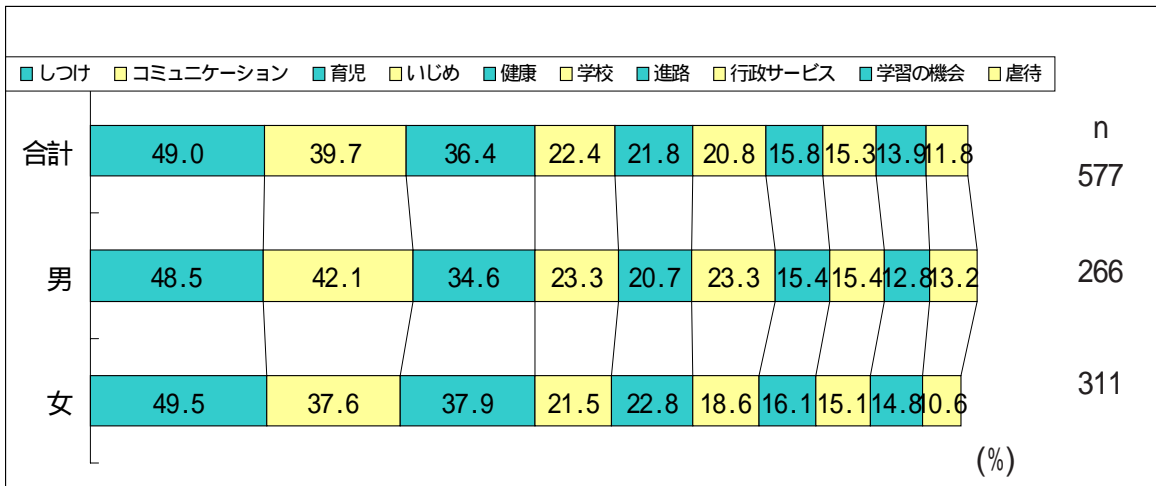
性別で見ると、「育児」「健康」と回答したのは女性が多く、「子どもとのコミュニケーション」「学校」を選んだのは男性が多かった。

年代別では、20 - 30代が「育児」「しつけ」の情報を入手することが多

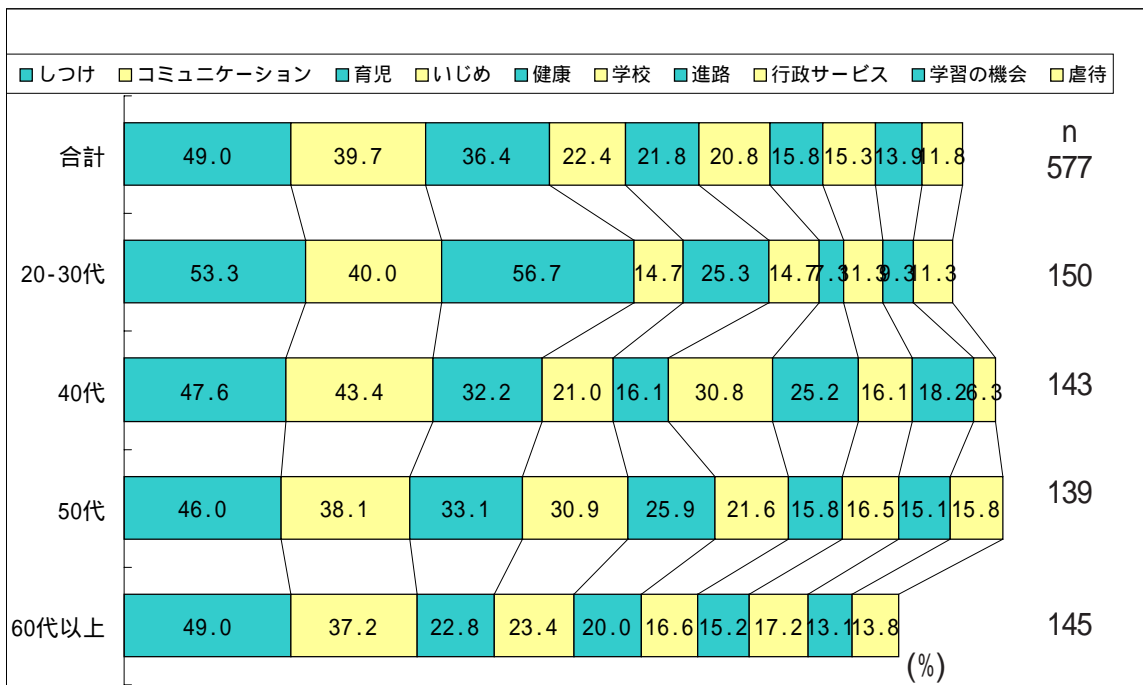
く、「子どもとのコミュニケーション」に関しては、40代が最も多くなっている。

子どもの有無別では、いる人は「子どもとのコミュニケーション」「育児」が、いない人の回答より多くなっており、「しつけ」に関しては子どもがいないの方がいくぶん高い。「いじめ」については、子どものいないの方が多く回答しているが、これは、家庭教育に関する情報にニュース等も含んで考えた結果であるとみてよいだろう。

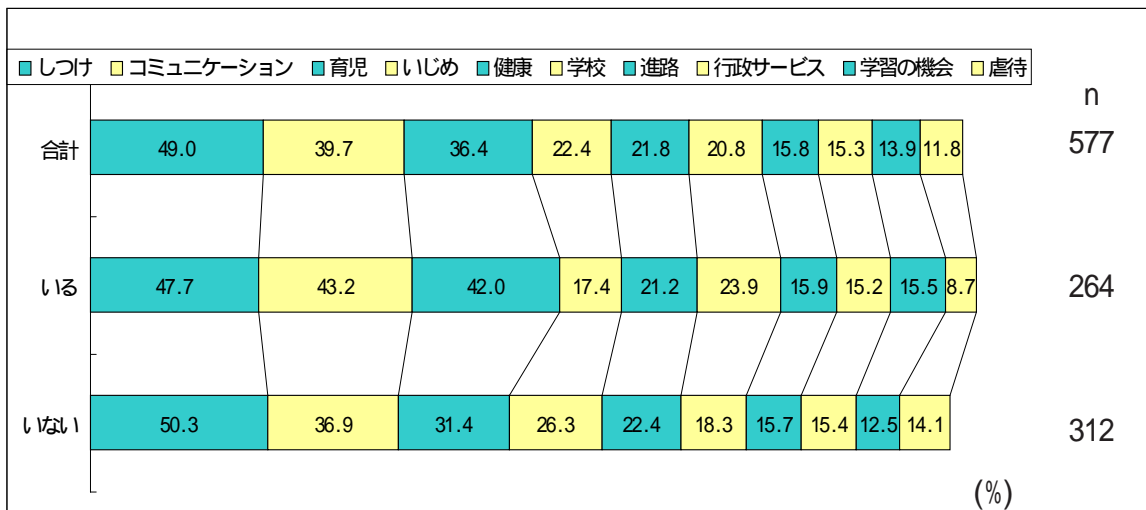
性別



年代別



子どもの有無別

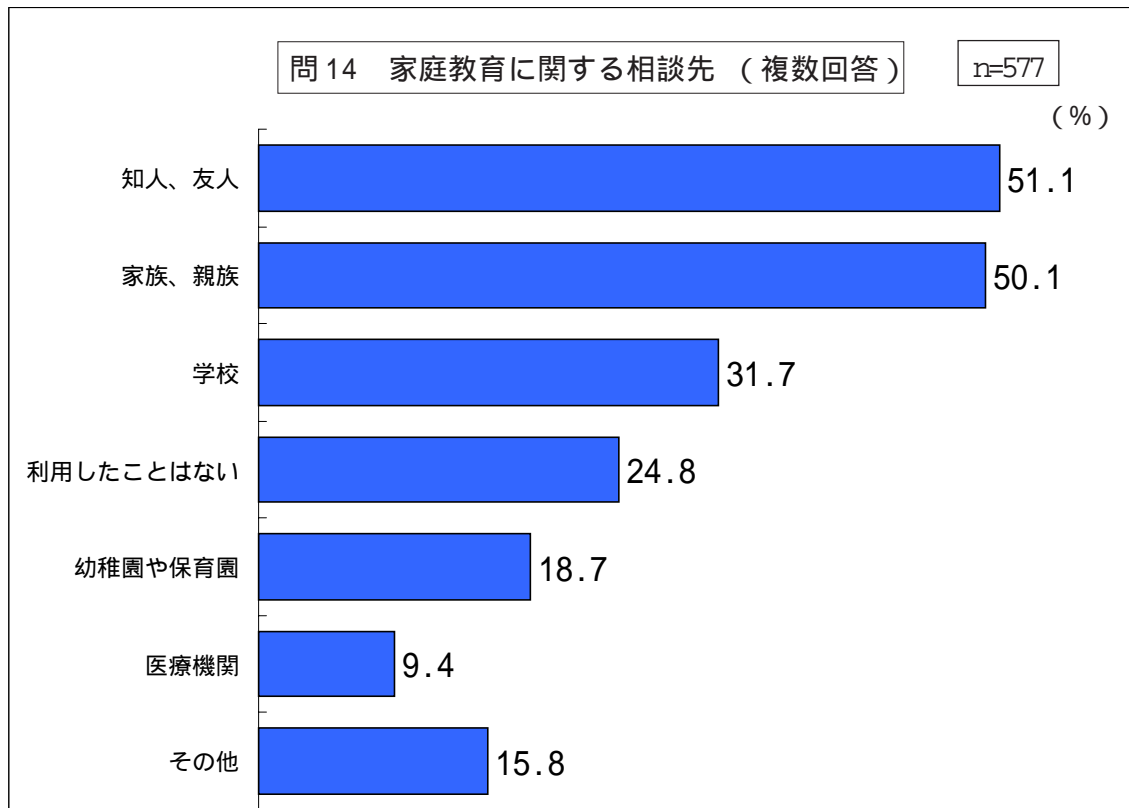


4 家庭教育の相談について

問 14 家庭教育に関する相談先（複数回答）

家庭教育に関する相談先は

「知人、友人」 「家族、親族」 「学校」



家庭教育に関する相談先は身近な人が多い

家庭教育に関する相談先は 「知人、友人」 「家族、親族」 「学校」 「利用したことはない」 「幼稚園や保育園」であった。

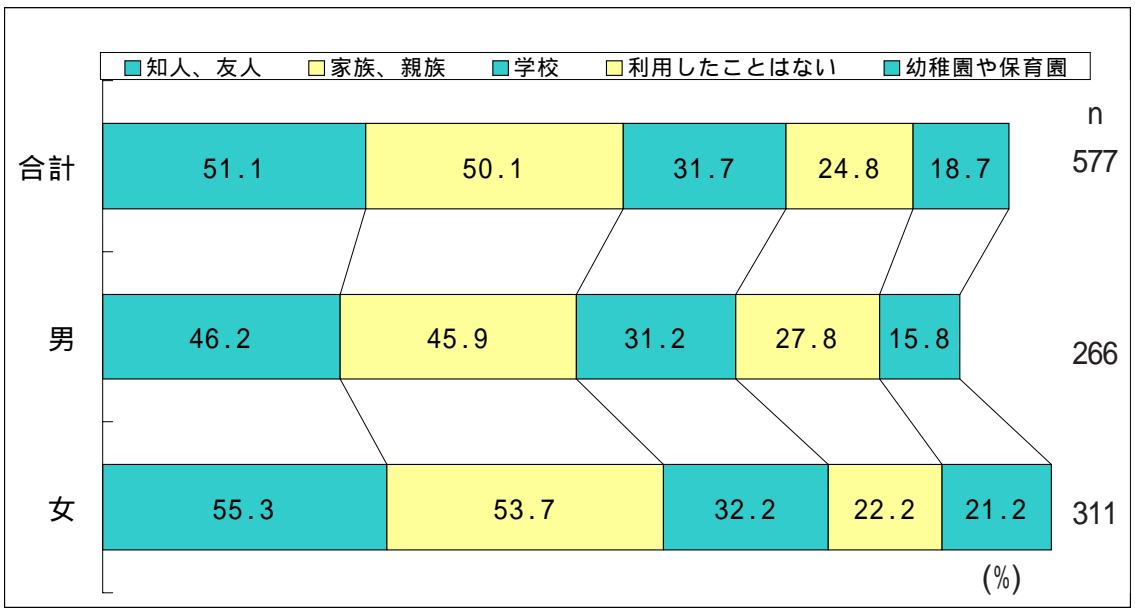
性別では、あらゆる相談先について、女性の方が積極的に相談している姿がうかがえる。

年代別、子どもの有無別では子どもを持つ若い親が、各相談先に相談している姿がうかがえる。相談先は「知人、友人」「家族、親戚」が最も多かった。

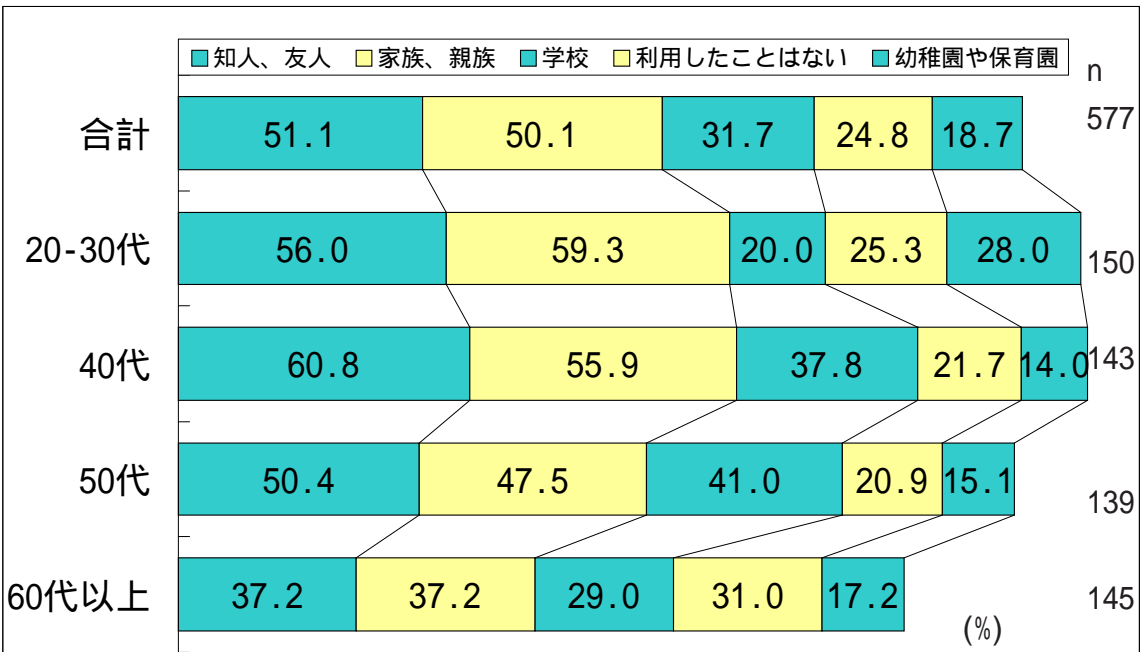
・その他の相談先

	相 談 先	人数
その他	保健所	15
	児童相談所	12
	地域の子育て支援センター	10
	子育て支援サークル	9
	子育てメイトなどの地域の相談員	9
	インターネット	7
	こころの電話	6
	福祉事務所	5
	子ども家庭支援センター総合相談	5
	精神保健福祉センター	4
	ふれあいテレホン	3
	ヤングテレホン	2
	いのちの電話	2
	子ども人権110番	1
	あたたかテレホン	1
	合計	91

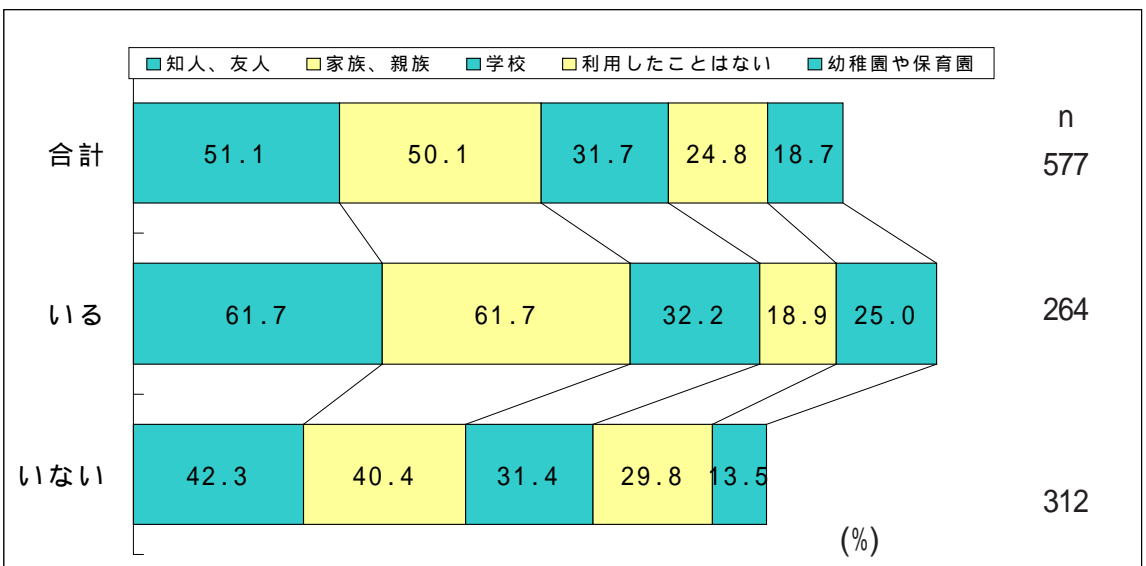
性別



年代別



子どもの有無別



5 家庭教育の学習機会について

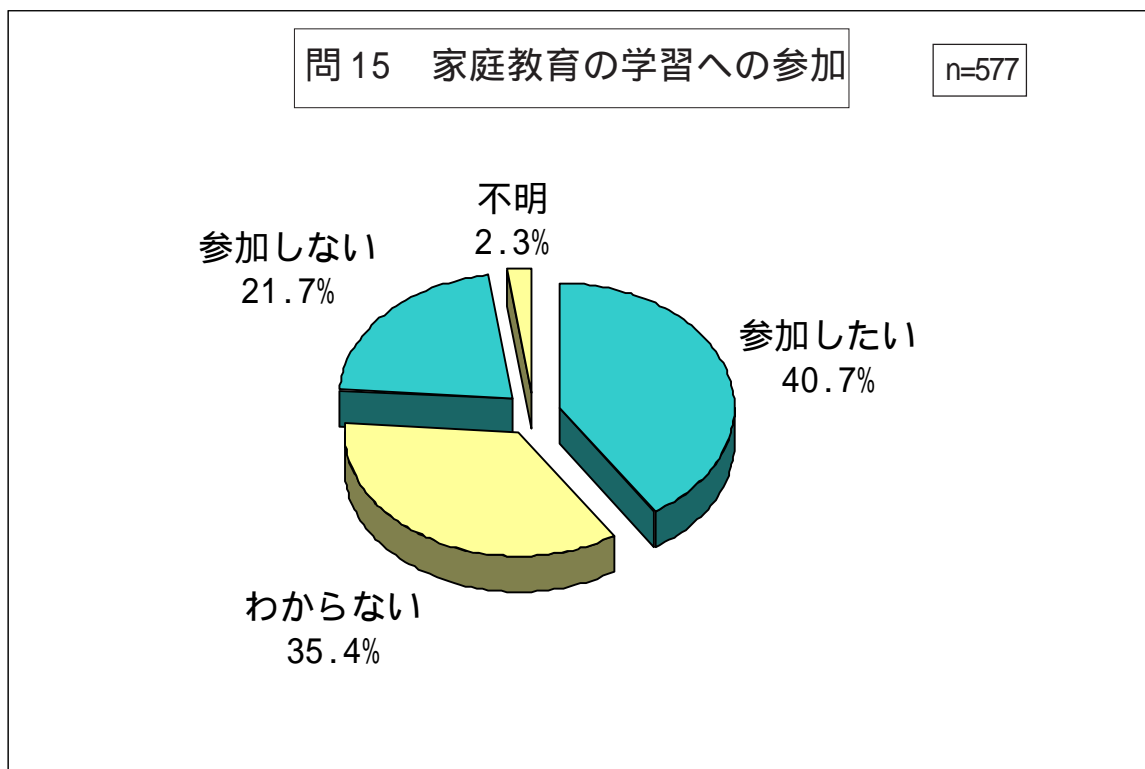
問 15 家庭教育の学習機会への参加（単数回答）

家庭教育の学習機会に

参加したい 40.7%

参加しない 21.7%

全
体



家庭教育の学習機会に参加したい

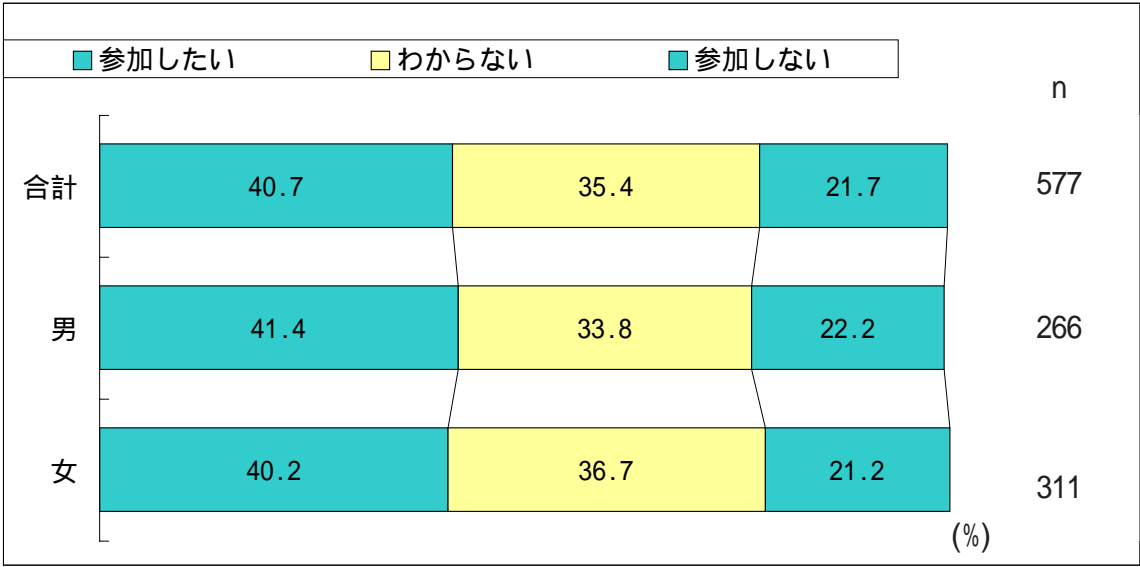
家庭教育の学習機会に「参加したい」は40.7%、「参加しない」は21.7%、「わからない」は35.4%であった。

「参加しない」と言い切っている人たちが、2割以上いることが気になるところである。

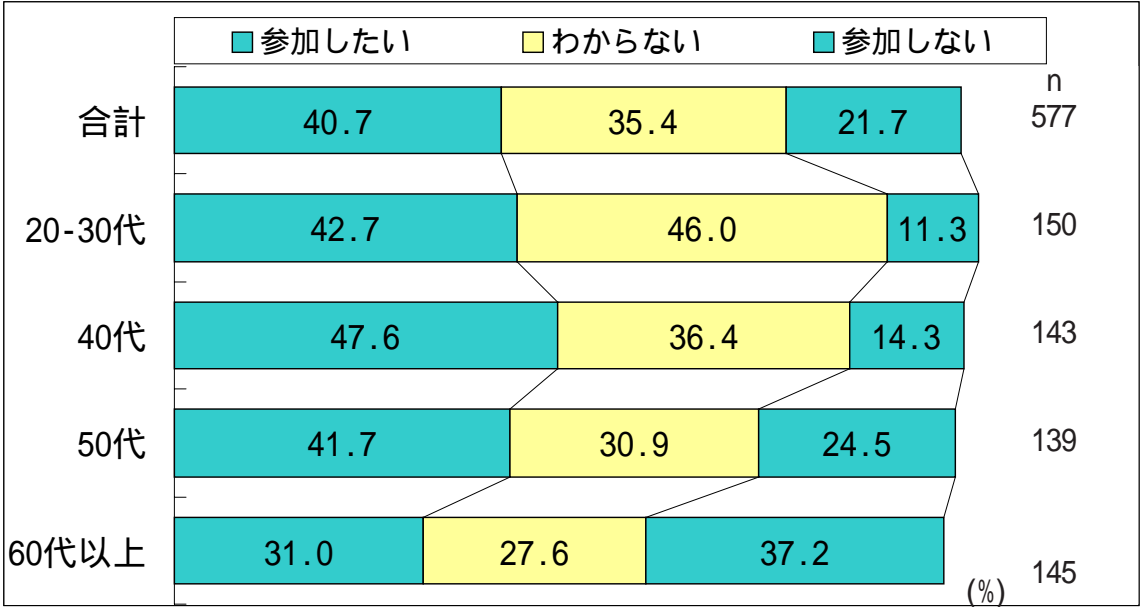
年代別では、年齢が高くなるにつれて、「参加しない」の答えが多い。これは、家庭教育は親がだけが関係するものという考えの表れであろうか。

子どもの有無別では、子どもがいる人の51.5%が「参加したい」と答えている。

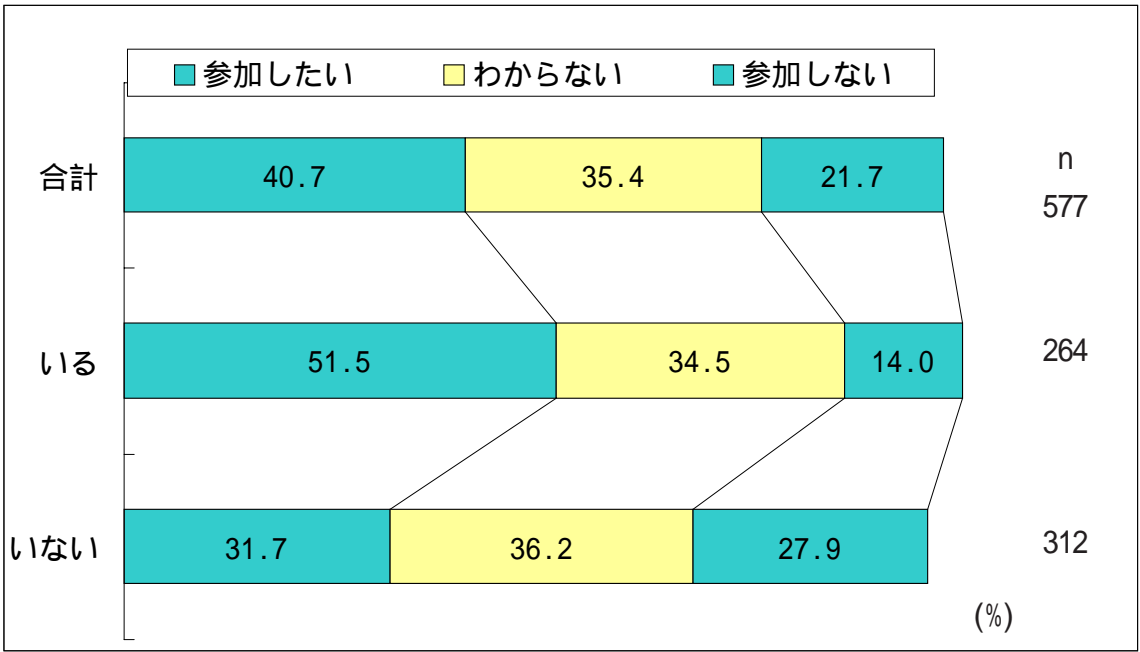
性別



年代別



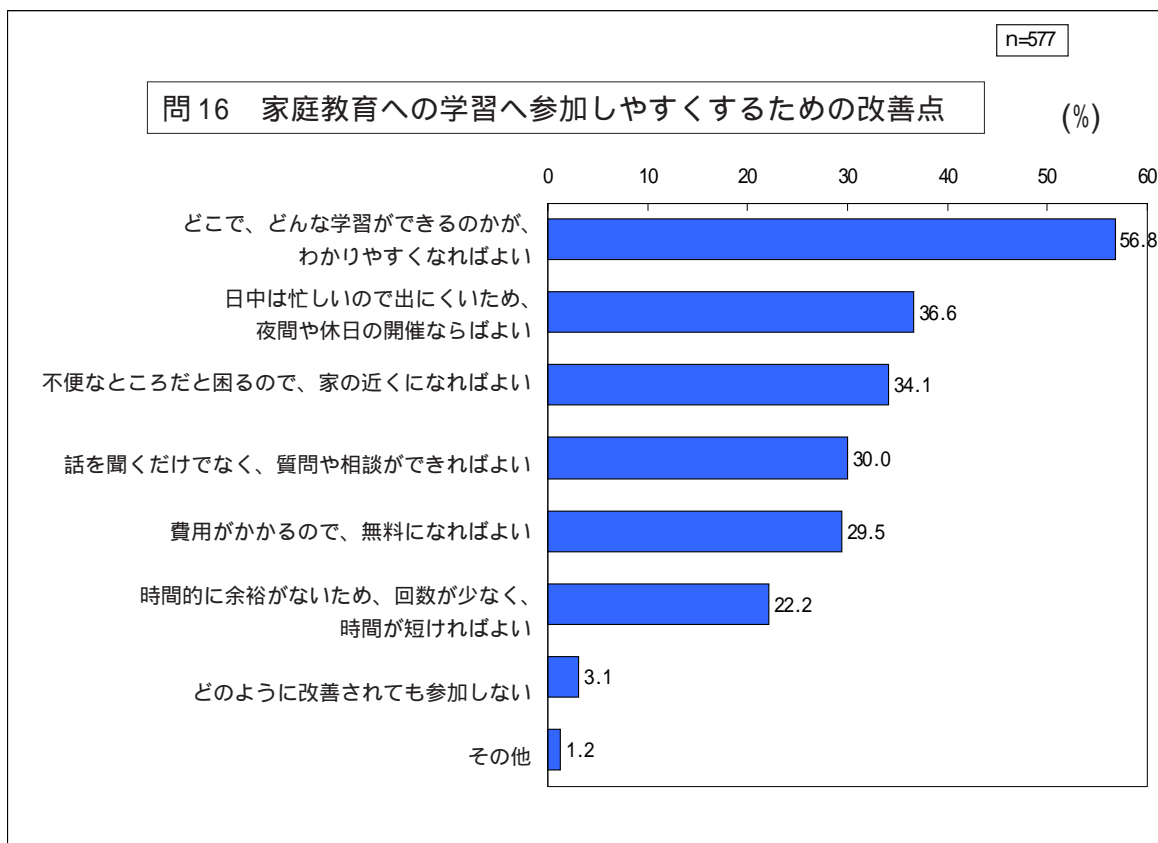
子どもの有無別



問 16 家庭教育の学習へ参加しやすくするための改善点（複数回答）

家庭教育の学習へ参加しやすくするための改善点は、
情報提供、開催時間、開催場所の工夫が必要

全
体



情報提供や開催時間等を工夫することで家庭教育の学習に参加しやすくなる

・家庭教育の学習へ参加しやすくするための改善点の上位3位は、「どこで、どんなことが学習できるかが、わかりやすくなればよい」(詳細な学習情報の提供) 「日中は忙しいので出にくいいため、夜間や休日の開催ならばよい」

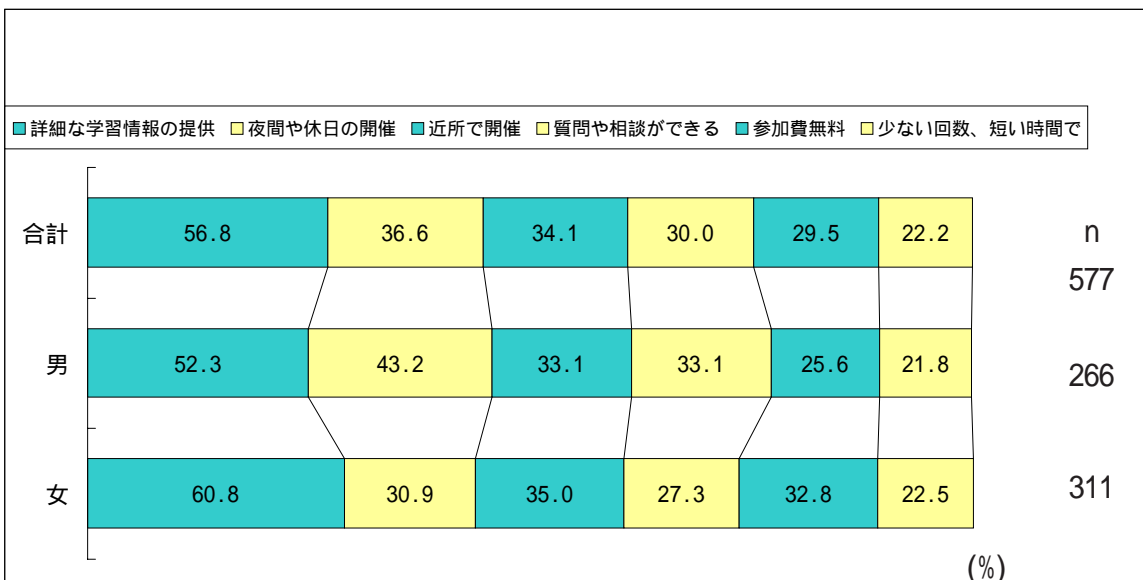
「不便なところだと困るので、家の近くなればよい」となっている。

性別で見ると、「どこで、どんなことが学習できるかが、わかりやすくなればよい」については、女性の方が男性より高い割合を示している。逆に

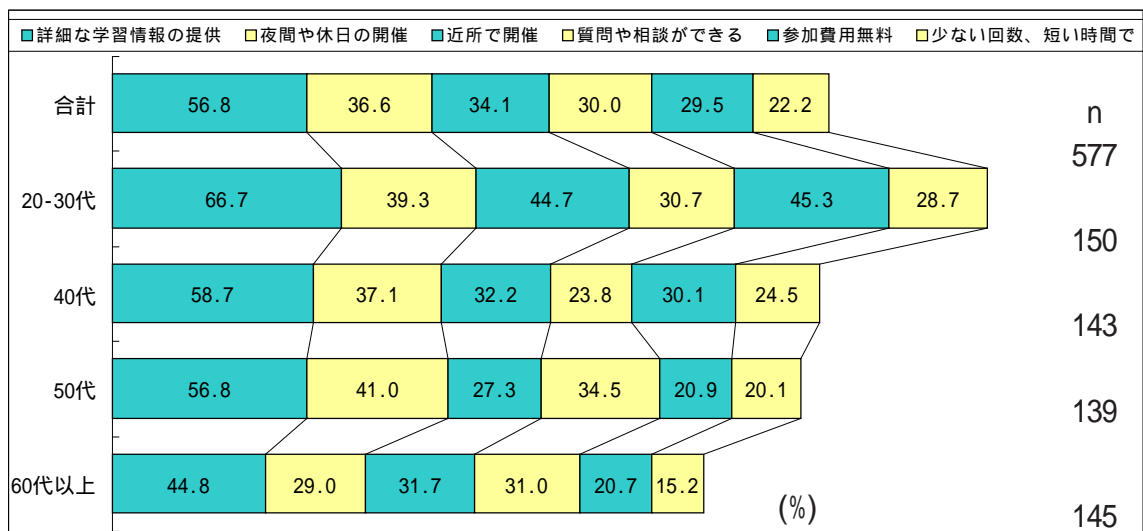
「日中は忙しいので出にくいいため、夜間や休日の開催ならばよい」については、男性の方の割合が多くなっている。

年代別に見てみると、子育て中の若い親の世代である20-30代の回答が、あらゆる項目でも一番高い割合を占めている。このことから、20-30代の人たちは、家庭教育に関する学習に意欲を持っている様子がうかがえる。中でも「どこで、どんなことが学習できるかが、わかりやすくなればよい」と「費用がかかるので、無料になればよい」に対して多くの回答があった。

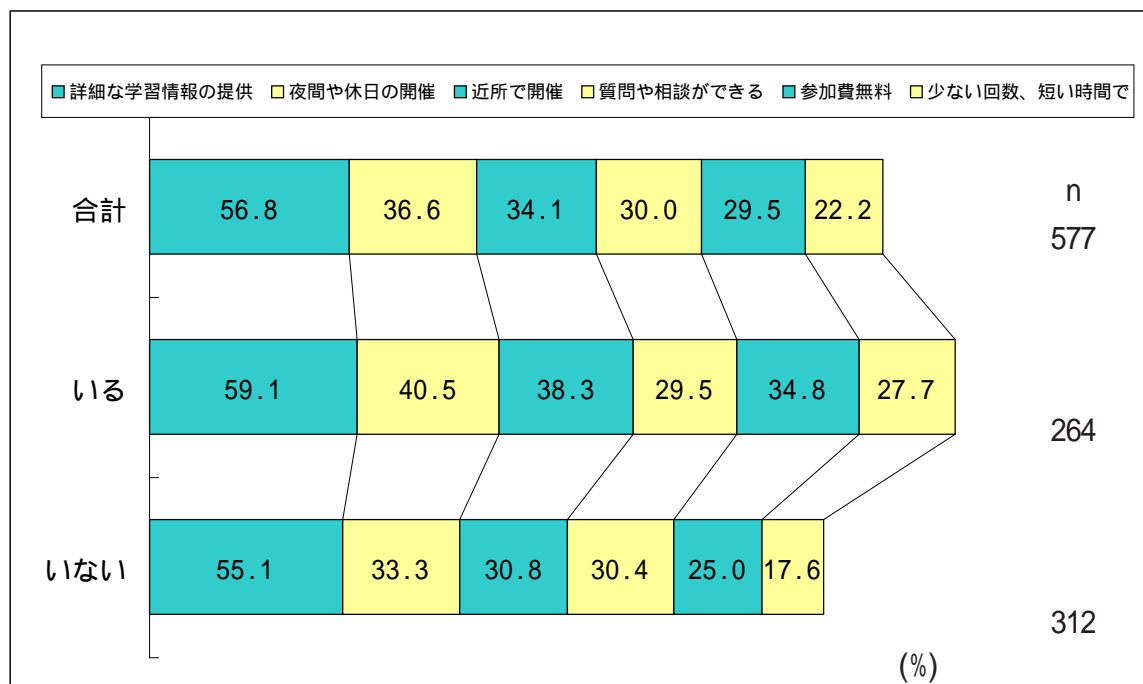
性別



年代別



子どもの有無別



6 自由記述について

問17 親子の関わりを深く感じたとき		(件数)	
自分の親との思い出	185名	きびしくしつけられた	30
		親と一緒に手伝って働いた	23
		旅行・外出・キャンプ	15
		働く姿、後ろ姿	14
		信用してやさしく見守ってくれた	14
		生活苦	13
		厳しい父	13
		仕事・技術を教えてくれた	7
		話を聞いてくれた	6
		無関心、放任	6
		怒られたとき	6
		なにげないひととき	5
		親が忙しくて、寂しかった	5
		夫婦関係(仲良かった)	4
		昔話(読み聞かせ)をしてくれた	4
		プレゼントをもらったとき	3
		ほめられたとき	3
		夫婦関係(喧嘩)	2
		離婚・再婚	2
		かばってくれたとき	2
		兄弟関係	2
		やさしい母	2
	一人の人間として扱ってくれたとき	1	
	親には感謝している	1	
	自由に育った	1	
	おふくろの味	1	
自分の子どもとの思い出	64名	生活習慣をしつけたこと	8
		話を聞いてあげるとき	8
		いじめ問題	7
		趣味を通じて	6
		きつく怒ったとき	5
		病気の時	5
		感謝されたとき	5
		放任した	4
		問題行動、非行など	3
		一緒に遊ぶ	3
		心配してくれたとき	3
		出産時	2
		自然体験	2
		親子喧嘩	1
	単身赴任	1	
	勉強を教える	1	
わ自分に関	32名	学校関係の思い出	14
		受験の思い出	8
		地域の人との思い出	6
		自分を大切にす	1
		反抗期	1
		自立のとき	1
その他	51名	子ども会	1
		忘れた	3
		感じたことはない	4
	その他	44	
合計		332	

問 18 家庭教育について感じていること		(件数)
親は学習する必要あり	親が未熟、学習の必要あり、しっかりしろ	48
	躰を厳しくすべきだ	29
	子どもとのコミュニケーション	15
	子どもへの愛が必要	13
	親は子の手本 親の背中	8
	親子関係を信じてほしい	5
	過保護の親が多い	5
	親が忙しすぎる	5
	親は子育てに責任をもて	5
	相談相手が欲しい	3
	夫婦円満が第一	3
	父親の存在責任	3
	親が神経質になっている	2
	情報過多・マニュアル依存	2
	人の心の痛みのわかる家庭教育	1
	のびのび育てるべきだ	1
	149名 学力偏重、成績主義はだめ	1
家庭教育について	行政へ施設を充実してほしい	20
	家庭教育に関する講座を充実して	12
	地域とのつながりを強めたい	12
	学校教育に期待する	11
	行政に期待する	3
	行政が親を過保護にするな	2
	もっと情報が欲しい	1
	若い世代に期待する	1
	63名 若い世代がわからない	1
現代社会について	家庭教育は大切だ	16
	家庭教育を考えさせられた	9
	昔の家庭教育はよかった	8
	家庭教育がわからない	7
	家庭教育は難しい	5
	家庭教育は個人的なもの	4
	昔は大変だった	3
	振り返れば後悔する家庭教育	3
	家庭教育は難しくない	1
	57名 家庭教育不要・愛があればいい	1
要行政への	日本の現状・将来を憂う	20
	豊かな時代の子育ては難しい	13
	今の子どもは非常識	2
	先祖を敬うことが大切	1
	37名 戦争は体験させたくない	1
合 計		306

問17、18の自由記述については、プライバシーや紙面の関係から、全文を掲載できないので、内容を以上のように分類し、その件数を表示することとした。

第3章 考察



子どもにとってもっとも重要な教育項目

それぞれの発達段階にある子どもにとって、どのような家庭教育項目が必要であるかについて、「基本的生活習慣」が、乳幼児、小学生、中学生、高校生の各時期を累積すると1位となった。とくに乳幼児期においては突出して多く、乳幼児期のもっとも重要な家庭教育の項目であると多くの人を感じており、小学校期でも2位にあげられている(P.12参照)。

この「基本的生活習慣」についてはP.45でわかるとおり、親が学習すべき項目としても2位にあげられている。何ごとにおいても基礎・基本が大切で、すべてがその上に形づくられるものであることは確かであり、その意味から、子どもにとってもっとも重要な教育項目として「基本的生活習慣」が1位にあげられることは理解できる。しかし、「基本的生活習慣」の習得の時期は個人差があり、各家庭でも尺度が違うので、むやみに他と比較はできないものでもある。このことをしっかりとおさえることが大切である。

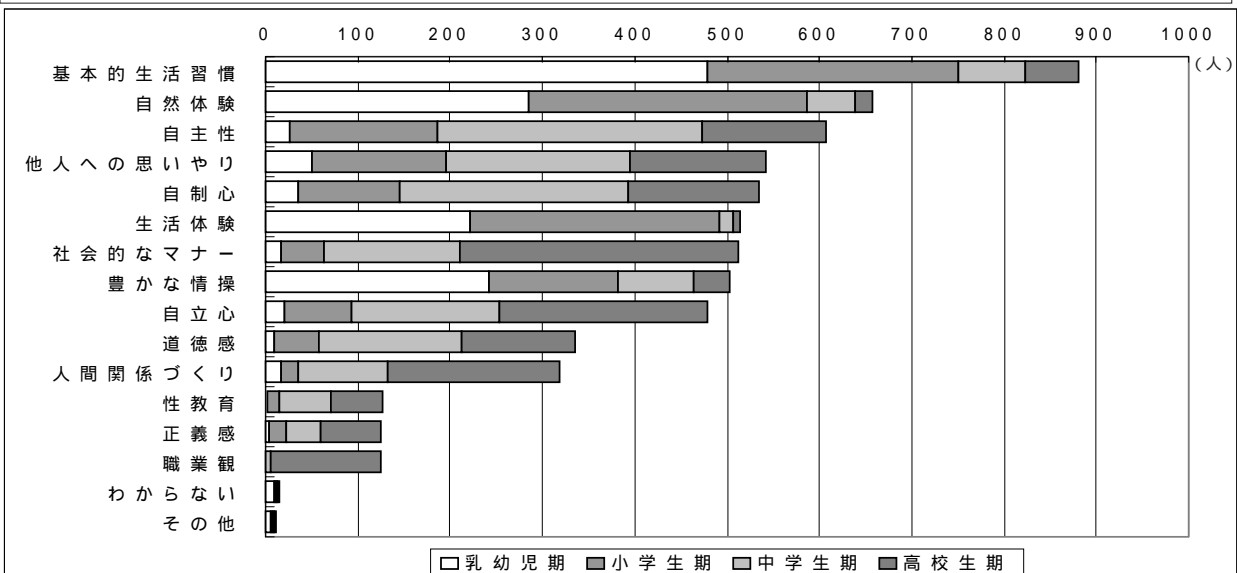
「自然体験」については乳幼児期では2位(P.10参照)、小学生期では1位(P.12参照)にあげられている。中学生期(P.14参照)、高校生期(P.16参照)では大きく減っている。こ

のことは、親と一緒にキャンプやハイキング、トレッキングなどを感じたいと小学生ぐらいまでであり、それ以後は友人との活動の中での自然体験を望むようになることを、実体験として大人が知っていることの表れでもある。家庭教育における「自然体験」は、小学生期までに体験させるべき項目として、とらえるべきであろう。ただし自然体験は山や海に出かけることだけでなく、公園や庭、そしてプランターの中など、ちょっとした身近なところにも存在することを言い添えたい。また、大人が自然に対して畏敬の念と感動を持ち、それを子どもに伝えることも大切であろう。

考察グラフ1で見ると7位となっている「社会的なマナー」は高校生期において1位(P.16参照)である。ちなみに中学生期では6位(P.14参照)であり、乳幼児期(P.10参照)、小学生期(P.12参照)では9位で、高校生期に急に高くなっていることがわかる。

しかし「社会的マナー」についての教育は、高校生の時期だけでは身に付かないことも事実であり、乳幼児期や小・中学生期においても積極的に取り組むべき教育項目であろう。たしかに中・高校生期に目に見えて社会的なマナーの問題が現れてくるが、それは幼少の

考察グラフ1 子どもの各発達時期における重要な教育項目



頃より身につけさせなければならないものではないだろうか。子どもが将来自立して生きていくためには、社会とよりよく結びつくことが大切であり、それはアイデンティティの確立にも大いに関係してくる。

家庭教育は、家庭の中だけで子どもを見るのではなく、社会の中の一員として子どもを見ながら家庭教育を行うことが大切であり、その意味からも親の社会とのよりよい関わり合いが重要である。

子どもの年齢が高くなるにつれて、重要だと考える教育項目が多岐にわたっていく傾向があるが、これはバランスのとれた教育が必要だということの表れととることもできる。そのためにも、支援する多様な人材が求められる。

親にとってもっとも重要な学習項目

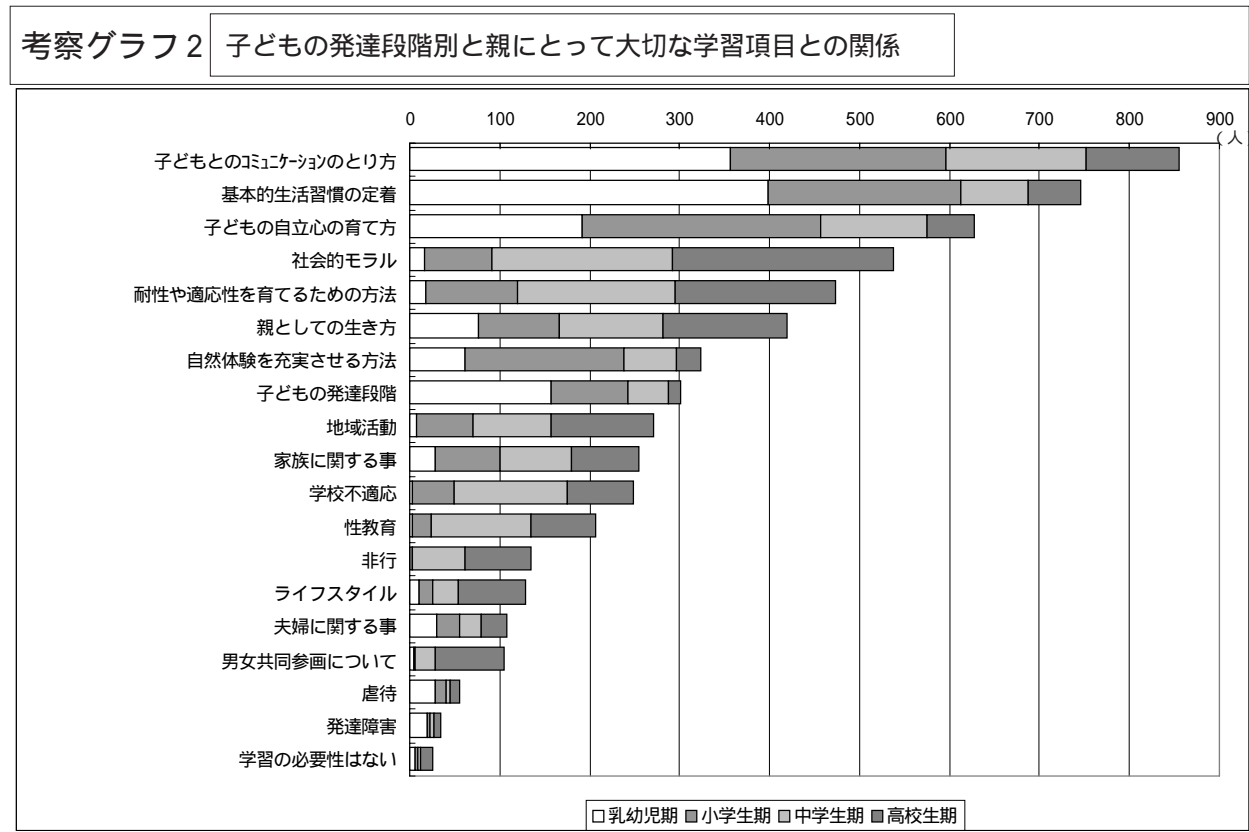
それぞれの発達段階にある子どもを持つ親にとって、どのような学習項目が必要であるかについて、乳幼児、小、中、高校生期を累積すると、考察グラフ2に示すように、1位に

「子どもとのコミュニケーションのとり方」があげられた。

乳幼児期で2位(P.18参照)、小学生期でも2位(P.20参照)、中学生期で3位(P.22参照)、高校生期で5位(P.24参照)でありながらも、全体としてはもっとも多くなった。

この結果だけでは、子どもとのコミュニケーションが困難である状況が浮き彫りになっているのか、よりよいコミュニケーションを目指す親の気持ちの現れなのか判然とはしないが、重要な学習項目としてとらえていることに注目したい。しかし、子どもとのコミュニケーションは、特別な時間を設けて行われるものではなく、日常生活の中によりよいコミュニケーションのヒントがあるはずである。

例えば、ある父親は、子どもとのコミュニケーションが大切だと聞くと、「それでは一日に何分、何回、子どもに触れたらいいのか」と質問したという。元来コミュニケーションとは表面的、マニュアル的なノウハウではなく、もっと根本的な心のふれあいである。心のふ



れあいと言えば抽象的になり過ぎるが、要は子どもとのよりよい関係づくりである。そのためには各年代の心理的身体的な特徴、学校の中での子どもの様子を知ること等に加え、他の人たちの子どもの接し方など、具体的な事例にふれることも必要であろう。

しかし、これらの学習は一般論であり、個々にそのまま対応できるものでもない。そこで必要なのは、家庭教育についての一般的学習をどのように補って、個々の家庭教育につなげていくかという視点である。

そこで考えられるのは、集団学習の終了後に個別に質問が出来るような時間を設定することである。そのためにも、講演会などのような多数を集めての学習形態だけではなく、少人数を対象とした学習会や参加型の学習会が、より多く実施されることが望ましい。また単に行政が企画・実行するだけでなく、地域の人たちの自主的な学習が活発に行われるような方策も必要であろう。

また、親にとって必要な学習項目において、大人として子どもの問題を学習するだけでなく、親としての生き方を学習することも必要であることは、「社会的モラル」親としての生き方」が4位、6位になっていることを見てもわかる。

家庭の教育力を充実させる支援について

全体の約8割が家庭教育への支援は必要であると考えている(P.26参照)。「わからない」と答えた人が11.5%いるが、家庭教育を支援するということの具体的なイメージがつかめないのではないかと考えられる。また8.7%が「必要でない」と考えていることにも留意しなければならない。

年代別に見ると20-30代で「必要がない」は5.4%(P.27参照)で、他の年代に比べて一番少ない。20-30代は子育ての経験が少なく、適切な助言や手助けが必要であることがうかが

える。年代が高くなると「必要ではない」の割合が高くなるが、これは子育て経験を積んだことによって、今の自分が子育てをしたとしたら支援は必要ないという考えが反映されているのかもしれない。また、昔はあえて支援ということを考えなくても、地域社会に家庭教育を支援する機能や教育力があつたので、とりたてて支援の必要性を感じないのかもしれない。しかし、男女別、年代別、子どもの有無別においても大差なく、約8割が必要であると感じていることは事実である。今後とも適切な支援の推進に努めることが大切であることがわかる。

家庭教育への支援の内容としては、「家庭教育では体験できない活動の場をつくる」49.3% 「何でも気軽に相談できる場をつくる」38.9% 「生活の知識を習得できる機会を提供する」34.9%(P.28参照)など、身近な日常生活の中で、気軽に集ったり、相談できるような支援を必要と考えており、専門的なアドバイスや学習以前の支援が望まれていることがわかる。

堅苦しい学習の場ではなく、普段着で集い、会話できるような場(井戸端会議的な場所)づくりは、地域活動の活性化と深いつながりがある。家庭教育の支援は、まさに地域活動の一環であり、地域活動の活性化が家庭教育の支援に果たす役割も大きいのではないかと。

「何でも気軽に相談できる場をつくる」は年代が高くなるにつれてその割合が多くなっている(P.29参照)。これはアンケートに答えた60代以上の方々が、自分の子育ての経験を基に、相談相手になれるという意味の表れと見ることはできないだろうか。子育てを終えた人たちの持っている生きた情報が、これからの家庭教育の支援には欠かせないものである。中高年者も現代の状況を学び、より質の高い支援ができる人材として、生かされることが今後の視点となるであろう。

家庭教育の情報について

家庭教育に関する情報についてたずねた結果、「充分である」は10.4%しかなく、「充分ではない」は57.2%と過半数を占める。特に子育ての終わった60代以上の人の64.1%が家庭教育に関する情報が不十分であると感じている（P.30～31参照）。このことを情報を提供する側として真摯に受け止め、事業の充実を図るとともに、開催情報等の伝達手段・方法に一層工夫する必要があるといえる。

しかし、ここで考慮すべき点は、回答者が情報源をどこを考えているかである。情報の発信を公共の機関やマスコミだけにとらえずに、問13の選択肢（P.32参照）にもあげている「友人、知人」「親族」「夫婦」へも視野を広げて考えるならば、「充分である」のポイントは上がるものと考えられる。家庭教育に関する情報は口コミも、大きなウェイトを占める。

親は、家庭教育に関する情報をどこから得ているかたずねた結果、情報の入手先は、「友人、知人」56.3% 「テレビ、ラジオ」54.9% 「新聞」42.1% 「書籍、雑誌」31.0% 「回覧板、市町村広報誌」22.4%の順であった（P.32参照）。

性別でみると「友人、知人」と答えたのは女性が圧倒的に多く、「テレビ、ラジオ」「新聞」「書籍」などを選んだのは男性が多かった。

年代別でみると、20-30代の情報の入手先が特徴的で「友人、知人」「親族」「夫や妻」など対人的なものが多く、「テレビ、ラジオ」「新聞」「書籍」などが他の年代に比べて少なくなっている。このことから、20-30代の家庭教育への情報を豊かにするために、彼らの身近な人たちや地域をも巻き込んで考えていく必要がある。家庭教育に関する学習は単に親だけを対象とするだけでなく、今後はより多くの人たちに関心をもって学習してもらおうことも、念頭に置かなければならないと思う。

また、年代が高くなるほど、「テレビ、ラジオ」「新聞」などが情報入手先として多くなっている。これは高齢になるほど時間的にも余

裕があり、じっくりと「テレビ、ラジオ」「新聞」等の情報に接しているものと思われる。

子どもの有無別で見ると、子どもがいる人は、いない人より「新聞」「書籍、雑誌」からの情報入手の割合が少ないという結果になった。これは子育て中の人々の47.3%（P.48参照）が給与所得者であり、仕事が多忙であるために時間をかけて読まなければならない「新聞」や「書籍、雑誌」からの情報が少ないものと考えられる。

「テレビ・ラジオ」からの情報の入手は子どもの有無に関係なく56.4%と同じ割合である。しかし、これらは一方的に時間を設定されて送られてくるものであり、その点では柔軟性に欠ける向きもある。

そこで今後、仕事を持つ若い年代にとって、自在に情報ネットワークにアクセスできるIT技術が家庭教育に関する情報を入手する上で役立つものとする。実際、インターネットで情報を入手しているのは20代で5.4%、30代で3.2%（P.64参照）であり、これからもっと増えるものとする。しかし、情報化の進展に伴い「プライバシーの保護」や「正しい報道、情報発信のチェック機能」「信憑性を見分ける能力」などの情報社会の影の部分をしっかり認識した上で、情報化に主体的に対応でき、積極的に情報化社会に参画する態度を養えるような学習も必要であることを書き添えておきたい（「情報活用についての学習に関する調査報告書」平成13年3月 青森県総合社会教育センター発行）。

現代人の多種多様なライフスタイルにあわせて、どこへ行けば、どのような情報にたどり着けるかがわかるように、情報提供する側としても、気軽にそして手軽にアクセスできるインターネットでの検索システムを構築し、広報していく努力もこれからは必要であろう。

家庭教育の情報の内容について

家庭教育に関する情報の内容の上位3位は、「しつけ」49.0% 「子どもとのコミュニケーション」39.7% 「育児」36.4%であった（P.34参照）。

これからみてもわかるように、情報の内容としては一般的な内容が多い。しかし、「いじめ」22.4%や「虐待」11.8%のように深刻で緊急なものもあった。

このように、情報の受け手の要望も多種多様であり、一般的な情報を必要とする人と、特別な問題を抱える人への情報をきっちり分けた、メリハリのある情報の提供が必要であるといえる。

家庭教育に関する相談先

家庭教育に関する相談先で最も多いのは、「知人、友人」である（P.36参照）。これは問13（P.32参照）の情報の入手先と同様の傾向を示し、相談と情報の入手先は深い関係にあることがわかる。次に「家族・親族」が高いパーセントを占めているが、家庭教育の性質上、身近に相談先を求めている様子が見える。

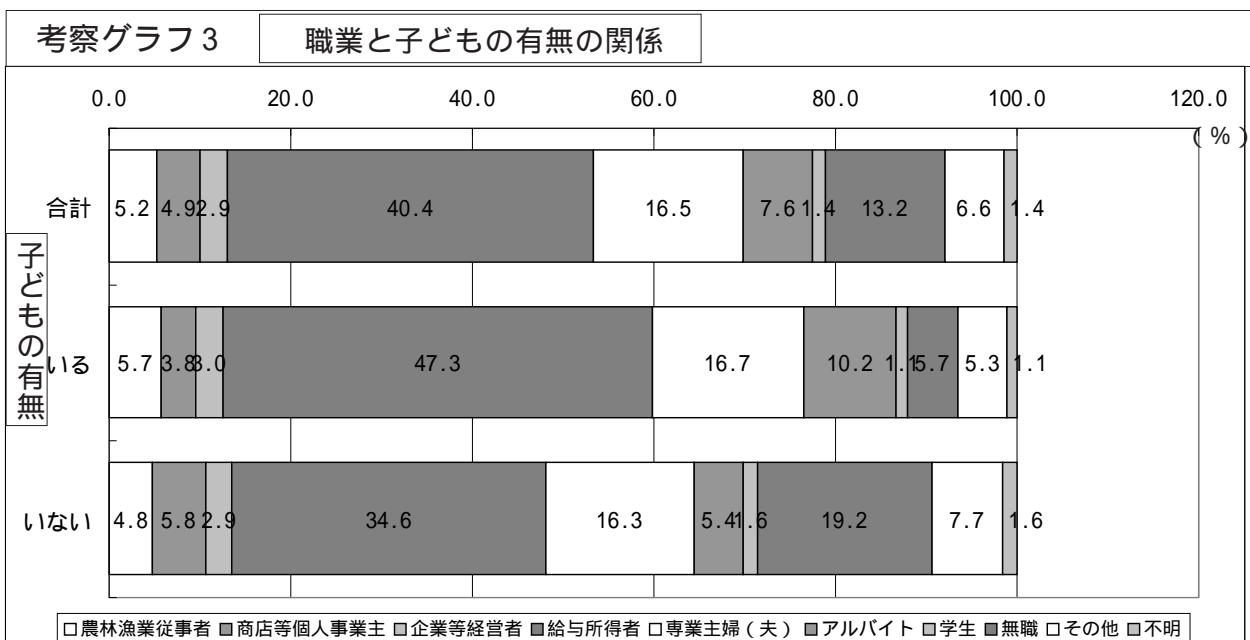
「幼稚園や保育園」を「学校」と別な項目として選択肢にあげたが、親にすれば、学校と同様な施設と受け止められるであろう。そこで両者をあわせた数値を見れば、ほんの少しであるが、2位の「家族、親族」よりも高くなり、相談先としての学校の存在は大きい。

医療機関やその他の相談先の保健所、児童相談所への相談は少ないが、相談内容の深刻さや、緊急性を考えれば、パーセントの高低だけで必要性を議論することはできない。要はこのような相談先を必要としている人たちがいることを、しっかりととらえることである。

行政機関の相談窓口は敷居が高いと感じられているのだとすれば、もっと気軽に相談できるような工夫が必要である。たとえばショッピングセンターに子育て相談の窓口を設置するか、土・日曜日や夜間の利用を可能にするなど、気軽に利用できるような工夫が必要である。

家庭教育の学習機会について

参加希望者が4割にとどまり、参加しないと切り切っている人も2割以上いることは（P.38参照）家庭教育についての学習の必要性を感じていないのか、それとも現在提供されている学習機会が期待するものではないのか



かなど、今後、その理由を明らかにするような調査が必要と思われる。

「参加しない」とする2割の人の存在が気になる。この回答は50代以上の人に多く(P.39参照)実際に子育てに直面している人の回答は少ないと思う。しかし、家庭教育への支援という観点から見れば、年代を問わず家庭教育に関心をよせ学習していくことが望ましく、そのような学習機会の提供について今後考えていく必要がある。

家庭教育の学習へ参加しやすくするための改善点をたずねたところ、「どこでどんなことを学習できるのかがわかりやすくなればよい」と望んでいる人が56.8%あった(P.40参照)。

学習を提供する側はこのことをきちんと受けとめることは勿論である。しかし、情報は偶然に入るものではなく、求め、探すという行為から得られるものであることを、どのように伝えることが出来るか、社会教育における今後の課題となろう。

また、開催時間、開催場所の工夫が必要であるとの回答が多かったが、これは参加する時間も限られ、開催場所への移動時間も惜しいという若い親たちの現状を示しているものと思われる。さらに、子どものいる人の47.3%(考察グラフ3参照)が給与所得者であり、その上、仕事を持つ女性が増えていることを考えれば、家庭教育に関する学習を職場内で行ってもらうこと等、企業と連携した家庭教育に関する学習の推進を図ることも今後必要となるであろう。

また、授業参観よりもっと踏み込んだ形で、父母が、幼稚園や学校などで子どもと一緒に朝から夕方までの一日の生活を体験することも、家庭以外での子どもの一面や生活状況を知ることができ、家庭教育に大いに役立つのではないだろうか。今までとは観点の違った家庭と学校の連携を模索することも必要であろう。



研究委員会を終えて

まもなく啓蟄。春の気配を敏感にとらえて地中の虫が動き始めるという。わが校の前庭をすみかとするリスも、そろそろ姿を見せるだろうかと楽しみに待っている。

「生涯学習・社会教育に関する調査研究委員会」という長い名前の会議が終了した。県内各地区からの6委員が5回とも、無欠席の会議となったのもうれしい。また、毎回宿題を持ち寄ったり、激論をぶついたりしながらも、和やかで楽しい雰囲気がいっつもあったのも魅力であった。きっと今回のテーマが《家庭教育》だったからだろう。

一人の人間が生を受け、時間をかけながら親子の絆を強め、社会人として巣立つまでの拠点としての家庭。いつの時代も、家庭はすべての教育のベースとなってきた。このことを改めて確認することができた委員会であったように思う。県内全域から、貴重なご意見を寄せてくださったたくさんの方々へ感謝するとともに、総合社会教育センター・研究開発課のスタッフの仕事に対しても頭が下がる思いである。

最近、私が気に入っている「いい話」がひとつある。引用の原文は平成13.2.18付けの朝日新聞・《天声人語》であるが、概要は次のようなものであった。

林洋子さんという、宮沢賢治作品を楽器に乗せて語る人がいる。彼女の所に、和歌山県の小学6年生から手紙が届いた。「私たちの卒業記念に公演に来てほしい。でも、小さな学校なので、あまりお金がない。」林さんは「公演料なしでいってあげる。」というのは簡単なことだが、そうしなかった。本当にやりたいことを実現するには、だれだって知恵をしばり、労を惜しまずに行動しなければならないと考えたから。子供たちへの返事はこうだった。「東京からの旅費と公演料などで21万円かかるが、自分たちでチケットを売ってでもやりたいというなら、応援する。」

驚いたのは6年生。けれど、夢の実現のために放課後の活動を開始した。地域の全家庭にお知らせを配り、牛乳パックを持ち寄って紙漉きをし、チケットを一枚ずつ手作りした。80枚のポスターも分担して夜遅くまで書き、へばりそうになってしまった。その頃を見計らったように、各地からカンパが届いたという。(これは林さんからの呼びかけによるもの) チケットも完売して、ようやく、6年生8人が主催する卒業記念公演は2月下旬に実現することとなった。この8人は自分たちの夢を実現させたばかりでなく、様々な苦労を通して社会の仕組みも学んだ。担任は「失敗してもいい」と子供たちを励まし続け、最初は戸惑い気味の親や学校側、地域の人々までも子供たちをしっかりと支え、見守ったという。

「大人もまた、子供の力を信じ、任せる大切さを知った。」と《天声人語》は結んでいたが、心優しく、たくましく育てるためには子供を育てる“大人の覚悟”が必要だということだろう。

次代を担う若者への大人の想いは熱い。だからこそ、子育てについての「学び」が父母のみならず、地域の大人や学校にとっても、魅力ある「学び」であってほしいと願っている。

(2002.3.1)

生涯学習・社会教育に関する調査研究委員会座長

弘前市立船沢中学校

校長 前田みき

資料編

集計データ

調査票

委員名簿、委員会日程

資料編 集計データ

問7 あなたは、家庭教育を重要だと思いますか。(単数回答)

		全体	Q7 家庭教育の重要性					不明
			とても重要だと思 う	重要だと思 う	あまり重 要だと思 わない	まったく 重要だと思 わない	わからな い	
合計		577 100.0	380 66.8	175 30.8	9 1.6	0 0.0	5 0.9	8
Q1 性別	男	266 100.0	168 63.9	89 33.8	5 1.9	0 0.0	1 0.4	3
	女	311 100.0	212 69.3	86 28.1	4 1.3	0 0.0	4 1.3	5

合計		577 100.0	380 66.8	175 30.8	9 1.6	0 0.0	5 0.9	8
Q2 年齢	20代	56 100.0	34 60.7	21 37.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0
	30代	94 100.0	52 55.3	38 40.4	2 2.1	0 0.0	2 2.1	0
	40代	143 100.0	98 70.0	40 28.6	1 0.7	0 0.0	1 0.7	3
	50代	139 100.0	101 73.7	33 24.1	3 2.2	0 0.0	0 0.0	2
	60代	103 100.0	66 64.7	34 33.3	1 1.0	0 0.0	1 1.0	1
	70代以上	42 100.0	29 72.5	9 22.5	1 2.5	0 0.0	1 2.5	2

合計		577 100.0	380 66.8	175 30.8	9 1.6	0 0.0	5 0.9	8
Q3 地域	三市	299 100.0	204 69.4	83 28.2	4 1.4	0 0.0	3 1.0	5
	五市	102 100.0	65 64.4	34 33.7	1 1.0	0 0.0	1 1.0	1
	町村部	175 100.0	111 64.2	57 32.9	4 2.3	0 0.0	1 0.6	2

合計		577 100.0	380 66.8	175 30.8	9 1.6	0 0.0	5 0.9	8
Q4 職業	農林漁業従事者	30 100.0	18 64.3	10 35.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2
	商店等個人事業主	28 100.0	21 75.0	6 21.4	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0
	企業等経営者	17 100.0	12 70.6	4 23.5	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0
	給与所得者	233 100.0	149 64.2	79 34.1	3 1.3	0 0.0	1 0.4	1
	専業主婦(夫)	95 100.0	67 70.5	25 26.3	2 2.1	0 0.0	1 1.1	0
	パートタイマー、アルバイト	44 100.0	28 63.6	16 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	学生	8 100.0	2 25.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	無職	76 100.0	48 65.8	21 28.8	2 2.7	0 0.0	2 2.7	3
	その他	38 100.0	30 81.1	6 16.2	1 2.7	0 0.0	0 0.0	1

合計		577 100.0	380 66.8	175 30.8	9 1.6	0 0.0	5 0.9	8
Q5 子どもの有 無	いる	264 100.0	168 63.9	89 33.8	4 1.5	0 0.0	2 0.8	1
	いない	312 100.0	211 69.2	86 28.2	5 1.6	0 0.0	3 1.0	7

問8 家庭において、乳幼児期の子どもに、もっとも重要だと思う教育項目は何か。(複数回答)

		Q8 乳幼児期に重要な教育項目																
		全体	基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	478	221	284	27	36	21	243	50	10	17	4	16	0	1	4	9
	%	100.0	82.8	38.3	49.2	4.7	6.2	3.6	42.1	8.7	1.7	2.9	0.7	2.8	0.0	0.2	0.7	1.6
Q1 性別	男	266	216	102	132	15	18	8	100	25	9	8	1	2	0	1	1	6
	%	100.0	81.2	38.3	49.6	5.6	6.8	3.0	37.6	9.4	3.4	3.0	0.4	0.8	0.0	0.4	0.4	2.3
性別	女	311	262	119	152	12	18	13	143	25	1	9	3	14	0	0	3	3
	%	100.0	84.2	38.3	48.9	3.9	5.8	4.2	46.0	8.0	0.3	2.9	1.0	4.5	0.0	0.0	1.0	1.0

		Q8 乳幼児期に重要な教育項目																
		全体	基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	478	221	284	27	36	21	243	50	10	17	4	16	0	1	4	9
	%	100.0	82.8	38.3	49.2	4.7	6.2	3.6	42.1	8.7	1.7	2.9	0.7	2.8	0.0	0.2	0.7	1.6
Q2 年齢	20代	56	44	21	29	4	2	1	28	9	0	2	0	3	0	0	1	2
	%	100.0	78.6	37.5	51.8	7.1	3.6	1.8	50.0	16.1	0.0	3.6	0.0	5.4	0.0	0.0	1.8	3.6
	30代	94	78	32	61	7	5	2	51	12	3	2	1	3	0	0	0	1
	%	100.0	83.0	34.0	64.9	7.4	5.3	2.1	54.3	12.8	3.2	2.1	1.1	3.2	0.0	0.0	0.0	1.1
	40代	143	118	55	76	2	9	6	66	10	2	4	2	4	0	0	1	0
	%	100.0	82.5	38.5	53.1	1.4	6.3	4.2	46.2	7.0	1.4	2.8	1.4	2.8	0.0	0.0	0.7	0.0
	50代	139	118	63	64	4	11	7	51	10	2	6	0	3	0	1	2	2
%	100.0	84.9	45.3	46.0	2.9	7.9	5.0	36.7	7.2	1.4	4.3	0.0	2.2	0.0	0.7	1.4	1.4	
60代	103	89	38	40	6	8	3	38	8	1	2	1	3	0	0	0	2	
%	100.0	86.4	36.9	38.8	5.8	7.8	2.9	36.9	7.8	1.0	1.9	1.0	2.9	0.0	0.0	0.0	1.9	
70代以上	42	31	12	14	4	1	2	9	1	2	1	0	0	0	0	0	2	
%	100.0	73.8	28.6	33.3	9.5	2.4	4.8	21.4	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	

		Q8 乳幼児期に重要な教育項目																
		全体	基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	478	221	284	27	36	21	243	50	10	17	4	16	0	1	4	9
	%	100.0	82.8	38.3	49.2	4.7	6.2	3.6	42.1	8.7	1.7	2.9	0.7	2.8	0.0	0.2	0.7	1.6
Q3 地域	三市	299	244	116	141	11	15	8	135	22	3	9	1	10	0	0	1	8
	%	100.0	81.6	38.8	47.2	3.7	5.0	2.7	45.2	7.4	1.0	3.0	0.3	3.3	0.0	0.0	0.3	2.7
	五市	102	86	40	59	5	7	5	42	7	3	1	0	0	0	0	2	1
%	100.0	84.3	39.2	57.8	4.9	6.9	4.9	41.2	6.9	2.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	
町村部	175	147	64	83	11	14	8	66	21	4	7	3	6	0	1	1	0	
%	100.0	84.0	36.6	47.4	6.3	8.0	4.6	37.7	12.0	2.3	4.0	1.7	3.4	0.0	0.6	0.6	0.0	

		Q8 乳幼児期に重要な教育項目																
		全体	基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	478	221	284	27	36	21	243	50	10	17	4	16	0	1	4	9
	%	100.0	82.8	38.3	49.2	4.7	6.2	3.6	42.1	8.7	1.7	2.9	0.7	2.8	0.0	0.2	0.7	1.6
Q4 職業	農林漁業従事者	30	25	14	11	4	3	1	9	3	0	1	0	1	0	0	0	0
	%	100.0	83.3	46.7	36.7	13.3	10.0	3.3	30.0	10.0	0.0	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	商店等個人事業主	28	26	18	18	0	2	1	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	92.9	64.3	64.3	0.0	7.1	3.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	企業等経営者	17	11	7	10	1	1	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	64.7	41.2	58.8	5.9	5.9	0.0	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	給与所得者	233	195	85	123	14	17	8	112	16	6	9	2	6	0	1	1	4
	%	100.0	83.7	36.5	52.8	6.0	7.3	3.4	48.1	6.9	2.6	3.9	0.9	2.6	0.0	0.4	0.4	1.7
	専業主婦(夫)	95	82	40	46	4	2	2	45	8	0	3	1	5	0	0	3	0
	%	100.0	86.3	42.1	48.4	4.2	2.1	2.1	47.4	8.4	0.0	3.2	1.1	5.3	0.0	0.0	3.2	0.0
パートタイマー、アルバイト	44	37	15	28	1	2	3	20	3	0	0	0	3	0	0	0	1	
%	100.0	84.1	34.1	63.6	2.3	4.5	6.8	45.5	6.8	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	2.3	
学生	8	7	3	6	0	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
%	100.0	87.5	37.5	75.0	0.0	12.5	0.0	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職	76	60	24	27	3	3	5	21	4	2	3	0	1	0	0	0	4	
%	100.0	78.9	31.6	35.5	3.9	3.9	6.6	27.6	5.3	2.6	3.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	5.3	
その他	38	29	12	11	0	5	0	18	6	1	1	1	0	0	0	0	0	
%	100.0	76.3	31.6	28.9	0.0	13.2	0.0	47.4	15.8	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

		Q8 乳幼児期に重要な教育項目																
		全体	基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	478	221	284	27	36	21	243	50	10	17	4	16	0	1	4	9
	%	100.0	82.8	38.3	49.2	4.7	6.2	3.6	42.1	8.7	1.7	2.9	0.7	2.8	0.0	0.2	0.7	1.6
Q5 子どもの有無	いる	264	212	89	136	13	20	13	135	23	8	6	3	10	0	0	1	2
	%	100.0	80.3	33.7	51.5	4.9	7.6	4.9	51.1	8.7	3.0	2.3	1.1	3.8	0.0	0.0	0.4	0.8
子ども無	いない	312	265	131	147	14	16	8	108	27	2	11	1	6	0	1	3	7
	%	100.0	84.9	42.0	47.1	4.5	5.1	2.6	34.6	8.7	0.6	3.5	0.3	1.9	0.0	0.3	1.0	2.2

問8 家庭において、小学生期の子どもに、もっとも重要だと思う教育項目は何か。（複数回答）

		全体	Q8 小学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自中心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	271 47.0%	271 47.0%	303 52.5%	159 27.6%	109 18.9%	72 12.5%	139 24.1%	145 25.1%	47 8.1%	47 8.1%	19 3.3%	20 3.5%	0 0.0%	13 2.3%	2 0.3%	2 0.3%
Q1	男	266 100.0%	126 47.4%	121 45.5%	143 53.8%	76 28.6%	50 18.8%	30 11.3%	64 24.1%	63 23.7%	22 8.3%	20 7.5%	5 1.9%	8 3.0%	0 0.0%	5 1.9%	1 0.4%	2 0.8%
	女	311 100.0%	145 46.6%	150 48.2%	160 51.4%	83 26.7%	59 19.0%	42 13.5%	75 24.1%	82 26.4%	25 8.0%	27 8.7%	14 4.5%	12 3.9%	0 0.0%	8 2.6%	1 0.3%	0 0.0%

		全体	Q8 小学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自中心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	271 47.0%	271 47.0%	303 52.5%	159 27.6%	109 18.9%	72 12.5%	139 24.1%	145 25.1%	47 8.1%	47 8.1%	19 3.3%	20 3.5%	0 0.0%	13 2.3%	2 0.3%	2 0.3%
Q2	20代	56 100.0%	35 62.5%	24 42.9%	30 53.6%	15 26.8%	17 30.4%	6 10.7%	13 23.2%	18 32.1%	4 7.1%	5 8.9%	4 7.1%	4 7.1%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	94 100.0%	46 48.9%	53 56.4%	53 56.4%	22 23.4%	13 13.8%	10 10.6%	19 20.2%	31 33.0%	11 11.7%	5 5.3%	1 1.1%	4 4.3%	0 0.0%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	143 100.0%	71 49.7%	73 51.0%	75 52.4%	35 24.5%	25 17.5%	15 10.5%	28 19.6%	35 24.5%	15 10.5%	7 4.9%	4 2.8%	6 4.2%	0 0.0%	4 2.8%	1 0.7%	0 0.0%
	50代	139 100.0%	65 46.8%	61 43.9%	74 53.2%	42 30.2%	25 18.0%	16 11.5%	42 30.2%	36 25.9%	7 5.0%	10 7.2%	4 2.9%	3 2.2%	0 0.0%	3 2.2%	1 0.7%	0 0.0%
	60代	103 100.0%	36 35.0%	46 44.7%	54 52.4%	33 32.0%	19 18.4%	19 18.4%	30 29.1%	18 17.5%	7 6.8%	14 13.6%	4 3.9%	3 2.9%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%
	70代以上	42 100.0%	18 42.9%	14 33.3%	17 40.5%	12 28.6%	10 23.8%	6 14.3%	7 16.7%	7 16.7%	3 7.1%	6 14.3%	2 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.8%

		全体	Q8 小学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自中心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	271 47.0%	271 47.0%	303 52.5%	159 27.6%	109 18.9%	72 12.5%	139 24.1%	145 25.1%	47 8.1%	47 8.1%	19 3.3%	20 3.5%	0 0.0%	13 2.3%	2 0.3%	2 0.3%
Q3	三市	299 100.0%	133 44.5%	145 48.5%	161 53.8%	75 25.1%	60 20.1%	39 13.0%	65 21.7%	78 26.1%	26 8.7%	28 9.4%	12 4.0%	15 5.0%	0 0.0%	8 2.7%	0 0.0%	2 0.7%
	五市	102 100.0%	54 52.9%	53 52.0%	53 52.0%	23 22.5%	16 15.7%	14 13.7%	28 27.5%	30 29.4%	7 6.9%	6 5.9%	2 2.0%	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%
	町村部	175 100.0%	84 48.0%	72 41.1%	89 50.9%	60 34.3%	32 18.3%	19 10.9%	46 26.3%	37 21.1%	14 8.0%	13 7.4%	5 2.9%	3 1.7%	0 0.0%	5 2.9%	1 0.6%	0 0.0%

		全体	Q8 小学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自中心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	271 47.0%	271 47.0%	303 52.5%	159 27.6%	109 18.9%	72 12.5%	139 24.1%	145 25.1%	47 8.1%	47 8.1%	19 3.3%	20 3.5%	0 0.0%	13 2.3%	2 0.3%	2 0.3%
Q4	農林漁業従事者	30 100.0%	15 50.0%	16 53.3%	19 63.3%	11 36.7%	3 10.0%	1 3.3%	3 10.0%	5 16.7%	2 6.7%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%
	商店等個人事業主	28 100.0%	13 46.4%	13 46.4%	9 32.1%	8 28.6%	3 10.7%	7 25.0%	10 35.7%	10 35.7%	1 3.6%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	企業等経営者	17 100.0%	7 41.2%	8 47.1%	12 70.6%	5 29.4%	2 11.8%	0 0.0%	4 23.5%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	給与所得者	233 100.0%	114 48.9%	113 48.5%	119 51.1%	67 28.8%	48 20.6%	28 12.0%	60 25.8%	55 23.6%	23 9.9%	15 6.4%	7 3.0%	6 2.6%	0 0.0%	5 2.1%	1 0.4%	0 0.0%
	専業主婦（夫）	95 100.0%	47 49.5%	43 45.3%	50 52.6%	20 21.1%	21 22.1%	10 10.5%	22 23.2%	29 30.5%	9 9.5%	8 8.4%	5 5.3%	4 4.2%	0 0.0%	4 4.2%	1 1.1%	0 0.0%
	パートタイマー、アルバイト	44 100.0%	15 34.1%	22 50.0%	25 56.8%	9 20.5%	8 18.2%	8 18.2%	11 25.0%	13 29.5%	4 9.1%	3 6.8%	3 6.8%	3 6.8%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
	学生	8 100.0%	7 87.5%	5 62.5%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	76 100.0%	31 40.8%	28 36.8%	39 51.3%	25 32.9%	9 11.8%	12 15.8%	18 23.7%	14 18.4%	6 7.9%	11 14.5%	2 2.6%	2 2.6%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	2 2.6%
	その他	38 100.0%	19 50.0%	21 55.3%	23 60.5%	11 28.9%	9 23.7%	1 2.6%	8 21.1%	10 26.3%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%

		全体	Q8 小学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自中心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	271 47.0%	271 47.0%	303 52.5%	159 27.6%	109 18.9%	72 12.5%	139 24.1%	145 25.1%	47 8.1%	47 8.1%	19 3.3%	20 3.5%	0 0.0%	13 2.3%	2 0.3%	2 0.3%
Q5	もいる	264 100.0%	130 49.2%	126 47.7%	150 56.8%	61 23.1%	44 16.7%	30 11.4%	55 20.8%	79 29.9%	30 11.4%	20 7.6%	8 3.0%	13 4.9%	0 0.0%	5 1.9%	1 0.4%	0 0.0%
	子ども無	312 100.0%	140 44.9%	145 46.5%	152 48.7%	97 31.1%	65 20.8%	42 13.5%	84 26.9%	66 21.2%	17 5.4%	27 8.7%	11 3.5%	7 2.2%	0 0.0%	8 2.6%	1 0.3%	2 0.6%

問8 家庭において、中学生期の子どもに、もっとも重要だと思う教育項目は何か。(複数回答)

		全体	Q8 中学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	74	15	52	287	248	161	81	200	155	146	37	96	6	56	2	2
%		100.0	12.8	2.6	9.0	49.7	43.0	27.9	14.0	34.7	26.9	25.3	6.4	16.6	1.0	9.7	0.3	0.3
Q1 性別	男	266	35	6	29	131	108	81	37	85	75	63	19	41	3	25	1	2
	%	100.0	13.2	2.3	10.9	49.2	40.6	30.5	13.9	32.0	28.2	23.7	7.1	15.4	1.1	9.4	0.4	0.8
性別	女	311	39	9	23	156	140	80	44	115	80	83	18	55	3	31	1	0
	%	100.0	12.5	2.9	7.4	50.2	45.0	25.7	14.1	37.0	25.7	26.7	5.8	17.7	1.0	10.0	0.3	0.0

		全体	Q8 中学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	74	15	52	287	248	161	81	200	155	146	37	96	6	56	2	2
%		100.0	12.8	2.6	9.0	49.7	43.0	27.9	14.0	34.7	26.9	25.3	6.4	16.6	1.0	9.7	0.3	0.3
Q2 年齢	20代	56	10	3	5	26	26	16	1	25	26	16	4	8	1	11	0	0
	%	100.0	17.9	5.4	8.9	46.4	46.4	28.6	1.8	44.6	46.4	28.6	7.1	14.3	1.8	19.6	0.0	0.0
	30代	94	10	1	8	55	42	19	13	33	24	34	3	16	1	11	0	0
	%	100.0	10.6	1.1	8.5	58.5	44.7	20.2	13.8	35.1	25.5	36.2	3.2	17.0	1.1	11.7	0.0	0.0
	40代	143	18	6	8	77	68	38	23	55	33	33	9	19	2	12	1	0
	%	100.0	12.6	4.2	5.6	53.8	47.6	26.6	16.1	38.5	23.1	23.1	6.3	13.3	1.4	8.4	0.7	0.0
	50代	139	20	5	15	61	56	42	15	42	35	36	14	29	2	14	1	0
%	100.0	14.4	3.6	10.8	43.9	40.3	30.2	10.8	30.2	25.2	25.9	10.1	20.9	1.4	10.1	0.7	0.0	
60代	103	13	0	9	50	43	31	20	35	26	21	5	19	0	6	0	0	
%	100.0	12.6	0.0	8.7	48.5	41.7	30.1	19.4	34.0	25.2	20.4	4.9	18.4	0.0	5.8	0.0	0.0	
70代以上	42	3	0	7	18	13	15	9	10	11	6	2	5	0	2	0	2	
%	100.0	7.1	0.0	16.7	42.9	31.0	35.7	21.4	23.8	26.2	14.3	4.8	11.9	0.0	4.8	0.0	4.8	

		全体	Q8 中学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	74	15	52	287	248	161	81	200	155	146	37	96	6	56	2	2
%		100.0	12.8	2.6	9.0	49.7	43.0	27.9	14.0	34.7	26.9	25.3	6.4	16.6	1.0	9.7	0.3	0.3
Q3 地域	三市	299	43	9	30	160	125	80	42	105	79	72	17	53	4	25	0	2
	%	100.0	14.4	3.0	10.0	53.5	41.8	26.8	14.0	35.1	26.4	24.1	5.7	17.7	1.3	8.4	0.0	0.7
	五市	102	13	2	9	52	46	32	18	32	25	23	4	16	1	14	1	0
%	100.0	12.7	2.0	8.8	51.0	45.1	31.4	17.6	31.4	24.5	22.5	3.9	15.7	1.0	13.7	1.0	0.0	
町村部	175	18	4	13	75	77	48	21	63	50	51	16	26	1	17	1	0	
%	100.0	10.3	2.3	7.4	42.9	44.0	27.4	12.0	36.0	28.6	29.1	9.1	14.9	0.6	9.7	0.6	0.0	

		全体	Q8 中学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	74	15	52	287	248	161	81	200	155	146	37	96	6	56	2	2
%		100.0	12.8	2.6	9.0	49.7	43.0	27.9	14.0	34.7	26.9	25.3	6.4	16.6	1.0	9.7	0.3	0.3
Q4 職業	農林漁業従事者	30	6	1	1	14	14	11	3	6	6	6	2	6	0	1	0	0
	%	100.0	20.0	3.3	3.3	46.7	46.7	36.7	10.0	20.0	20.0	20.0	6.7	20.0	0.0	3.3	0.0	0.0
	商店等個人事業主	28	2	0	2	15	18	8	3	7	7	6	1	4	0	2	0	0
	%	100.0	7.1	0.0	7.1	53.6	64.3	28.6	10.7	25.0	25.0	21.4	3.6	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
	企業等経営者	17	2	0	4	10	4	5	3	4	3	3	3	3	1	0	0	0
	%	100.0	11.8	0.0	23.5	58.8	23.5	29.4	17.6	23.5	17.6	17.6	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0
	給与所得者	233	34	6	18	120	94	68	35	90	70	61	11	34	2	29	1	0
	%	100.0	14.6	2.6	7.7	51.5	40.3	29.2	15.0	38.6	30.0	26.2	4.7	14.6	0.9	12.4	0.4	0.0
	専業主婦(夫)	95	12	5	7	49	48	23	8	34	26	25	8	19	2	6	1	0
	%	100.0	12.6	5.3	7.4	51.6	50.5	24.2	8.4	35.8	27.4	26.3	8.4	20.0	2.1	6.3	1.1	0.0
パートタイマー、アルバイト	44	3	0	5	24	22	10	5	18	8	14	3	7	0	6	0	0	
%	100.0	6.8	0.0	11.4	54.5	50.0	22.7	11.4	40.9	18.2	31.8	6.8	15.9	0.0	13.6	0.0	0.0	
学生	8	2	1	3	4	4	1	0	4	2	1	0	1	0	1	0	0	
%	100.0	25.0	12.5	37.5	50.0	50.0	12.5	0.0	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	
無職	76	7	1	6	27	25	24	13	23	19	21	6	12	0	6	0	2	
%	100.0	9.2	1.3	7.9	35.5	32.9	31.6	17.1	30.3	25.0	27.6	7.9	15.8	0.0	7.9	0.0	2.6	
その他	38	5	1	5	20	16	8	9	12	13	6	2	7	1	5	0	0	
%	100.0	13.2	2.6	13.2	52.6	42.1	21.1	23.7	31.6	34.2	15.8	5.3	18.4	2.6	13.2	0.0	0.0	

		全体	Q8 中学生期に重要な教育項目															
			基本的な生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577	74	15	52	287	248	161	81	200	155	146	37	96	6	56	2	2
%		100.0	12.8	2.6	9.0	49.7	43.0	27.9	14.0	34.7	26.9	25.3	6.4	16.6	1.0	9.7	0.3	0.3
Q5 子どもの有無	いる	264	36	8	21	135	115	74	30	93	66	74	16	50	3	23	1	0
	%	100.0	13.6	3.0	8.0	51.1	43.6	28.0	11.4	35.2	25.0	28.0	6.1	18.9	1.1	8.7	0.4	0.0
いない	312	37	7	31	152	132	87	50	107	89	72	21	46	3	33	1	2	
%	100.0	11.9	2.2	9.9	48.7	42.3	27.9	16.0	34.3	28.5	23.1	6.7	14.7	1.0	10.6	0.3	0.6	

問8 家庭において、高校生期の子どもに、もっとも重要だと思う教育項目は何か。（複数回答）

		全体	Q8 高校生期に重要な教育項目															
			基本的生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	57 9.9%	7 1.2%	18 3.1%	134 23.2%	142 24.6%	225 39.0%	40 6.9%	146 25.3%	123 21.3%	302 52.3%	65 11.3%	187 32.4%	118 20.5%	56 9.7%	2 0.3%	2 0.3%
Q1 性別	男	266 100.0%	28 10.5%	4 1.5%	10 3.8%	59 22.2%	62 23.3%	96 36.1%	21 7.9%	66 24.8%	57 21.4%	139 52.3%	35 13.2%	90 33.8%	58 21.8%	21 7.9%	1 0.4%	2 0.8%
	女	311 100.0%	29 9.3%	3 1.0%	8 2.6%	75 24.1%	80 25.7%	129 41.5%	19 6.1%	80 25.7%	66 21.2%	163 52.4%	30 9.6%	97 31.2%	60 19.3%	35 11.3%	1 0.3%	0 0.0%

		全体	Q8 高校生期に重要な教育項目															
			基本的生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	57 9.9%	7 1.2%	18 3.1%	134 23.2%	142 24.6%	225 39.0%	40 6.9%	146 25.3%	123 21.3%	302 52.3%	65 11.3%	187 32.4%	118 20.5%	56 9.7%	2 0.3%	2 0.3%
Q2 年齢	20代	56 100.0%	8 14.3%	2 3.6%	3 5.4%	11 19.6%	14 25.0%	31 55.4%	3 5.4%	10 17.9%	12 21.4%	35 62.5%	6 10.7%	19 33.9%	14 25.0%	10 17.9%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	94 100.0%	9 9.6%	0 0.0%	2 2.1%	28 29.8%	22 23.4%	48 51.1%	2 2.1%	21 22.3%	17 18.1%	50 53.2%	5 5.3%	33 35.1%	23 24.5%	8 8.5%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	143 100.0%	15 10.5%	1 0.7%	1 0.7%	37 25.9%	42 29.4%	58 40.6%	9 6.3%	44 30.8%	32 22.4%	67 46.9%	13 9.1%	47 32.9%	30 21.0%	15 10.5%	1 0.7%	0 0.0%
	50代	139 100.0%	14 10.1%	3 2.2%	6 4.3%	29 20.9%	34 24.5%	49 35.3%	10 7.2%	41 29.5%	37 26.6%	63 45.3%	23 16.5%	46 33.1%	26 18.7%	12 8.6%	1 0.7%	0 0.0%
	60代	103 100.0%	9 8.7%	1 1.0%	4 3.9%	22 21.4%	23 22.3%	30 29.1%	12 11.7%	23 22.3%	16 15.5%	63 61.2%	14 13.6%	31 30.1%	17 16.5%	8 7.8%	0 0.0%	0 0.0%
	70代以上	42 100.0%	2 4.8%	0 0.0%	2 4.8%	7 16.7%	7 16.7%	9 21.4%	4 9.5%	7 16.7%	9 21.4%	24 57.1%	4 9.5%	11 26.2%	8 19.0%	3 7.1%	0 0.0%	2 4.8%

		全体	Q8 高校生期に重要な教育項目															
			基本的生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	57 9.9%	7 1.2%	18 3.1%	134 23.2%	142 24.6%	225 39.0%	40 6.9%	146 25.3%	123 21.3%	302 52.3%	65 11.3%	187 32.4%	118 20.5%	56 9.7%	2 0.3%	2 0.3%
Q3 地域	三市	299 100.0%	32 10.7%	5 1.7%	11 3.7%	72 24.1%	77 25.8%	110 36.8%	26 8.7%	75 25.1%	58 19.4%	155 51.8%	36 12.0%	93 31.1%	67 22.4%	26 8.7%	0 0.0%	2 0.7%
	五市	102 100.0%	11 10.8%	1 1.0%	4 3.9%	23 22.5%	25 24.5%	51 50.0%	3 2.9%	28 27.5%	23 22.5%	50 49.0%	8 7.8%	31 30.4%	19 18.6%	9 8.8%	1 1.0%	0 0.0%
	町村部	175 100.0%	14 8.0%	1 0.6%	3 1.7%	39 22.3%	40 22.9%	64 36.6%	11 6.3%	43 24.6%	42 24.0%	96 54.9%	21 12.0%	63 36.0%	31 17.7%	20 11.4%	1 0.6%	0 0.0%

		全体	Q8 高校生期に重要な教育項目															
			基本的生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	57 9.9%	7 1.2%	18 3.1%	134 23.2%	142 24.6%	225 39.0%	40 6.9%	146 25.3%	123 21.3%	302 52.3%	65 11.3%	187 32.4%	118 20.5%	56 9.7%	2 0.3%	2 0.3%
Q4 職業	農林漁業従事者	30 100.0%	3 10.0%	0 0.0%	2 6.7%	5 16.7%	4 13.3%	11 36.7%	2 6.7%	7 23.3%	6 20.0%	17 56.7%	3 10.0%	13 43.3%	3 10.0%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
	商店等個人事業主	28 100.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	8 28.6%	9 32.1%	6 21.4%	3 10.7%	9 32.1%	4 14.3%	16 57.1%	1 3.6%	10 35.7%	4 14.3%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%
	企業等経営者	17 100.0%	3 17.6%	1 5.9%	3 17.6%	5 29.4%	4 23.5%	6 35.3%	1 5.9%	4 23.5%	5 29.4%	8 47.1%	2 11.8%	0 0.0%	4 23.5%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
	給与所得者	233 100.0%	29 12.4%	2 0.9%	3 1.3%	56 24.0%	60 25.8%	91 39.1%	16 6.9%	62 26.6%	49 21.0%	116 49.8%	34 14.6%	84 36.1%	51 21.9%	23 9.9%	1 0.4%	0 0.0%
	専業主婦（夫）	95 100.0%	8 8.4%	1 1.1%	3 3.2%	27 28.4%	26 27.4%	44 46.3%	6 6.3%	23 24.2%	23 24.2%	56 58.9%	5 5.3%	26 27.4%	15 15.8%	8 8.4%	1 1.1%	0 0.0%
	パートタイマー、アルバイト	44 100.0%	3 6.8%	1 2.3%	0 0.0%	9 20.5%	11 25.0%	21 47.7%	2 4.5%	13 29.5%	6 13.6%	24 54.5%	6 13.6%	13 29.5%	13 29.5%	6 13.6%	0 0.0%	0 0.0%
	学生	8 100.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	5 62.5%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	76 100.0%	4 5.3%	1 1.3%	2 2.6%	12 15.8%	16 21.1%	23 30.3%	8 10.5%	14 18.4%	14 18.4%	39 51.3%	6 7.9%	23 30.3%	15 19.7%	4 5.3%	0 0.0%	2 2.6%
	その他	38 100.0%	3 7.9%	1 2.6%	2 5.3%	8 21.1%	10 26.3%	14 36.8%	1 2.6%	12 31.6%	11 28.9%	17 44.7%	7 18.4%	12 31.6%	12 31.6%	3 7.9%	0 0.0%	0 0.0%

		全体	Q8 高校生期に重要な教育項目															
			基本的生活習慣	生活体験	自然体験	自主性	自制心	自立心	豊かな情操	他人への思いやり	道徳感	社会的なマナー	正義感	人間関係づくり	職業観	性教育	その他	わからない
合計		577 100.0%	57 9.9%	7 1.2%	18 3.1%	134 23.2%	142 24.6%	225 39.0%	40 6.9%	146 25.3%	123 21.3%	302 52.3%	65 11.3%	187 32.4%	118 20.5%	56 9.7%	2 0.3%	2 0.3%
Q5 子どもの有無	いる	264 100.0%	30 11.4%	2 0.8%	4 1.5%	65 24.6%	65 24.6%	116 43.9%	16 6.1%	59 22.3%	48 18.2%	138 52.3%	18 6.8%	84 31.8%	73 27.7%	28 10.6%	1 0.4%	0 0.0%
	いない	312 100.0%	26 8.3%	5 1.6%	14 4.5%	69 22.1%	77 24.7%	108 34.6%	24 7.7%	87 27.9%	75 24.0%	163 52.2%	47 15.1%	103 33.0%	45 14.4%	28 9.0%	1 0.3%	2 0.6%

問9 乳幼児を育てる親にとって、特に大切だと思う学習は何ですか。（複数回答）

	全体	Q9 乳幼児の親にとって必要な学習項目																				
		基本的生活習慣の定着	子どもの自立の育て方	子どものコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる方法	耐性や適性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他	
合計	577	399	191	357	76	30	28	17	157	11	7	62	18	3	5	3	28	0	19	6	2	
	%	100.0	69.2	33.1	61.9	13.2	5.2	4.9	2.9	27.2	1.9	1.2	10.7	3.1	0.5	0.9	0.5	4.9	0.0	3.3	1.0	0.3
Q1 性別	男	266	175	103	168	42	15	10	11	61	6	4	26	8	1	1	1	13	0	7	3	0
	%	100.0	65.8	38.7	63.2	15.8	5.6	3.8	4.1	22.9	2.3	1.5	9.8	3.0	0.4	0.4	0.4	4.9	0.0	2.6	1.1	0.0
性別	女	311	224	88	189	34	15	18	6	96	5	3	36	10	2	4	2	15	0	12	3	2
	%	100.0	72.0	28.3	60.8	10.9	4.8	5.8	1.9	30.9	1.6	1.0	11.6	3.2	0.6	1.3	0.6	4.8	0.0	3.9	1.0	0.6

合計		577	399	191	357	76	30	28	17	157	11	7	62	18	3	5	3	28	0	19	6	2	
		%	100.0	69.2	33.1	61.9	13.2	5.2	4.9	2.9	27.2	1.9	1.2	10.7	3.1	0.5	0.9	0.5	4.9	0.0	3.3	1.0	0.3
Q2 年齢	20代	56	38	14	45	9	2	4	1	13	1	0	8	2	1	2	1	9	0	5	0	1	
	%	100.0	67.9	25.0	80.4	16.1	3.6	7.1	1.8	23.2	1.8	0.0	14.3	3.6	1.8	3.6	1.8	16.1	0.0	8.9	0.0	1.8	
	30代	94	64	26	62	11	9	5	5	31	3	1	18	3	0	0	1	4	0	1	1	0	
	%	100.0	68.1	27.7	66.0	11.7	9.6	5.3	5.3	33.0	3.2	1.1	19.1	3.2	0.0	0.0	1.1	4.3	0.0	1.1	1.1	0.0	
	40代	143	95	34	84	21	9	9	2	40	5	3	16	7	1	2	1	7	0	5	1	0	
	%	100.0	66.4	23.8	58.7	14.7	6.3	6.3	1.4	28.0	3.5	2.1	11.2	4.9	0.7	1.4	0.7	4.9	0.0	3.5	0.7	0.0	
	50代	139	89	57	88	19	8	5	1	41	2	1	8	3	1	1	0	7	0	7	2	1	
%	100.0	64.0	41.0	63.3	13.7	5.8	3.6	0.7	29.5	1.4	0.7	5.8	2.2	0.7	0.7	0.0	5.0	0.0	5.0	1.4	0.7		
60代	103	81	41	61	13	1	4	7	27	0	2	8	3	0	0	0	1	0	1	1	0		
%	100.0	78.6	39.8	59.2	12.6	1.0	3.9	6.8	26.2	0.0	1.9	7.8	2.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0		
70代以上	42	32	19	17	3	1	1	1	5	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
%	100.0	76.2	45.2	40.5	7.1	2.4	2.4	2.4	11.9	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0			

合計		577	399	191	357	76	30	28	17	157	11	7	62	18	3	5	3	28	0	19	6	2	
		%	100.0	69.2	33.1	61.9	13.2	5.2	4.9	2.9	27.2	1.9	1.2	10.7	3.1	0.5	0.9	0.5	4.9	0.0	3.3	1.0	0.3
Q3 地域	三市	299	208	86	181	41	17	18	9	88	4	1	33	10	1	3	1	14	0	9	2	0	
	%	100.0	69.6	28.8	60.5	13.7	5.7	6.0	3.0	29.4	1.3	0.3	11.0	3.3	0.3	1.0	0.3	4.7	0.0	3.0	0.7	0.0	
	五市	102	70	32	67	15	7	4	1	25	3	1	16	4	1	0	1	5	0	4	1	0	
%	100.0	68.6	31.4	65.7	14.7	6.9	3.9	1.0	24.5	2.9	1.0	15.7	3.9	1.0	0.0	1.0	4.9	0.0	3.9	1.0	0.0		
町村部	175	120	73	109	20	6	6	6	44	4	5	12	4	1	2	1	9	0	6	3	2		
%	100.0	68.6	41.7	62.3	11.4	3.4	3.4	3.4	25.1	2.3	2.9	6.9	2.3	0.6	1.1	0.6	5.1	0.0	3.4	1.7	1.1		

合計		577	399	191	357	76	30	28	17	157	11	7	62	18	3	5	3	28	0	19	6	2	
		%	100.0	69.2	33.1	61.9	13.2	5.2	4.9	2.9	27.2	1.9	1.2	10.7	3.1	0.5	0.9	0.5	4.9	0.0	3.3	1.0	0.3
Q4 職業	農林漁業従事者	30	22	12	16	6	2	1	0	5	1	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0		
	%	100.0	73.3	40.0	53.3	20.0	6.7	3.3	0.0	16.7	3.3	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0		
	商店等個人事業主	28	21	12	18	3	2	1	1	7	3	1	5	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
	%	100.0	75.0	42.9	64.3	10.7	7.1	3.6	3.6	25.0	10.7	3.6	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	
	企業等経営者	17	10	5	9	1	1	0	2	3	1	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
	%	100.0	58.8	29.4	52.9	5.9	5.9	0.0	11.8	17.6	5.9	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	
	給与所得者	233	161	81	154	36	13	10	6	59	3	4	26	7	2	2	1	13	0	11	2	0	
	%	100.0	69.1	34.8	66.1	15.5	5.6	4.3	2.6	25.3	1.3	1.7	11.2	3.0	0.9	0.9	0.4	5.6	0.0	4.7	0.9	0.0	
	専業主婦(夫)	95	68	34	62	9	5	6	4	29	2	0	13	3	1	0	0	4	0	2	0	2	
	%	100.0	71.6	35.8	65.3	9.5	5.3	6.3	4.2	30.5	2.1	0.0	13.7	3.2	1.1	0.0	0.0	4.2	0.0	2.1	0.0	2.1	
パートタイマー、アルバイト	44	31	8	29	2	1	2	0	20	1	0	5	1	0	0	1	4	0	3	0	0		
%	100.0	70.5	18.2	65.9	4.5	2.3	4.5	0.0	45.5	2.3	0.0	11.4	2.3	0.0	0.0	2.3	9.1	0.0	6.8	0.0	0.0		
学生	8	6	1	6	1	0	0	0	4	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0		
%	100.0	75.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
無職	76	52	27	41	9	2	4	2	19	0	0	4	2	0	0	0	3	0	2	1	0		
%	100.0	68.4	35.5	53.9	11.8	2.6	5.3	2.6	25.0	0.0	0.0	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	2.6	1.3	0.0		
その他	38	22	9	18	8	4	3	2	10	0	1	2	3	0	1	0	1	0	0	2	0		
%	100.0	57.9	23.7	47.4	21.1	10.5	7.9	5.3	26.3	0.0	2.6	5.3	7.9	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	5.3	0.0		

合計		577	399	191	357	76	30	28	17	157	11	7	62	18	3	5	3	28	0	19	6	2	
		%	100.0	69.2	33.1	61.9	13.2	5.2	4.9	2.9	27.2	1.9	1.2	10.7	3.1	0.5	0.9	0.5	4.9	0.0	3.3	1.0	0.3
Q5 子どもの有無	いる	264	174	78	160	41	12	15	5	82	8	3	41	10	2	3	14	0	8	2	1		
	%	100.0	65.9	29.5	60.6	15.5	4.5	5.7	1.9	31.1	3.0	1.1	15.5	3.8	0.0	0.8	1.1	5.3	0.0	3.0	0.8	0.4	
いない	312	224	112	196	35	18	13	12	75	3	4	21	8	3	3	0	14	0	11	4	1		
%	100.0	71.8	35.9	62.8	11.2	5.8	4.2	3.8	24.0	1.0	1.3	6.7	2.6	1.0	1.0	0.0	4.5	0.0	3.5	1.3	0.3		

問9 小学生を育てる親にとって、特に大切だと思う学習は何ですか。(複数回答)

		Q9 小学生の親にとって必要な学習項目																				
		全体	基本的生活習慣の定着	子どもの自立心の育て方	子どものコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験をさせる方法	耐性や適応性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要はない	その他
合計		577	214	266	239	90	25	72	75	85	14	64	176	102	21	1	46	13	3	3	3	1
		%	100.0	37.1	46.1	41.4	15.6	12.5	13.0	14.7	2.4	11.1	30.5	17.7	3.6	0.2	8.0	2.3	0.5	0.5	0.5	0.2
Q1	男	266	110	120	106	43	9	34	37	42	8	24	83	47	5	0	21	5	2	1	2	0
		%	100.0	41.4	45.1	39.8	16.2	3.4	12.8	13.9	15.8	3.0	9.0	31.2	17.7	1.9	0.0	7.9	1.9	0.8	0.4	0.8
性別	女	311	104	146	133	47	16	38	38	43	6	40	93	55	16	1	25	8	1	2	1	1
		%	100.0	33.4	46.9	42.8	15.1	5.1	12.2	13.8	1.9	12.9	29.9	17.7	5.1	0.3	8.0	2.6	0.3	0.6	0.3	0.3

		Q9 小学生の親にとって必要な学習項目																					
		全体	基本的生活習慣の定着	子どもの自立心の育て方	子どものコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験をさせる方法	耐性や適応性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要はない	その他	
合計		577	214	266	239	90	25	72	75	85	14	64	176	102	21	1	46	13	3	3	3	1	
		%	100.0	37.1	46.1	41.4	15.6	12.5	13.0	14.7	2.4	11.1	30.5	17.7	3.6	0.2	8.0	2.3	0.5	0.5	0.5	0.2	
Q2	20代	56	19	25	29	4	4	8	5	9	6	6	19	14	2	0	7	2	0	1	0	0	
		%	100.0	33.9	44.6	51.8	7.1	7.1	14.3	8.9	16.1	10.7	10.7	33.9	25.0	3.6	0.0	12.5	3.6	0.0	1.8	0.0	0.0
	30代	94	36	46	36	11	1	4	11	13	2	8	35	22	9	0	11	1	0	1	1	0	
		%	100.0	38.3	48.9	38.3	11.7	1.1	4.3	11.7	13.8	2.1	8.5	37.2	23.4	9.6	0.0	11.7	1.1	0.0	1.1	1.1	0.0
	40代	143	58	65	51	19	7	19	22	15	2	26	41	26	4	1	7	3	0	0	0	1	0
		%	100.0	40.6	45.5	35.7	13.3	4.9	13.3	15.4	10.5	1.4	18.2	28.7	18.2	2.8	0.7	4.9	2.1	0.0	0.0	0.7	0.0
	50代	139	43	62	61	25	8	21	16	24	2	13	38	24	4	0	16	3	2	1	1	1	
	%	100.0	30.9	44.6	43.9	18.0	5.8	15.1	11.5	17.3	1.4	9.4	27.3	17.3	2.9	0.0	11.5	2.2	1.4	0.7	0.7	0.7	
60代	103	38	43	49	21	2	14	18	22	1	8	31	14	2	0	3	4	0	0	0	0		
	%	100.0	36.9	41.7	47.6	20.4	1.9	13.6	17.5	21.4	1.0	7.8	30.1	13.6	1.9	0.0	2.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
70代以上	42	20	25	13	10	3	6	3	2	1	3	12	2	0	0	2	0	1	0	0	0		
	%	100.0	47.6	59.5	31.0	23.8	7.1	14.3	7.1	4.8	2.4	7.1	28.6	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	

		Q9 小学生の親にとって必要な学習項目																					
		全体	基本的生活習慣の定着	子どもの自立心の育て方	子どものコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験をさせる方法	耐性や適応性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要はない	その他	
合計		577	214	266	239	90	25	72	75	85	14	64	176	102	21	1	46	13	3	3	3	1	
		%	100.0	37.1	46.1	41.4	15.6	12.5	13.0	14.7	2.4	11.1	30.5	17.7	3.6	0.2	8.0	2.3	0.5	0.5	0.5	0.2	
Q3	三市	299	114	129	125	46	15	40	44	39	8	30	94	62	13	1	18	7	1	2	1	0	
		%	100.0	38.1	43.1	41.8	15.4	5.0	13.4	14.7	13.0	2.7	10.0	31.4	20.7	4.3	0.3	6.0	2.3	0.3	0.7	0.3	0.0
	五市	102	49	56	43	17	2	10	7	17	0	12	33	12	2	0	10	3	1	1	1	0	
	%	100.0	48.0	54.9	42.2	16.7	2.0	9.8	6.9	16.7	0.0	11.8	32.4	11.8	2.0	0.0	9.8	2.9	1.0	1.0	1.0	0.0	
町村部	175	51	80	71	27	8	22	24	28	6	21	49	28	6	0	18	3	1	0	1	1		
	%	100.0	29.1	45.7	40.6	15.4	4.6	12.6	13.7	16.0	3.4	12.0	28.0	16.0	3.4	0.0	10.3	1.7	0.6	0.0	0.6	0.6	

		Q9 小学生の親にとって必要な学習項目																					
		全体	基本的生活習慣の定着	子どもの自立心の育て方	子どものコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験をさせる方法	耐性や適応性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要はない	その他	
合計		577	214	266	239	90	25	72	75	85	14	64	176	102	21	1	46	13	3	3	3	1	
		%	100.0	37.1	46.1	41.4	15.6	12.5	13.0	14.7	2.4	11.1	30.5	17.7	3.6	0.2	8.0	2.3	0.5	0.5	0.5	0.2	
Q4	農林漁業従事者	30	6	12	14	6	2	5	5	4	1	4	9	2	1	0	2	0	0	0	0	0	
		%	100.0	20.0	40.0	46.7	20.0	6.7	16.7	16.7	13.3	3.3	13.3	30.0	6.7	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商店等個人事業	28	8	9	14	5	1	4	4	3	1	2	7	4	2	0	2	4	0	0	0	0	
		%	100.0	28.6	32.1	50.0	17.9	3.6	14.3	13.0	3.6	7.1	25.0	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	企業等経営者	17	8	9	6	1	0	2	2	3	0	2	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
		%	100.0	47.1	52.9	35.3	5.9	0.0	11.8	11.8	17.6	0.0	11.8	29.4	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	給与所得者	233	92	108	96	32	9	29	26	38	5	28	76	48	8	1	19	5	1	2	2	0	
		%	100.0	39.5	46.4	41.2	13.7	3.9	12.4	11.2	16.3	2.1	12.0	32.6	20.6	3.4	0.4	8.2	2.1	0.4	0.9	0.9	0.0
	専業主婦(夫)	95	36	45	46	14	5	10	9	12	3	8	28	21	6	0	9	1	0	1	0	1	
	%	100.0	37.9	47.4	48.4	14.7	5.3	10.5	12.6	3.2	8.4	29.5	22.1	6.3	0.0	9.5	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1		
パートタイム、アルバイト	44	11	25	16	5	2	4	8	5	1	8	19	4	3	0	5	0	0	0	0	0		
	%	100.0	25.0	56.8	36.4	11.4	4.5	9.1	18.2	11.4	2.3	18.2	43.2	9.1	6.8	0.0	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0		
学生	8	5	2	5	1	1	2	1	0	2	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0		
	%	100.0	62.5	25.0	62.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
無職	76	33	39	29	19	2	9	12	11	1	4	15	8	0	0	5	1	2	0	0	0		
	%	100.0	43.4	51.3	38.2	25.0	2.6	11.8	15.8	14.5	1.3	5.3	19.7	10.5	0.0	0.0	6.6	1.3	2.6	0.0	0.0		
その他	38	13	14	9	6	3	6	6	6	0	5	14	7	1	0	3	2	0	0	1	0		
	%	100.0	34.2	36.8	23.7	15.8	7.9	15.8	15.8	0.0	13.2	36.8	18.4	2.6	0.0	7.9	5.3	0.0	0.0	2.6	0.0		

		Q9 小学生の親にとって必要な学習項目																				
		全体	基本的生活習慣の定着	子どもの自立心の育て方	子どものコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験をさせる方法	耐性や適応性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要はない	その他
合計		577	214	266	239	90	25	72	75	85	14	64	176	102	21	1	46	13	3	3	3	1
		%	100.0	37.1	46.1	41.4	15.6	12.5	13.0	14.7	2.4	11.1	30.5	17.7	3.6	0.2	8.0	2.3	0.5	0.5	0.5	0.2
Q5	もいる	264	93	119	104	34	11	34	27	39	5	40	90	51	13	0	22	5	0	1	2	0
		%	100.0	35.2	45.1	39.4	12.9	4.2	12.9	10.2	14.8	1.9	15.2	34.1	19.3	4.9	0.0	8.3	1.9	0.0	0.4	0.8
子	312	121	147	134	56	14	37	47	46	9	24	86	51	8	1	24	8	3	2	1	1	
いない	%	100.0	38.8	47.1	42.9	17.9	4.5	11.9	15.1	14.7	2.9	7.7	27.6	16.3	2.6	0.3	7.7	2.6	1.0	0.6	0.3	0.3
子ども無																						

問9 中学生を育てる親にとって、特に大切だと思う学習は何ですか。(複数回答)

	全体	Q9 中学生の親にとって必要な学習項目																				
		基本的生活習慣の定着	子どもの自心の育て方	子どもとのコミュニケーションのとり方	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる方法	耐性や適性を育てるための方法	性教育	男女共同参画について	学校不適応	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他	
合計	577	74	118	156	116	25	80	200	46	29	86	58	175	111	22	126	4	58	5	3	0	
	%	100.0	12.8	20.5	27.0	20.1	4.3	13.9	34.7	8.0	5.0	14.9	10.1	30.3	19.2	3.8	21.8	0.7	10.1	0.9	0.5	0.0
性別	男	266	41	49	60	50	8	40	96	26	19	45	35	84	43	7	56	1	21	5	2	0
	%	100.0	15.4	18.4	22.6	18.8	3.0	15.0	36.1	9.8	7.1	16.9	13.2	31.6	16.2	2.6	21.1	0.4	7.9	1.9	0.8	0.0
	女	311	33	69	96	66	17	40	104	20	10	41	23	91	68	15	70	3	37	0	1	0
	%	100.0	10.6	22.2	30.9	21.2	5.5	12.9	33.4	6.4	3.2	13.2	7.4	29.3	21.9	4.8	22.5	1.0	11.9	0.0	0.3	0.0

合計	577	74	118	156	116	25	80	200	46	29	86	58	175	111	22	126	4	58	5	3	0	
	%	100.0	12.8	20.5	27.0	20.1	4.3	13.9	34.7	8.0	5.0	14.9	10.1	30.3	19.2	3.8	21.8	0.7	10.1	0.9	0.5	0.0
年齢	20代	56	11	13	20	7	3	9	21	5	2	4	3	15	15	2	15	0	15	0	0	0
	%	100.0	19.6	23.2	35.7	12.5	5.4	16.1	37.5	8.9	3.6	7.1	5.4	26.8	26.8	3.6	26.8	0.0	26.8	0.0	0.0	0.0
	30代	94	7	20	35	14	2	9	30	6	5	6	11	27	21	4	29	0	16	1	1	0
	%	100.0	7.4	21.3	37.2	14.9	2.1	9.6	31.9	6.4	5.3	6.4	11.7	28.7	22.3	4.3	30.9	0.0	17.0	1.1	1.1	0.0
	40代	143	17	34	34	29	11	22	47	15	13	26	6	51	22	5	26	0	10	1	1	0
	%	100.0	11.9	23.8	23.8	20.3	7.7	15.4	32.9	10.5	9.1	18.2	4.2	35.7	15.4	3.5	18.2	0.0	7.0	0.7	0.7	0.0
	50代	139	17	18	36	35	5	17	47	8	2	31	22	40	21	5	35	3	10	2	1	0
%	100.0	12.2	12.9	25.9	25.2	3.6	12.2	33.8	5.8	1.4	22.3	15.8	28.8	15.1	3.6	25.2	2.2	7.2	1.4	0.7	0.0	
60代	103	14	23	23	21	2	17	45	6	5	15	12	30	22	5	19	0	6	1	0	0	
%	100.0	13.6	22.3	22.3	20.4	1.9	16.5	43.7	5.8	4.9	14.6	11.7	29.1	21.4	4.9	18.4	0.0	5.8	1.0	0.0	0.0	
70代以上	42	8	10	8	10	2	6	10	6	2	4	4	12	10	1	2	1	1	0	0	0	
%	100.0	19.0	23.8	19.0	23.8	4.8	14.3	23.8	14.3	4.8	9.5	9.5	28.6	23.8	2.4	4.8	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	

合計	577	74	118	156	116	25	80	200	46	29	86	58	175	111	22	126	4	58	5	3	0	
	%	100.0	12.8	20.5	27.0	20.1	4.3	13.9	34.7	8.0	5.0	14.9	10.1	30.3	19.2	3.8	21.8	0.7	10.1	0.9	0.5	0.0
地域	三市	299	41	71	84	63	17	42	110	28	17	40	30	93	39	11	57	1	31	2	1	0
	%	100.0	13.7	23.7	28.1	21.1	5.7	14.0	36.8	9.4	5.7	13.4	10.0	31.1	13.0	3.7	19.1	0.3	10.4	0.7	0.3	0.0
	五市	102	16	19	32	18	5	13	35	8	4	11	5	32	26	4	21	1	10	2	1	0
%	100.0	15.7	18.6	31.4	17.6	4.9	12.7	34.3	7.8	3.9	10.8	4.9	31.4	25.5	3.9	20.6	1.0	9.8	2.0	1.0	0.0	
町村部	175	17	28	40	35	3	25	55	10	8	35	23	49	45	7	47	2	17	1	1	0	
%	100.0	9.7	16.0	22.9	20.0	1.7	14.3	31.4	5.7	4.6	20.0	13.1	28.0	25.7	4.0	26.9	1.1	9.7	0.6	0.6	0.0	

合計	577	74	118	156	116	25	80	200	46	29	86	58	175	111	22	126	4	58	5	3	0	
	%	100.0	12.8	20.5	27.0	20.1	4.3	13.9	34.7	8.0	5.0	14.9	10.1	30.3	19.2	3.8	21.8	0.7	10.1	0.9	0.5	0.0
職業	農林漁業従事者	30	4	5	4	6	1	3	9	5	3	9	2	9	6	3	5	0	0	1	0	0
	%	100.0	13.3	16.7	13.3	20.0	3.3	10.0	30.0	16.7	10.0	30.0	6.7	30.0	20.0	10.0	16.7	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0
	商店等個人事業主	28	3	4	5	7	1	0	11	1	3	3	2	12	6	1	6	0	5	2	0	0
	%	100.0	10.7	14.3	17.9	25.0	3.6	0.0	39.3	3.6	10.7	10.7	7.1	42.9	21.4	3.6	21.4	0.0	17.9	7.1	0.0	0.0
	企業等経営者	17	3	6	4	2	0	1	6	1	0	2	4	5	1	0	6	0	0	0	0	0
	%	100.0	17.6	35.3	23.5	11.8	0.0	5.9	35.3	5.9	0.0	11.8	23.5	29.4	5.9	0.0	35.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	給与所得者	233	30	46	62	48	11	40	81	18	12	33	21	73	44	9	56	3	25	1	2	0
	%	100.0	12.9	19.7	26.6	20.6	4.7	17.2	34.8	7.7	5.2	14.2	9.0	31.3	18.9	3.9	24.0	1.3	10.7	0.4	0.9	0.0
	専業主婦(夫)	95	9	21	35	21	4	17	39	9	4	12	9	26	17	6	17	0	6	0	0	0
	%	100.0	9.5	22.1	36.8	22.1	4.2	17.9	41.1	9.5	4.2	12.6	9.5	27.4	17.9	6.3	17.9	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
パートタイマー、アルバイト	44	5	12	15	7	2	1	11	4	0	8	4	13	7	0	13	0	8	0	0	0	
%	100.0	11.4	27.3	34.1	15.9	4.5	2.3	25.0	9.1	0.0	18.2	9.1	29.5	15.9	0.0	29.5	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	
学生	8	2	3	4	2	0	1	3	0	1	0	0	3	2	0	1	0	2	0	0	0	
%	100.0	25.0	37.5	50.0	25.0	0.0	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
無職	76	12	15	20	15	3	10	25	3	3	10	10	19	16	1	14	1	5	1	0	0	
%	100.0	15.8	19.7	26.3	19.7	3.9	13.2	32.9	3.9	3.9	13.2	13.2	25.0	21.1	1.3	18.4	1.3	6.6	1.3	0.0	0.0	
その他	38	4	5	6	7	2	4	12	4	3	8	3	13	10	1	8	0	7	0	1	0	
%	100.0	10.5	13.2	15.8	18.4	5.3	10.5	31.6	10.5	7.9	21.1	7.9	34.2	26.3	2.6	21.1	0.0	18.4	0.0	2.6	0.0	

合計	577	74	118	156	116	25	80	200	46	29	86	58	175	111	22	126	4	58	5	3	0	
%	100.0	12.8	20.5	27.0	20.1	4.3	13.9	34.7	8.0	5.0	14.9	10.1	30.3	19.2	3.8	21.8	0.7	10.1	0.9	0.5	0.0	
子どもの有無	いる	264	26	58	73	47	12	37	79	23	19	38	22	76	51	8	65	0	37	1	2	0
	%	100.0	9.8	22.0	27.7	17.8	4.5	14.0	29.9	8.7	7.2	14.4	8.3	28.8	19.3	3.0	24.6	0.0	14.0	0.4	0.8	0.0
	いない	312	48	60	83	68	13	43	121	23	10	47	36	99	59	14	61	4	21	4	1	0
%	100.0	15.4	19.2	26.6	21.8	4.2	13.8	38.8	7.4	3.2	15.1	11.5	31.7	18.9	4.5	19.6	1.3	6.7	1.3	0.3	0.0	

問9 高校生を育てる親にとって、特に大切だと思う学習は何ですか。（複数回答）

		全体	09 高校生の親にとって必要な学習項目																			
			基本的な生活習慣の定着	子どもの自立心の育て	子どものコミュニケーションの	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる	耐性や適応性を育てる	性教育	男女共同参画について	学校不登校	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他
合計		577	59	52	103	137	28	75	246	13	75	114	27	178	72	77	74	10	74	8	13	1
%		100.0	10.2	9.0	17.9	23.7	4.9	13.0	42.6	2.3	13.0	19.8	4.7	30.8	12.5	13.3	12.8	1.7	12.8	1.4	2.3	0.2
性別	男	266	30	28	43	57	13	32	114	8	36	54	16	88	28	47	34	5	30	5	5	0
	%	100.0	11.3	10.5	16.2	21.4	4.9	12.0	42.9	3.0	13.5	20.3	6.0	33.1	10.5	17.7	12.8	1.9	11.3	1.9	1.9	0.0
性別	女	311	29	24	60	80	15	43	132	5	39	60	11	90	44	30	40	5	44	3	8	1
	%	100.0	9.3	7.7	19.3	25.7	4.8	13.8	42.4	1.6	12.5	19.3	3.5	28.9	14.1	9.6	12.9	1.6	14.1	1.0	2.6	0.3

		全体	09 高校生の親にとって必要な学習項目																			
			基本的な生活習慣の定着	子どもの自立心の育て	子どものコミュニケーションの	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる	耐性や適応性を育てる	性教育	男女共同参画について	学校不登校	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他
合計		577	59	52	103	137	28	75	246	13	75	114	27	178	72	77	74	10	74	8	13	1
%		100.0	10.2	9.0	17.9	23.7	4.9	13.0	42.6	2.3	13.0	19.8	4.7	30.8	12.5	13.3	12.8	1.7	12.8	1.4	2.3	0.2
年齢	20代	56	9	7	19	12	5	10	19	2	12	6	1	15	6	5	11	1	11	0	2	0
	%	100.0	16.1	12.5	33.9	21.4	8.9	17.9	33.9	3.6	21.4	10.7	1.8	26.8	10.7	8.9	19.6	1.8	19.6	0.0	3.6	0.0
	30代	94	8	10	28	21	3	7	43	1	10	13	4	26	11	4	19	2	14	0	3	0
	%	100.0	8.5	10.6	29.8	22.3	3.2	7.4	45.7	1.1	10.6	13.8	4.3	27.7	11.7	4.3	20.2	2.1	14.9	0.0	3.2	0.0
	40代	143	14	17	25	38	9	22	64	4	26	21	2	47	19	14	12	2	19	3	5	0
	%	100.0	9.8	11.9	17.5	26.6	6.3	15.4	44.8	2.8	18.2	14.7	1.4	32.9	13.3	9.8	8.4	1.4	13.3	2.1	3.5	0.0
	50代	139	14	11	19	37	6	19	57	0	16	35	8	42	18	22	16	4	14	3	3	0
%	100.0	10.1	7.9	13.7	26.6	4.3	13.7	41.0	0.0	11.5	25.2	5.8	30.2	12.9	15.8	11.5	2.9	10.1	2.2	2.2	0.0	
60代	103	11	5	9	23	4	12	50	6	6	27	9	33	15	21	11	0	14	1	0	1	
%	100.0	10.7	4.9	8.7	22.3	3.9	11.7	48.5	5.8	5.8	26.2	8.7	32.0	14.6	20.4	10.7	0.0	13.6	1.0	0.0	1.0	
70代以上	42	3	2	3	6	1	5	13	0	5	12	3	15	3	11	5	1	2	1	0	0	
%	100.0	7.1	4.8	7.1	14.3	2.4	11.9	31.0	0.0	11.9	28.6	7.1	35.7	7.1	26.2	11.9	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0	

		全体	09 高校生の親にとって必要な学習項目																			
			基本的な生活習慣の定着	子どもの自立心の育て	子どものコミュニケーションの	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる	耐性や適応性を育てる	性教育	男女共同参画について	学校不登校	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他
合計		577	59	52	103	137	28	75	246	13	75	114	27	178	72	77	74	10	74	8	13	1
%		100.0	10.2	9.0	17.9	23.7	4.9	13.0	42.6	2.3	13.0	19.8	4.7	30.8	12.5	13.3	12.8	1.7	12.8	1.4	2.3	0.2
地域	三市	299	33	33	52	75	16	31	134	8	45	59	18	90	40	46	29	4	31	3	9	1
	%	100.0	11.0	11.0	17.4	25.1	5.4	10.4	44.8	2.7	15.1	19.7	6.0	30.1	13.4	15.4	9.7	1.3	10.4	1.0	3.0	0.3
	五市	102	11	7	18	21	6	16	41	2	15	20	4	32	10	15	11	0	15	1	1	0
%	100.0	10.8	6.9	17.6	20.6	5.9	15.7	40.2	2.0	14.7	19.6	3.9	31.4	9.8	14.7	10.8	0.0	14.7	1.0	1.0	0.0	
町村部	175	15	12	33	41	6	28	70	3	15	35	5	56	21	16	33	6	28	4	3	0	
%	100.0	8.6	6.9	18.9	23.4	3.4	16.0	40.0	1.7	8.6	20.0	2.9	32.0	12.0	9.1	18.9	3.4	16.0	2.3	1.7	0.0	

		全体	09 高校生の親にとって必要な学習項目																			
			基本的な生活習慣の定着	子どもの自立心の育て	子どものコミュニケーションの	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる	耐性や適応性を育てる	性教育	男女共同参画について	学校不登校	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他
合計		577	59	52	103	137	28	75	246	13	75	114	27	178	72	77	74	10	74	8	13	1
%		100.0	10.2	9.0	17.9	23.7	4.9	13.0	42.6	2.3	13.0	19.8	4.7	30.8	12.5	13.3	12.8	1.7	12.8	1.4	2.3	0.2
職業	農林漁業従事者	30	4	1	6	6	1	4	11	1	1	7	0	12	4	3	6	2	3	0	0	0
	%	100.0	13.3	3.3	20.0	20.0	3.3	13.3	36.7	3.3	3.3	23.3	0.0	40.0	13.3	10.0	20.0	6.7	10.0	0.0	0.0	0.0
	商店等個人事業主	28	2	6	3	5	0	2	14	1	5	7	2	11	4	3	1	0	3	0	0	0
	%	100.0	7.1	21.4	10.7	17.9	0.0	7.1	50.0	3.6	17.9	25.0	7.1	39.3	14.3	10.7	3.6	0.0	10.7	0.0	0.0	0.0
	企業等経営者	17	5	3	2	3	0	1	7	0	0	2	2	6	1	2	3	0	3	1	0	0
	%	100.0	29.4	17.6	11.8	17.6	0.0	5.9	41.2	0.0	0.0	11.8	11.8	35.3	5.9	11.8	17.6	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0
	給与所得者	233	27	20	40	53	13	30	96	6	38	45	10	70	29	33	27	6	34	5	6	0
	%	100.0	11.6	8.6	17.2	22.7	5.6	12.9	41.2	2.6	16.3	19.3	4.3	30.0	12.4	14.2	11.6	2.6	14.6	2.1	2.6	0.0
	専業主婦（夫）	95	8	11	23	27	3	16	49	2	9	17	4	26	13	7	11	1	11	0	3	1
	%	100.0	8.4	11.6	24.2	28.4	3.2	16.8	51.6	2.1	9.5	17.9	4.2	27.4	13.7	7.4	11.6	1.1	11.6	0.0	3.2	1.1
パートタイマー、アルバイト	44	3	3	8	10	1	5	20	0	9	9	1	17	5	5	7	0	6	0	2	0	
%	100.0	6.8	6.8	18.2	22.7	2.3	11.4	45.5	0.0	20.5	20.5	2.3	38.6	11.4	11.4	15.9	0.0	13.6	0.0	4.5	0.0	
学生	8	2	1	4	2	2	1	2	1	2	0	0	2	1	0	2	0	2	0	0	0	
%	100.0	25.0	12.5	50.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
無職	76	6	6	7	17	4	9	30	2	7	17	3	21	10	14	8	0	9	1	0	0	
%	100.0	7.9	7.9	9.2	22.4	5.3	11.8	39.5	2.6	9.2	22.4	3.9	27.6	13.2	18.4	10.5	0.0	11.8	1.3	0.0	0.0	
その他	38	2	1	9	12	4	6	14	0	3	8	3	11	4	8	7	1	1	0	2	0	
%	100.0	5.3	2.6	23.7	31.6	10.5	15.8	36.8	0.0	7.9	21.1	7.9	28.9	10.5	21.1	18.4	2.6	2.6	0.0	5.3	0.0	

		全体	09 高校生の親にとって必要な学習項目																			
			基本的な生活習慣の定着	子どもの自立心の育て	子どものコミュニケーションの	親としての生き方	夫婦に関する事	家族に関する事	社会的モラル	子どもの発達段階	ライフスタイル	地域活動	自然体験を充実させる	耐性や適応性を育てる	性教育	男女共同参画について	学校不登校	虐待	非行	発達障害	学習の必要性はない	その他
合計		577	59	52	103	137	28	75	246	13	75	114	27	178	72	77	74	10	74	8	13	1
%		100.0	10.2	9.0	17.9	23.7	4.9	13.0	42.6	2.3	13.0	19.8	4.7	30.8	12.5	13.3	12.8	1.7	12.8	1.4	2.3	0.2
子どもの有無	いる	264	24	32	59	68	11	38	102	8	39	41	9	75	28	26	33	7	41	4	6	1
	%	100.0	9.1	12.1	22.3	25.8	4.2	14.4	38.6	3.0	14.8	15.5	3.4	28.4	10.6	9.8	12.5	2.7	15.5	1.5	2.3	0.4
子どもの有無	いない	312	35	20	44	69	17	37	143	5	36	72	18	102	44	51	41	3	33	4	7	0
	%	100.0	11.2	6.4	14.1	22.1	5.4	11.9	45.8	1.6	11.5	23.1	5.8	32.7	14.1	16.3	13.1	1.0	10.6	1.3	2.2	0.0

問10 あなたは、家庭教育への支援は必要だと思いますか。（単数回答）

		全体	Q10 家庭教育への支援について			
			必要である	必要でない	わからない	不明
合計		577 100.0	458 79.8	50 8.7	66 11.5	3
Q1 性別	男	266 100.0	214 80.8	23 8.7	28 10.6	1
	女	311 100.0	244 79.0	27 8.7	38 12.3	2

Q2 年齢	20代	56 100.0	46 83.6	3 5.5	6 10.9	1
	30代	94 100.0	71 75.5	5 5.3	18 19.1	0
	40代	143 100.0	112 79.4	11 7.8	18 12.8	2
	50代	139 100.0	114 82.0	16 11.5	9 6.5	0
	60代	103 100.0	82 79.6	11 10.7	10 9.7	0
	70代以上	42 100.0	33 78.6	4 9.5	5 11.9	0

Q3 地域	三市	299 100.0	238 80.4	21 7.1	37 12.5	3
	五市	102 100.0	77 75.5	16 15.7	9 8.8	0
	町村部	175 100.0	142 81.1	13 7.4	20 11.4	0

Q4 職業	農林漁業従事者	30 100.0	22 73.3	3 10.0	5 16.7	0
	商店等個人事業主	28 100.0	24 85.7	2 7.1	2 7.1	0
	企業等経営者	17 100.0	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0
	給与所得者	233 100.0	184 79.0	20 8.6	29 12.4	0
	専業主婦（夫）	95 100.0	77 82.8	9 9.7	7 7.5	2
	パートタイマー、 アルバイト	44 100.0	36 81.8	2 4.5	6 13.6	0
	学生	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0
	無職	76 100.0	56 74.7	7 9.3	12 16.0	1
	その他	38 100.0	30 78.9	5 13.2	3 7.9	0

Q5 子どもの有 無	いる	264 100.0	210 79.8	18 6.8	35 13.3	1
	いない	312 100.0	247 79.7	32 10.3	31 10.0	2

問11 家庭教育にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)

		全体	Q11 家庭教育の支援に必要な事															
			な家庭活動の場を体験できる	各種施設を開放する	何れでも気軽に相談できる	親や大人の自由時間を充たせる	子どもの自由時間を充たせる	生活の知識を習得できる機会を提供する	社会環境の浄化に努める	子どもが参加できるグループをつくる	子どもが日常的に集まる場をつくる	地域の人々が親しめる場をつくる	子育て等のサークル活動を充実させる	あずかり保育や一時保育施設を充実させる	身近に相談できる人材を確保できるようにする	特にない	その他	
合計		458	226	74	178	51	50	160	79	56	99	136	44	63	79	0	2	
		%	100.0	49.3	16.2	38.9	11.1	10.9	34.9	17.2	12.2	21.6	29.7	9.6	13.8	17.2	0.0	0.4
性別	男	214	101	37	76	24	32	79	38	35	49	71	19	22	29	0	1	
		%	100.0	47.2	17.3	35.5	11.2	15.0	36.9	17.8	16.4	22.9	33.2	8.9	10.3	13.6	0.0	0.5
性別	女	244	125	37	102	27	18	81	41	21	50	65	25	41	50	0	1	
		%	100.0	51.2	15.2	41.8	11.1	7.4	33.2	16.8	8.6	20.5	26.6	10.2	16.8	20.5	0.0	0.4

年齢	20代		30代		40代		50代		60代以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
20代	56	100.0	22	100.0	7	100.0	16	100.0	9	100.0
	%	39.3	12.5	28.6	16.1	7.1	21.4	10.7	10.7	17.9
30代	94	100.0	40	100.0	17	100.0	15	100.0	12	100.0
	%	42.6	18.1	16.0	12.8	5.3	17.0	12.8	7.4	24.5
40代	112	100.0	56	100.0	22	100.0	36	100.0	14	100.0
	%	50.0	19.6	32.1	12.5	10.7	36.6	17.9	12.5	26.8
50代	114	100.0	51	100.0	11	100.0	50	100.0	10	100.0
	%	44.7	9.6	43.9	8.8	10.5	41.2	20.2	12.3	15.8
60代以上	115	100.0	57	100.0	17	100.0	62	100.0	6	100.0
	%	49.6	14.8	53.9	5.2	14.8	39.1	15.7	13.0	15.7

地域	三市		五市		町村部	
	人数	%	人数	%	人数	%
三市	238	100.0	117	100.0	45	100.0
	%	49.2	18.9	38.7	11.3	12.2
五市	77	100.0	43	100.0	9	100.0
	%	55.8	11.7	40.3	7.8	11.7
町村部	142	100.0	66	100.0	20	100.0
	%	46.5	14.1	38.0	12.7	8.5

職業	農林漁業従事者		商店等個人事業主		企業等経営者		給与所得者		専業主婦(夫)		パートタイマー、		学生		無職		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
農林漁業従事者	22	100.0	11	100.0	4	100.0	11	100.0	2	100.0	3	100.0	9	100.0	4	100.0	5	100.0
	%	50.0	18.2	50.0	9.1	13.6	40.9	18.2	22.7	18.2	22.7	13.6	0.0	22.7	0.0	0.0	0.0	
商店等個人事業主	24	100.0	10	100.0	3	100.0	12	100.0	3	100.0	2	100.0	9	100.0	7	100.0	1	100.0
	%	41.7	12.5	50.0	12.5	8.3	37.5	29.2	4.2	20.8	20.8	16.7	16.7	4.2	0.0	4.2	0.0	
企業等経営者	17	100.0	7	100.0	4	100.0	4	100.0	1	100.0	4	100.0	6	100.0	2	100.0	5	100.0
	%	41.2	23.5	23.5	5.9	23.5	35.3	11.8	29.4	29.4	23.5	5.9	23.5	23.5	0.0	0.0	0.0	
給与所得者	184	100.0	89	100.0	33	100.0	65	100.0	28	100.0	22	100.0	61	100.0	33	100.0	22	100.0
	%	48.4	17.9	35.3	15.2	12.0	33.2	17.9	12.0	21.7	32.6	6.5	13.6	17.9	0.0	0.0	0.0	
専業主婦(夫)	77	100.0	46	100.0	12	100.0	26	100.0	4	100.0	2	100.0	26	100.0	13	100.0	7	100.0
	%	59.7	15.6	33.8	5.2	2.6	33.8	16.9	9.1	22.1	31.2	16.9	18.2	11.7	0.0	1.3	0.0	
パートタイマー、	36	100.0	17	100.0	7	100.0	12	100.0	5	100.0	3	100.0	16	100.0	5	100.0	6	100.0
	%	47.2	19.4	33.3	13.9	8.3	44.4	13.9	16.7	25.0	11.1	11.1	13.9	22.2	0.0	0.0	0.0	
学生	6	100.0	1	100.0	1	100.0	3	100.0	2	100.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	0	100.0
	%	16.7	16.7	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	
無職	56	100.0	27	100.0	8	100.0	28	100.0	5	100.0	8	100.0	20	100.0	8	100.0	7	100.0
	%	48.2	14.3	50.0	8.9	14.3	35.7	14.3	12.5	12.5	33.9	8.9	10.7	14.3	0.0	0.0	0.0	
その他	30	100.0	13	100.0	1	100.0	16	100.0	1	100.0	3	100.0	10	100.0	5	100.0	3	100.0
	%	43.3	3.3	53.3	3.3	10.0	33.3	16.7	10.0	20.0	40.0	6.7	13.3	30.0	0.0	0.0	0.0	

子どもの有無	いる		いない	
	人数	%	人数	%
いる	210	100.0	114	100.0
	%	54.3	18.1	30.0
いない	247	100.0	112	100.0
	%	45.3	14.6	46.6

問12 現在、家庭教育に関する情報は充分だと思いますか。（単数回答）

		全体	Q12 家庭教育に関する情報について			
			充分である	充分ではない	わからない	不明
合計		577	60	330	175	12
		% 100.0	10.4	57.2	30.3	2.1
Q1 性別	男	266	33	155	74	4
		% 100.0	12.4	58.3	27.8	1.5
	女	311	27	175	101	8
		% 100.0	8.7	56.3	32.5	2.6

合計		577	60	330	175	12
		% 100.0	10.4	57.2	30.3	2.1
Q2 年齢	20代	56	5	30	21	0
		% 100.0	8.9	53.6	37.5	0.0
	30代	94	7	54	33	0
		% 100.0	7.4	57.4	35.1	0.0
	40代	143	13	79	47	4
		% 100.0	9.1	55.2	32.9	2.8
	50代	139	16	74	45	4
	% 100.0	11.5	53.2	32.4	2.9	
60代	103	13	68	18	4	
	% 100.0	12.6	66.0	17.5	3.9	
70代以上	42	6	25	11	0	
	% 100.0	7.3	59.5	26.2	0.0	

合計		577	60	330	175	12
		% 100.0	10.4	57.2	30.3	2.1
Q3 地域	三市	299	30	178	85	6
		% 100.0	10.0	59.5	28.4	2.0
	五市	102	17	54	30	1
	% 100.0	16.7	52.9	29.4	1.0	
町村部	175	13	97	60	5	
	% 100.0	7.4	55.4	34.3	2.9	

合計		577	60	330	175	12
		% 100.0	10.4	57.2	30.3	2.1
Q4 職業	農林漁業従事者	30	4	13	11	2
		% 100.0	13.3	43.3	36.7	6.7
	商店等個人事業主	28	1	20	7	0
		% 100.0	3.6	71.4	25.0	0.0
	企業等経営者	17	0	12	4	1
		% 100.0	0.0	70.6	23.5	5.9
	給与所得者	233	18	141	73	1
		% 100.0	7.7	60.5	31.3	0.4
	専業主婦（夫）	95	11	56	26	2
		% 100.0	11.6	58.9	27.4	2.1
	パートタイマー、アルバイト	44	4	22	17	1
	% 100.0	9.1	50.0	38.6	2.3	
学生	8	0	6	2	0	
	% 100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	
無職	76	14	39	19	4	
	% 100.0	18.4	51.3	25.0	5.3	
その他	38	7	16	14	1	
	% 100.0	18.4	42.1	36.8	2.6	

合計		577	60	330	175	12
		% 100.0	10.4	57.2	30.3	2.1
Q5 子どもの有無	いる	264	23	152	83	6
		% 100.0	8.7	57.6	31.4	2.3
	いない	312	36	178	92	6
	% 100.0	11.5	57.1	29.5	1.9	

問13 親は、家庭教育に関する情報をどこから得ていますか。（複数回答）

	全体	Q13 家庭教育に関する情報の入手先													
		夫や妻	友人、知人	親族	回覧板、市町広報誌	新聞	テレビ、ラジオ	書籍、雑誌	研究会、講演会等	インターネット	役所等への問い合わせ	情報を得ていない	その他	わからない	
合計	577	102	325	119	129	243	317	179	92	12	11	12	4	8	
	%	100.0	17.7	56.3	20.6	22.4	42.1	54.9	31.0	15.9	2.1	1.9	2.1	0.7	1.4
Q1 男	266	61	125	56	59	118	149	92	34	5	5	7	3	1	
	%	100.0	22.9	47.0	21.1	22.2	44.4	56.0	34.6	12.8	1.9	1.9	2.6	1.1	0.4
性別 女	311	41	200	63	70	125	168	87	58	7	6	5	1	7	
	%	100.0	13.2	64.3	20.3	22.5	40.2	54.0	28.0	18.6	2.3	1.9	1.6	0.3	2.3

合計		577	102	325	119	129	243	317	179	92	12	11	12	4	8	
		%	100.0	17.7	56.3	20.6	22.4	42.1	54.9	31.0	15.9	2.1	1.9	2.1	0.7	1.4
Q2 年齢	20代	56	10	36	27	15	22	18	7	3	1	0	0	1		
		%	100.0	17.9	64.3	48.2	26.8	25.0	39.3	32.1	12.5	5.4	1.8	0.0	0.0	1.8
	30代	94	22	53	30	26	27	43	26	4	3	1	5	1	3	
		%	100.0	23.4	56.4	31.9	27.7	28.7	45.7	27.7	4.3	3.2	1.1	5.3	1.1	3.2
	40代	143	30	87	22	20	61	75	47	31	2	2	2	2	1	
		%	100.0	21.0	60.8	15.4	14.0	42.7	52.4	32.9	21.7	1.4	1.4	1.4	1.4	0.7
	50代	139	20	75	23	34	64	87	42	22	3	4	3	1	2	
	%	100.0	14.4	54.0	16.5	24.5	46.0	62.6	30.2	15.8	2.2	2.9	2.2	0.7	1.4	
60代	103	17	53	10	23	54	68	31	19	0	3	2	0	1		
	%	100.0	16.5	51.5	9.7	22.3	52.4	66.0	30.1	18.4	0.0	2.9	1.9	0.0	1.0	
70代以上	42	3	21	7	11	23	22	15	9	1	0	0	0	0		
	%	100.0	7.1	50.0	16.7	26.2	54.8	52.4	35.7	21.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	

合計		577	102	325	119	129	243	317	179	92	12	11	12	4	8	
		%	100.0	17.7	56.3	20.6	22.4	42.1	54.9	31.0	15.9	2.1	1.9	2.1	0.7	1.4
Q3 地域	三市	299	61	161	58	52	133	168	104	37	6	3	6	1	5	
		%	100.0	20.4	53.8	19.4	17.4	44.5	56.2	34.8	12.4	2.0	1.0	2.0	0.3	1.7
	五市	102	19	59	19	29	39	52	31	17	3	2	4	2	0	
	%	100.0	18.6	57.8	18.6	28.4	38.2	51.0	30.4	16.7	2.9	2.0	3.9	2.0	0.0	
町村部	175	22	104	41	48	70	97	44	38	3	6	2	1	3		
	%	100.0	12.6	59.4	23.4	27.4	40.0	55.4	25.1	21.7	1.7	3.4	1.1	0.6	1.7	

合計		577	102	325	119	129	243	317	179	92	12	11	12	4	8	
		%	100.0	17.7	56.3	20.6	22.4	42.1	54.9	31.0	15.9	2.1	1.9	2.1	0.7	1.4
Q4 職業	農林漁業従事者	30	5	17	1	9	12	16	8	9	0	0	2	1	0	
		%	100.0	16.7	56.7	3.3	30.0	40.0	53.3	26.7	30.0	0.0	0.0	6.7	3.3	0.0
	商店等個人事業主	28	6	15	1	5	12	14	12	4	0	0	1	0	1	
		%	100.0	21.4	53.6	3.6	17.9	42.9	50.0	42.9	14.3	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6
	企業等経営者	17	3	5	5	5	7	7	5	1	0	1	1	0	0	
		%	100.0	17.6	29.4	29.4	29.4	41.2	41.2	29.4	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0
	給与所得者	233	47	126	56	46	102	126	77	32	4	5	6	1	3	
		%	100.0	20.2	54.1	24.0	19.7	43.8	54.1	33.0	13.7	1.7	2.1	2.6	0.4	1.3
	専業主婦（夫）	95	16	59	25	22	30	49	27	21	5	1	0	0	2	
		%	100.0	16.8	62.1	26.3	23.2	31.6	51.6	28.4	22.1	5.3	1.1	0.0	0.0	2.1
パートタイマー、アルバイト	44	6	30	6	9	16	29	13	6	0	1	1	0	0		
	%	100.0	13.6	68.2	13.6	20.5	36.4	65.9	29.5	13.6	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	
学生	8	0	5	3	2	4	4	2	2	1	0	0	0	0		
	%	100.0	0.0	62.5	37.5	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職	76	11	39	16	21	38	44	20	9	0	2	0	0	1		
	%	100.0	14.5	51.3	21.1	27.6	50.0	57.9	26.3	11.8	0.0	2.6	0.0	0.0	1.3	
その他	38	6	24	5	8	18	23	12	7	1	1	1	2	1		
	%	100.0	15.8	63.2	13.2	21.1	47.4	60.5	31.6	18.4	2.6	2.6	2.6	5.3	2.6	

合計		577	102	325	119	129	243	317	179	92	12	11	12	4	8	
		%	100.0	17.7	56.3	20.6	22.4	42.1	54.9	31.0	15.9	2.1	1.9	2.1	0.7	1.4
Q5 子どもの有無	いる	264	59	149	57	68	99	139	78	39	6	5	6	3	2	
		%	100.0	22.3	56.4	21.6	25.8	37.5	52.7	29.5	14.8	2.3	1.9	2.3	1.1	0.8
	いない	312	43	176	62	60	143	177	101	53	6	6	6	1	6	
	%	100.0	13.8	56.4	19.9	19.2	45.8	56.7	32.4	17.0	1.9	1.9	1.9	0.3	1.9	

問13 親は、家庭教育に関してどのような内容の情報を得ているか。（複数回答）

	全体	Q13 家庭教育に関する情報の内容														
		育児	しつけ	子どものコミュニケーション	いじめ	虐待	子育てサークル	行政サービス	相談窓口	学校	学習の機会	進路	健康	その他	わからない	
合計	577	210	283	229	129	68	43	88	32	120	80	91	126	1	12	
%	100.0	36.4	49.0	39.7	22.4	11.8	7.5	15.3	5.5	20.8	13.9	15.8	21.8	0.2	2.1	
Q1 性別	男	266	92	129	112	62	35	21	41	17	62	34	41	55	0	3
	%	100.0	34.6	48.5	42.1	23.3	13.2	7.9	15.4	6.4	23.3	12.8	15.4	20.7	0.0	1.1
性別	女	311	118	154	117	67	33	22	47	15	58	46	50	71	1	9
	%	100.0	37.9	49.5	37.6	21.5	10.6	7.1	15.1	4.8	18.6	14.8	16.1	22.8	0.3	2.9

合計		577	210	283	229	129	68	43	88	32	120	80	91	126	1	12
%		100.0	36.4	49.0	39.7	22.4	11.8	7.5	15.3	5.5	20.8	13.9	15.8	21.8	0.2	2.1
Q2 年齢	20代	56	33	31	25	6	4	4	8	3	12	7	6	13	0	2
	%	100.0	58.9	55.4	44.6	10.7	7.1	7.1	14.3	5.4	21.4	12.5	10.7	23.2	0.0	3.6
	30代	94	52	49	35	16	13	9	9	8	10	7	5	25	0	5
	%	100.0	55.3	52.1	37.2	17.0	13.8	9.6	9.6	8.5	10.6	7.4	5.3	26.6	0.0	5.3
	40代	143	46	68	62	30	9	7	23	4	44	26	36	23	0	1
	%	100.0	32.2	47.6	43.4	21.0	6.3	4.9	16.1	2.8	30.8	18.2	25.2	16.1	0.0	0.7
	50代	139	46	64	53	43	22	7	23	10	30	21	22	36	0	1
%	100.0	33.1	46.0	38.1	30.9	15.8	5.0	16.5	7.2	21.6	15.1	15.8	25.9	0.0	0.7	
60代	103	24	48	38	25	14	12	17	5	16	10	18	20	0	3	
%	100.0	23.3	46.6	36.9	24.3	13.6	11.7	16.5	4.9	15.5	9.7	17.5	19.4	0.0	2.9	
70代以上	42	9	23	16	9	6	4	8	2	8	9	4	9	1	0	
%	100.0	21.4	54.8	38.1	21.4	14.3	9.5	19.0	4.8	19.0	21.4	9.5	21.4	2.4	0.0	

合計		577	210	283	229	129	68	43	88	32	120	80	91	126	1	12
%		100.0	36.4	49.0	39.7	22.4	11.8	7.5	15.3	5.5	20.8	13.9	15.8	21.8	0.2	2.1
Q3 地域	三市	299	110	141	112	65	36	19	43	16	61	39	50	76	0	8
	%	100.0	36.8	47.2	37.5	21.7	12.0	6.4	14.4	5.4	20.4	13.0	16.7	25.4	0.0	2.7
	五市	102	46	53	48	22	11	7	13	6	21	10	12	19	0	2
%	100.0	45.1	52.0	47.1	21.6	10.8	6.9	12.7	5.9	20.6	9.8	11.8	18.6	0.0	2.0	
町村部	175	54	88	69	41	21	17	32	10	37	31	29	31	1	2	
%	100.0	30.9	50.3	39.4	23.4	12.0	9.7	18.3	5.7	21.1	17.7	16.6	17.7	0.6	1.1	

合計		577	210	283	229	129	68	43	88	32	120	80	91	126	1	12
%		100.0	36.4	49.0	39.7	22.4	11.8	7.5	15.3	5.5	20.8	13.9	15.8	21.8	0.2	2.1
Q4 職業	農林漁業従事者	30	7	15	15	7	4	1	5	0	7	5	4	7	0	0
	%	100.0	23.3	50.0	50.0	23.3	13.3	3.3	16.7	0.0	23.3	16.7	13.3	23.3	0.0	0.0
	商店等個人事業主	28	9	15	8	7	6	2	2	1	6	2	6	4	0	1
	%	100.0	32.1	53.6	28.6	25.0	21.4	7.1	7.1	3.6	21.4	7.1	21.4	14.3	0.0	3.6
	企業等経営者	17	6	7	5	5	1	1	3	1	5	3	4	2	0	0
	%	100.0	35.3	41.2	29.4	29.4	5.9	5.9	17.6	5.9	29.4	17.6	23.5	11.8	0.0	0.0
	給与所得者	233	93	118	92	55	27	12	35	15	56	32	33	47	0	6
	%	100.0	39.9	50.6	39.5	23.6	11.6	5.2	15.0	6.4	24.0	13.7	14.2	20.2	0.0	2.6
	専業主婦（夫）	95	44	52	39	14	8	11	12	3	9	14	10	30	1	1
	%	100.0	46.3	54.7	41.1	14.7	8.4	11.6	12.6	3.2	9.5	14.7	10.5	31.6	1.1	1.1
パートタイマー、アルバイト	44	15	16	17	12	4	4	7	4	9	6	10	9	0	0	
%	100.0	34.1	36.4	38.6	27.3	9.1	9.1	15.9	9.1	20.5	13.6	22.7	20.5	0.0	0.0	
学生	8	3	5	2	0	1	0	0	0	4	2	1	3	0	1	
%	100.0	37.5	62.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	12.5	37.5	0.0	12.5	
無職	76	23	35	28	21	15	8	12	4	10	13	11	10	0	2	
%	100.0	30.3	46.1	36.8	27.6	19.7	10.5	15.8	5.3	13.2	17.1	14.5	13.2	0.0	2.6	
その他	38	8	16	18	5	1	4	10	4	13	3	10	13	0	1	
%	100.0	21.1	42.1	47.4	13.2	2.6	10.5	26.3	10.5	34.2	7.9	26.3	34.2	0.0	2.6	

合計		577	210	283	229	129	68	43	88	32	120	80	91	126	1	12
%		100.0	36.4	49.0	39.7	22.4	11.8	7.5	15.3	5.5	20.8	13.9	15.8	21.8	0.2	2.1
Q5 子どもの有無	いる	264	111	126	114	46	23	16	40	13	63	41	42	56	0	5
	%	100.0	42.0	47.7	43.2	17.4	8.7	6.1	15.2	4.9	23.9	15.5	15.9	21.2	0.0	1.9
いない	312	98	157	115	82	44	27	48	19	57	39	49	70	1	7	
%	100.0	31.4	50.3	36.9	26.3	14.1	8.7	15.4	6.1	18.3	12.5	15.7	22.4	0.3	2.2	

問14 あなたは、どこに家庭教育に関する相談をしましたか。（複数回答）

		Q14 家庭教育に関する相談先																						
全体		家族、親族	知人、友人	幼稚園や保育園	学校	子育て支援サークル	子育てメイトなどの地域の相談員	医療機関	保健所	地域の子育て支援センター	精神保健福祉センター	福祉事務所	児童相談所	この電話	子ども家庭支援センター総合相談	子ども権利110番	ヤングテレホン	ふれあいテレホン	あたかテレホン	いのちの電話	インターネット	その他	利用したことはない	
合計		577	289	295	108	183	9	9	54	15	10	4	5	12	6	5	1	2	3	1	2	7	0	143
%		100.0	50.1	51.1	18.7	31.7	1.6	1.6	9.4	2.6	1.7	0.7	0.9	2.1	1.0	0.9	0.2	0.3	0.5	0.2	0.3	1.2	0.0	24.8
Q1	男	266	122	123	42	83	5	4	27	5	4	3	3	3	2	2	0	0	1	0	1	2	0	74
	%	100.0	45.9	46.2	15.8	31.2	1.9	1.5	10.2	1.9	1.5	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	27.8
性別	女	311	167	172	66	100	4	5	27	10	6	1	2	9	4	3	1	2	2	1	1	5	0	69
	%	100.0	53.7	55.3	21.2	32.2	1.3	1.6	8.7	3.2	1.9	0.3	0.6	2.9	1.3	1.0	0.3	0.6	0.6	0.3	0.3	1.6	0.0	22.2

		Q14 家庭教育に関する相談先																						
全体		家族、親族	知人、友人	幼稚園や保育園	学校	子育て支援サークル	子育てメイトなどの地域の相談員	医療機関	保健所	地域の子育て支援センター	精神保健福祉センター	福祉事務所	児童相談所	この電話	子ども家庭支援センター総合相談	子ども権利110番	ヤングテレホン	ふれあいテレホン	あたかテレホン	いのちの電話	インターネット	その他	利用したことはない	
合計		577	289	295	108	183	9	9	54	15	10	4	5	12	6	5	1	2	3	1	2	7	0	143
%		100.0	50.1	51.1	18.7	31.7	1.6	1.6	9.4	2.6	1.7	0.7	0.9	2.1	1.0	0.9	0.2	0.3	0.5	0.2	0.3	1.2	0.0	24.8
Q2	20代	56	30	29	7	7	0	1	5	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	19
	%	100.0	53.6	51.8	12.5	12.5	0.0	1.8	8.9	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	33.9
	30代	94	59	55	35	23	3	1	16	7	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	6	0	19
	%	100.0	62.8	58.5	37.2	24.5	3.2	1.1	17.0	7.4	2.1	0.0	1.1	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	20.2	
	40代	143	80	87	20	54	0	1	11	3	3	0	0	2	3	1	0	1	1	0	1	0	0	31
	%	100.0	55.9	60.8	14.0	37.8	0.0	0.7	7.7	2.1	2.1	0.0	0.0	1.4	2.1	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	21.7
	50代	139	66	70	21	57	1	2	7	3	2	2	1	3	1	1	0	0	1	1	1	0	0	29
%	100.0	47.5	50.4	15.1	41.0	0.7	1.4	5.0	2.2	1.4	1.4	0.7	2.2	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	20.9	
60代	103	35	42	19	28	3	4	13	2	2	2	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	29	
%	100.0	34.0	40.8	18.4	27.2	2.9	3.9	12.6	1.9	1.9	1.9	2.9	4.9	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2	
70代以上	42	19	12	6	14	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16	
%	100.0	45.2	28.6	14.3	33.3	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.1	

		Q14 家庭教育に関する相談先																						
全体		家族、親族	知人、友人	幼稚園や保育園	学校	子育て支援サークル	子育てメイトなどの地域の相談員	医療機関	保健所	地域の子育て支援センター	精神保健福祉センター	福祉事務所	児童相談所	この電話	子ども家庭支援センター総合相談	子ども権利110番	ヤングテレホン	ふれあいテレホン	あたかテレホン	いのちの電話	インターネット	その他	利用したことはない	
合計		577	289	295	108	183	9	9	54	15	10	4	5	12	6	5	1	2	3	1	2	7	0	143
%		100.0	50.1	51.1	18.7	31.7	1.6	1.6	9.4	2.6	1.7	0.7	0.9	2.1	1.0	0.9	0.2	0.3	0.5	0.2	0.3	1.2	0.0	24.8
Q3	三市	299	142	140	51	86	5	6	26	7	6	0	2	4	2	1	1	2	1	0	0	3	0	82
	%	100.0	47.5	46.8	17.1	28.8	1.7	2.0	8.7	2.3	2.0	0.0	0.7	1.3	0.7	0.3	0.3	0.7	0.3	0.0	0.0	1.0	0.0	27.4
	五市	102	56	56	26	36	3	3	14	5	1	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	20
	%	100.0	54.9	54.9	25.5	35.3	2.9	2.9	13.7	4.9	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	19.6
町村部	175	90	98	31	60	1	0	14	3	3	2	2	6	3	4	0	0	1	1	2	3	0	41	
%	100.0	51.4	56.0	17.7	34.3	0.6	0.0	8.0	1.7	1.7	1.1	1.1	3.4	1.7	2.3	0.0	0.0	0.6	0.6	1.1	1.7	0.0	23.4	

		Q14 家庭教育に関する相談先																						
全体		家族、親族	知人、友人	幼稚園や保育園	学校	子育て支援サークル	子育てメイトなどの地域の相談員	医療機関	保健所	地域の子育て支援センター	精神保健福祉センター	福祉事務所	児童相談所	この電話	子ども家庭支援センター総合相談	子ども権利110番	ヤングテレホン	ふれあいテレホン	あたかテレホン	いのちの電話	インターネット	その他	利用したことはない	
合計		577	289	295	108	183	9	9	54	15	10	4	5	12	6	5	1	2	3	1	2	7	0	143
%		100.0	50.1	51.1	18.7	31.7	1.6	1.6	9.4	2.6	1.7	0.7	0.9	2.1	1.0	0.9	0.2	0.3	0.5	0.2	0.3	1.2	0.0	24.8
Q4	農林漁業従事者	30	17	15	3	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	%	100.0	56.7	50.0	10.0	33.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7
	商店等個人事業主	28	11	11	7	9	0	1	6	1	0	0	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	%	100.0	39.3	39.3	25.0	32.1	0.0	3.6	21.4	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7
	企業等経営者	17	10	11	3	7	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	%	100.0	58.8	64.7	17.6	41.2	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6
	給与所得者	233	115	113	42	78	3	1	20	4	3	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	69
	%	100.0	49.4	48.5	18.0	33.5	1.3	0.4	8.6	1.7	1.3	0.0	0.4	0.9	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	29.6
	専業主婦（夫）	95	61	56	19	22	3	2	11	3	4	1	0	5	1	1	0	0	1	1	1	1	4	10
	%	100.0	64.2	58.9	20.0	23.2	3.2	2.1	11.6	3.2	4.2	1.1	0.0	5.3	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	4.2	0.0	10.5
パートタイマー、アルバイト	44	27	35	15	19	0	0	3	2	1	0	0	0	2	1	1	2	1	0	1	0	0	8	
%	100.0	61.4	79.5	34.1	43.2	0.0	0.0	6.8	4.5	2.3	0.0	0.0	0.0	4.5	2.3	2.3	4.5	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	18.2	
学生	8	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
%	100.0	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	
無職	76	25	30	12	24	2	4	9	3	1	2	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	24	
%	100.0	32.9	39.5	15.8	31.6	2.6	5.3	11.8	3.9	1.3	2.6	3.9	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6	
その他	38	17	18	6	10	1	1	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
%	100.0	44.7	47.4	15.8	26.3	2.6	2.6	5.3	5.3	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.2	

		Q14 家庭教育に関する相談先																						
全体		家族、親族	知人、友人	幼稚園や保育園	学校	子育て支援サークル	子育てメイトなどの地域の相談員	医療機関	保健所	地域の子育て支援センター	精神保健福祉センター	福祉事務所	児童相談所	この電話	子ども家庭支援センター総合相談	子ども権利110番	ヤングテレホン	ふれあいテレホン	あたかテレホン	いのちの電話	インターネット	その他	利用したことはない	
合計		577	289	295	108	183	9	9	54	15	10	4	5	12	6	5	1	2	3	1	2	7	0	143
%		100.0	50.1	51.1	18.7	31.7	1.6	1.6	9.4	2.6	1.7	0.7	0.9	2.1	1.0	0.9	0.2	0.3	0.5	0.2	0.3	1.2	0.0	24.8
Q5	もいる	264	163	163	66	85	4	4	33	7	8	1	0	8	4	3	0	1	2	1	2	6	0	50
	%	100.0	61.7	61.7	25.0	32.2	1.5	1.5	12.5	2.7	3.0	0.4	0.0	3.0	1.5	1.1	0.0	0.4	0.8	0.4	0.8	2.3	0.0	18.9
子どもがいない	無	312	126	132	42	98	5	5	21	8	2	3	5	4	2	2	1	1	1	0	0	1	0	93
	%	100.0	40.4	42.3	13.5	31.4	1.6	1.6	6.7	2.6	0.6	1.0	1.6	1.3	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	29.8

問15 家庭教育の学習機会について。(単数回答)

		全体	Q15 家庭教育の学習への参加			
			参加したい	参加しない	わからない	不明
合計		577	235	125	204	13
		% 100.0	40.7	21.7	35.4	2.3
Q1 性別	男	266	110	59	90	7
		% 100.0	41.4	22.2	33.8	2.6
	女	311	125	66	114	6
		% 100.0	40.2	21.2	36.7	1.9

合計		577	235	125	204	13
		% 100.0	40.7	21.7	35.4	2.3
Q2 年齢	20代	56	19	5	32	0
		% 100.0	33.9	8.9	57.1	0.0
	30代	94	45	12	37	0
		% 100.0	47.9	12.8	39.4	0.0
	40代	143	68	20	52	3
		% 100.0	47.6	14.0	36.4	2.1
	50代	139	58	34	43	4
	% 100.0	41.7	24.5	30.9	2.9	
60代	103	29	38	32	4	
	% 100.0	28.2	36.9	31.1	3.9	
70代以上	42	16	16	8	2	
	% 100.0	38.1	38.1	19.0	4.8	

合計		577	235	125	204	13
		% 100.0	40.7	21.7	35.4	2.3
Q3 地域	三市	299	102	78	111	8
		% 100.0	34.1	26.1	37.1	2.7
	五市	102	48	20	32	2
		% 100.0	47.1	19.6	31.4	2.0
	町村部	175	85	27	60	3
		% 100.0	48.6	15.4	34.3	1.7

合計		577	235	125	204	13
		% 100.0	40.7	21.7	35.4	2.3
Q4 職業	農林漁業従事者	30	13	4	13	0
		% 100.0	43.3	13.3	43.3	0.0
	商店等個人事業主	28	11	7	9	1
		% 100.0	39.3	25.0	32.1	3.6
	企業等経営者	17	6	4	6	1
		% 100.0	35.3	23.5	35.3	5.9
	給与所得者	233	107	40	83	3
		% 100.0	45.9	17.2	35.6	1.3
	専業主婦(夫)	95	46	23	24	2
		% 100.0	48.4	24.2	25.3	2.1
パートタイマー、	44	19	8	17	0	
	% 100.0	43.2	18.2	38.6	0.0	
学生	8	1	0	7	0	
	% 100.0	12.5	0.0	87.5	0.0	
無職	76	17	30	23	6	
	% 100.0	22.4	39.5	30.3	7.9	
その他	38	12	8	18	0	
	% 100.0	31.6	21.1	47.4	0.0	

合計		577	235	125	204	13
		% 100.0	40.7	21.7	35.4	2.3
Q5 子どもの有無	いる	264	136	37	91	0
		% 100.0	51.5	14.0	34.5	0.0
	いない	312	99	87	113	13
		% 100.0	31.7	27.9	36.2	4.2

問16 家庭教育に関する学習がどうなれば参加しやすいか。(複数回答)

	全体	Q16 家庭教育の学習へ参加しやすくする為の改善点								
		少ない回数、短い時間で	日中は忙しいので出にくい ため、夜間や休日の開催ならばよい。	費用がかかるので、無料になればよい。	不便なところだと困るので、家の近くになればよい。	どこで、どんなところが学習できるかが、わかりやすくなればよい。	話を聞くだけでなく、質問や相談ができればよい。	どのように改善されても参加しない。	その他	
合計	577	128	211	170	197	328	173	18	7	
	%	100.0	22.2	36.6	29.5	34.1	56.8	30.0	3.1	1.2
Q1 性別	男	266	58	115	68	88	139	88	7	3
	%	100.0	21.8	43.2	25.6	33.1	52.3	33.1	2.6	1.1
	女	311	70	96	102	109	189	85	11	4
	%	100.0	22.5	30.9	32.8	35.0	60.8	27.3	3.5	1.3

合計		577	128	211	170	197	328	173	18	7	
		%	100.0	22.2	36.6	29.5	34.1	56.8	30.0	3.1	1.2
Q2 年齢	20代	56	16	25	32	21	39	17	0	1	
	%	100.0	28.6	44.6	57.1	37.5	69.6	30.4	0.0	1.8	
	30代	94	27	34	36	46	61	29	2	2	
	%	100.0	28.7	36.2	38.3	48.9	64.9	30.9	2.1	2.1	
	40代	143	35	53	43	46	84	34	1	0	
	%	100.0	24.5	37.1	30.1	32.2	58.7	23.8	0.7	0.0	
	50代	139	28	57	29	38	79	48	8	2	
%	100.0	20.1	41.0	20.9	27.3	56.8	34.5	5.8	1.4		
60代	103	16	28	20	33	46	32	6	2		
%	100.0	15.5	27.2	19.4	32.0	44.7	31.1	5.8	1.9		
70代以上	42	6	14	10	13	19	13	1	0		
%	100.0	14.3	33.3	23.8	31.0	45.2	31.0	2.4	0.0		

合計		577	128	211	170	197	328	173	18	7	
		%	100.0	22.2	36.6	29.5	34.1	56.8	30.0	3.1	1.2
Q3 地域	三市	299	63	96	84	94	175	87	12	5	
	%	100.0	21.1	32.1	28.1	31.4	58.5	29.1	4.0	1.7	
	五市	102	22	40	33	34	60	34	3	2	
%	100.0	21.6	39.2	32.4	33.3	58.8	33.3	2.9	2.0		
	町村部	175	43	74	52	69	93	51	3	0	
%	100.0	24.6	42.3	29.7	39.4	53.1	29.1	1.7	0.0		

合計		577	128	211	170	197	328	173	18	7	
		%	100.0	22.2	36.6	29.5	34.1	56.8	30.0	3.1	1.2
Q4 職業	農林漁業従事者	30	10	19	9	11	12	11	1	0	
	%	100.0	33.3	63.3	30.0	36.7	40.0	36.7	3.3	0.0	
	商店等個人事業主	28	7	11	6	8	18	7	1	1	
	%	100.0	25.0	39.3	21.4	28.6	64.3	25.0	3.6	3.6	
	企業等経営者	17	3	6	4	6	8	6	1	0	
	%	100.0	17.6	35.3	23.5	35.3	47.1	35.3	5.9	0.0	
	給与所得者	233	55	102	66	81	142	69	5	2	
	%	100.0	23.6	43.8	28.3	34.8	60.9	29.6	2.1	0.9	
	専業主婦(夫)	95	22	10	34	36	57	24	6	1	
	%	100.0	23.2	10.5	35.8	37.9	60.0	25.3	6.3	1.1	
	パートタイマー、アルバイト	44	17	20	18	11	23	12	1	0	
%	100.0	38.6	45.5	40.9	25.0	52.3	27.3	2.3	0.0		
学生	8	1	4	4	4	4	2	0	0		
%	100.0	12.5	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0		
無職	76	6	20	21	23	35	28	1	2		
%	100.0	7.9	26.3	27.6	30.3	46.1	36.8	1.3	2.6		
その他	38	5	15	7	13	25	14	2	1		
%	100.0	13.2	39.5	18.4	34.2	65.8	36.8	5.3	2.6		

合計		577	128	211	170	197	328	173	18	7	
		%	100.0	22.2	36.6	29.5	34.1	56.8	30.0	3.1	1.2
Q5 子どもの有無	いる	264	73	107	92	101	156	78	2	4	
	%	100.0	27.7	40.5	34.8	38.3	59.1	29.5	0.8	1.5	
	いない	312	55	104	78	96	172	95	16	2	
%	100.0	17.6	33.3	25.0	30.8	55.1	30.4	5.1	0.6		

平成13年度

家庭の教育力に関する調査

青森県総合社会教育センター

ご協力をお願い

この調査について

青森県総合社会教育センターは、社会教育の充実と県民の生涯学習の進展に資することを目的に設置された、青森県教育委員会の機関です。

この調査は、みなさんの家庭の教育力に関する意識や学習要望等を調査し、各関係機関がみなさんへ学習機会を提供する時の基礎資料とするものです。

お忙しいところとは存じますが、趣旨をご理解のうえ、なにとぞご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は無記名で、その結果は統計的な数字にかえて処理されますので、あなたの回答が外部に漏れたり、ご迷惑のかかることは決してありません。

この調査の対象者は、公職選挙法に基づき選挙人名簿から**無作為**に選ばせていただきました。なお、アンケートの回答につきましては、お子さんをお持ちの方は現在の状況から、お子さんをお持ちでない方は御自身の体験などに基づいてお答えください。

記入上のお願い

- 1 この調査は、**必ず宛名のご本人**が回答してください。
- 2 回答は同封の「**回答用紙**」にご記入ください。
- 3 選択質問は、該当する**番号**をご記入ください。
- 4 質問により、回答していただく数が異なりますのでご注意ください。

返送についてのお願い

「**回答用紙**」(1枚)のみを返信用封筒に入れて、**8月31日(木)**までに投函して下さるようお願いいたします。なお、差出人は無記名で構いません。

この調査に対する質問や不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

〒030-0111 青森市大字荒川字藤戸 1 1 9 - 7
青森県総合社会教育センター 研究開発課
Tel 017-739-1251

1 あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお知らせください。該当する番号を回答用紙に記入してください。

1 男

2 女

問2 あなたの年齢をお知らせください。

満年齢を回答欄に直接お書きください。

問3 あなたが現在お住まいの地域名をお知らせください。

1 青森市

2 弘前市

3 八戸市

4 黒石市

5 五所川原市

6 十和田市

7 三沢市

8 むつ市

9 東津軽郡

10 西津軽郡

11 中津軽郡

12 南津軽郡

13 北津軽郡

14 上北郡

15 下北郡

16 三戸郡

問4 あなたの職業を下記より選んでください。

1 農林漁業従事者

2 商店等個人事業主

3 企業等経営者

4 給与所得者

5 専業主婦(夫)

6 パートタイマー, アルバイト

7 学生

8 無職

9 その他(具体的にお書きください。)

問5 あなたのご家族には18歳未満のお子さんはいますか。

1 いる

2 いない

問6 問5で、「いる」と答えた方にうかがいます。

お子さんの年齢と性別、また、あなたはそのお子さんの何にあたりますか。
(お子さんが4人以上の場合は、その他の欄にご記入ください。)

お子さんの年齢・性別・お子さんとの続柄を回答欄に直接お書きください。

2 家庭の教育力についておたずねします。

問7 あなたは、家庭教育を重要だと思いますか。

- 1 とても重要だと思う
- 2 重要だと思う
- 3 あまり重要だと思わない
- 4 まったく重要だと思わない
- 5 わからない

問8 家庭において、お子さんが乳幼児・小学生・中学生・高校生の時期に、もっとも重要だと思われる教育項目は何ですか。次の中から最大3つまで選び番号を記入してください。（同じ項目を何回選んでもかまいません）

- 1 基本的な生活習慣(例えば、洗顔、自分で起床、あいさつなど)
- 2 生活体験(例えば、タオルをしぼる、小さな子の世話、ナイフの使い方など)
- 3 自然体験(例えば、海や川で遊ぶ、自然観察、登山など)
- 4 自主性 (自分の判断で行動する態度)
- 5 自制心 (感情・欲望などを自分で抑えること)
- 6 自立心 (人に頼らず、独り立ちして自力でやっていこうとする心構え)
- 7 豊かな情操 (美しいものを美しいと感じる心)
- 8 他人への思いやり
- 9 道徳感
- 10 社会的なマナー
- 11 正義感
- 12 人間関係づくり
- 13 職業観
- 14 性教育
- 15 その他 (具体的にお書きください)
- 16 わからない



問9 子どもを育てるうえで、親にとって特に大切だと思う学習は何ですか。お子さんが乳幼児・小学生・中学生・高校生の時期の親にとって必要な学習項目を次の中から最大3つまで選んで番号を記入してください。

(同じ項目を何度選んでもかまいません)

- | | | |
|-------------------------------|-----------------|-----------|
| 1 基本的な生活習慣の定着 | 2 子どもの自立心の育て方 | |
| 3 子どもとのコミュニケーションのとり方 | | |
| 4 親としての生き方 | 5 夫婦に関する事 | 6 家族に関する事 |
| 7 社会的モラル | 8 子どもの発達段階 | 9 ライフスタイル |
| 10 地域活動 | 11 自然体験を充実させる方法 | |
| 12 耐性や適応性を育てるための方法 | | |
| 13 性教育 | 14 男女共同参画について | |
| 15 学校不適応(不登校、ひきこもり、いじめ、心身症など) | | |
| 16 虐待 | 17 非行 | 18 発達障害 |
| 19 学習の必要はない | | |
| 20 その他(具体的にお書きください) | | |

3 家庭の教育力を充実させる支援についておたずねします。

問10 あなたは、家庭教育への支援は必要だと思いますか？

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 必要である | 2 必要でない | 3 わからない |
|---------|---------|---------|

問11 問10で「必要である」とお答えになった方におたずねします。家庭教育にどのような支援が必要だと思いますか。次のうちから主なものを最大3つまで選んで番号を記入してください。

- | |
|--------------------------|
| 1 家庭教育では体験できない活動の場をつくる |
| 2 各種施設を開放する |
| 3 何でも気軽に相談できる場をつくる |
| 4 親や大人の自由時間を充実させる |
| 5 子どもの自由時間を充実させる |
| 6 生活の知識を習得できる機会を提供する |
| 7 社会環境の浄化に努める |
| 8 子どもが参加できるグループをつくる |
| 9 子どもが日常的に集まることができる場をつくる |
| 10 地域の人々が親しくなれる場や機会をつくる |
| 11 子育て等のサークル活動を充実させる |
| 12 あずかり保育や一時保育施設を充実させる |
| 13 身近に相談できる人材を確保できるようにする |
| 14 特にない |
| 15 その他(具体的にお書きください) |

4 家庭教育の情報についておたずねします。

問12 現在、家庭教育に関する情報は充分だと思いますか。

- 1 充分である 2 充分ではない 3 わからない

問13 親は、家庭教育に関する情報をどこから、どのような内容を得ていますか、また得ていると思いますか。次のうちから主なものを**最大3つまで選んで**番号を記入してください。

どこから

- | | | |
|----------------------|-------------|-----------|
| 1 夫や妻 | 2 友人、知人 | 3 親族 |
| 4 回覧板、市町村広報誌 | 5 新聞 | 6 テレビ、ラジオ |
| 7 書籍、雑誌 | 8 研修会、講演会等 | 9 インターネット |
| 10 役所等への問い合わせ | 11 情報を得ていない | |
| 12 その他(回答欄に直接お書き下さい) | 13 わからない | |

どのような内容

- | | | | |
|----------------------|-----------|------------------|--------|
| 1 育児 | 2 しつけ | 3 子どもとのコミュニケーション | 4 いじめ |
| 5 虐待 | 6 子育てサークル | 7 行政サービス | 8 相談窓口 |
| 9 学校 | 10 学習の機会 | 11 進路 | 12 健康 |
| 13 その他(回答欄に直接お書き下さい) | 14 わからない | | |

5 家庭教育の相談についておたずねします。

問14 あなたは家庭教育に関することで、どのようなところに相談したことがありますか。次のうちから**いくつでも選んで**番号を記入してください。

- | | | |
|-------------------------------|---------------|-------------|
| 1 家族、親族 | 2 知人、友人 | 3 幼稚園や保育園 |
| 4 学校 | 5 子育て支援サークル | |
| 6 子育てメイトなどの地域の相談員 | 7 医療機関 | 8 保健所 |
| 9 地域の子育て支援センター | 10 精神保健福祉センター | |
| 11 福祉事務所 | 12 児童相談所 | 13 こころの電話 |
| 14 子ども家庭支援センター総合相談(子ども家庭110番) | | |
| 15 子ども人権110番 | 16 ヤングテレホン | 17 ふれあいテレホン |
| 18 あたたかテレホン | 19 いのちの電話 | |
| 20 インターネット | | |
| 21 その他(具体的にお書きください) | | |
| 22 利用したことはない | | |

6 家庭教育の学習機会についておたずねします。

問15 家庭教育に関する学習の機会があれば、参加されますか。

- 1 参加したい 2 参加しない 3 わからない

問16 家庭教育に関する学習が、どのようになれば参加しやすいと思いますか。
いくつでも選んで番号を記入してください。

- 1 時間的に余裕がないため、回数が少なく、時間が短ければよい。
- 2 日中は忙しいので出にくいいため、夜間や休日の開催ならばよい。
- 3 費用がかかるので、無料になればよい。
- 4 不便なところだと困るので、家の近くになればよい。
- 5 どこで、どんなことが学習できるのかが、わかりやすくなればよい。
- 6 話を聞くだけでなく、質問や相談ができればよい。
- 7 どのように改善されても参加しない。
- 8 その他(具体的にお書きください)

7 自由記述

問17 あなた自身がお子さんの頃に受けた家庭教育や、親として実行してきた家庭教育の中で、親と子の関わりを深く感じたのはどういう時でしたか。うれしかったこと、くやしかったこと、思い出したことなど、ご自由にお書きください。

回答欄に直接お書きください

問18 このアンケートに回答しながら、何を感じましたか。家庭教育について日頃感じていること、現代の親への思い、公共施設やそこで催される講座についてなど感じたことを、ご自由にお書きください。

回答欄に直接お書きください

アンケートに御協力いただきまして、誠にありがとうございました。



平成13年度 家庭の教育力に関する調査

- 回 答 用 紙 -

1 あなたのことについておたずねします。

問 1	
--------	--

問 2		歳
--------	--	---

問 3	
--------	--

問 4		9 その他
--------	--	-------

問 5	
--------	--

問 6		お子さんの年齢	お子さんの性別	お子さんとの続柄
	お子さん1	才	男・女	父・母・祖父母・その他
	お子さん2	才	男・女	父・母・祖父母・その他
	お子さん3	才	男・女	父・母・祖父母・その他
	その他			

2 家庭の教育力についておたずねします。

問 7	
--------	--

問 8		番号記入欄 (15 その他は直接書いてください)		
	乳 幼 児			
	小 学 生			
	中 学 生			
	高 校 生			

問 9		番号記入欄 (20 その他は直接書いてください)		
	乳 幼 児			
	小 学 生			
	中 学 生			
	高 校 生			

裏面もあります

3 家庭の教育力を充実させる支援についておたずねします。

問 10		15 その他		
問 11				

4 家庭教育の情報についておたずねします。

問 12											
問 13	どこから										どのような
	12 その他						13 その他				

5 家庭教育の相談についておたずねします。

問 14										
14	21 その他									

6 家庭教育の学習機会についておたずねします。

問 15		8 その他		
問 16				

7 自由記述

問 17	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>									
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 18	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>									
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ご協力ありがとうございました。

生涯学習・社会教育に関する調査研究委員会 委員名簿

(1) 名簿

【委員】

氏名	所属・役職	委員会
前田 みき	弘前市立船沢中学校 校長	座長
大竹 辰也	青森放送株式会社 報道局 参事	副座長
蝦名 享子	青森市民病院 精神科 臨床心理士	
河津 吉大	JA十和田市 営農部 部長	
金 正道	弘前大学 理工学部 助手	
斉藤 みや子	企画集団ぷりずむ 編集員	

【青森県教育庁 生涯学習課】

長尾 慶子	青森県教育庁 生涯学習課 指導主事
-------	-------------------

【青森県総合社会教育センター関係職員】

小笠原 誓輝	青森県総合社会教育センター 所長
青木 裕次	" 研究開発課 課長
藤田 博巳	" 研究開発課 指導主事
小林 央美	" 研修指導課 指導主事
野崎 信司	" 研究開発課 社会教育主事

(2) 委員会開催日程

委員会	開催年月日	主な審議事項
第1回	平成13年5月26日	調査研究の基本計画について
第2回	平成13年7月22日	調査研究の調査票と回答用紙について
第3回	平成13年10月7日	調査集計結果の検討
第4回	平成14年1月13日	アンケート集計結果分析
第5回	平成14年2月24日	報告書の検討

